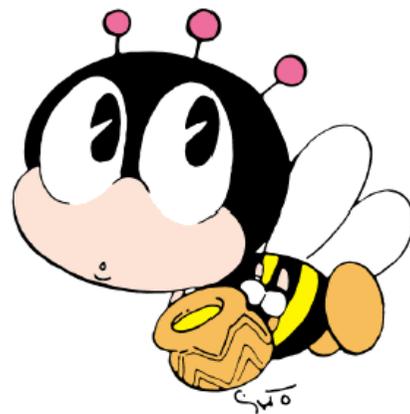


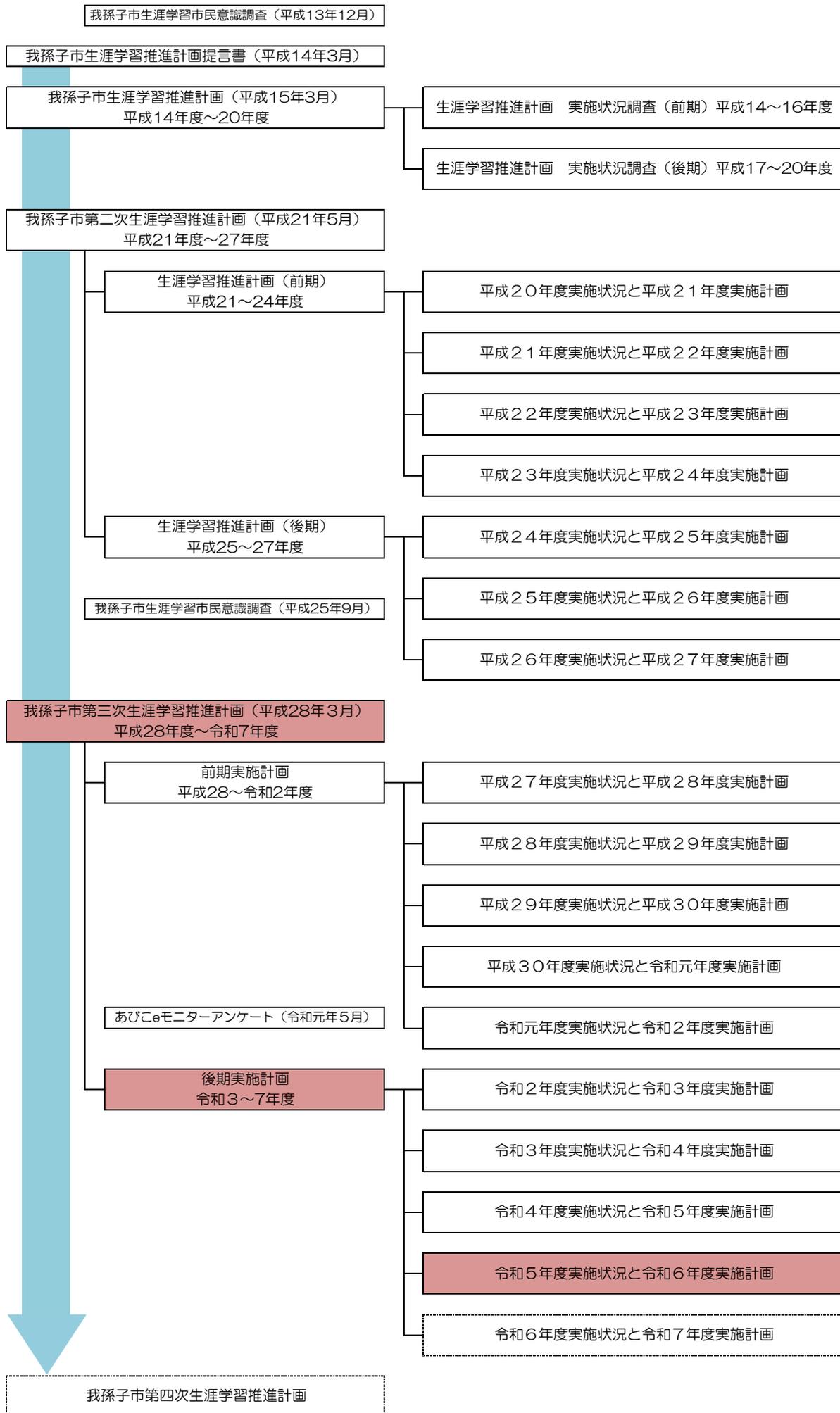
生涯学習推進計画 実施計画 事業調査集計表

～令和5年度及び令和6年度実施内容～



令和6年6月

我孫子市生涯学習推進計画のあゆみ



計画の体系

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁	
1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり（37事業）	①学びへの情報提供体制の充実（19事業）	1 暮らしの便利帳・ガイドブックの発行	秘書広報課	1	
		2 広報「あびこ」の編集・発行	秘書広報課	1	
		3 男女共同参画情報紙の発行	市民協働推進課	1	
		4 財政情報の提供	財政課	1	
		5 食に関する情報の提供及び啓発の充実	健康づくり支援課	2	
		6 バリアフリー情報提供事業	障害者支援課 (障害者福祉センター)	2	
		7 子ども向け情報紙の発行及びホームページの運営	子ども支援課	2	
		8 子育て支援情報の発信	保育課	3	
		9 手賀沼情報の提供	手賀沼課	3	
		10 都市計画に関する情報の提供	都市計画課	3	
		11 都市計画図等の作成・管理事務	都市計画課	4	
		12 景観形成情報発信・啓発事業	都市計画課	4	
		14 住まいに関する情報供・相談・支援	建築住宅課	4	
		15 水道広報活動推進事業	水道局経営課	5	
		16 生涯学習情報の発信	生涯学習課	5	
		18 あびこ電腦考古博物館の運営	文化・スポーツ課	5	
		19 図書館における郷土・行政資料サービス	図書館	6	
		20 図書館の情報化推進	図書館	6	
		21 鳥の博物館ホームページの運営	鳥の博物館	6	
		②学びにつなげるための相談体制の充実（6事業）	22 生涯学習相談体制の整備〔再掲153〕	生涯学習課	7
			23 生涯学習人材バンクの整備〔再掲129〕	生涯学習課	7
	24 生涯学習ボランティア〔再掲131〕		生涯学習課、子ども支援課、保育課、指導課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館	7	
	25 視聴覚教材・機材の管理及び貸出〔再掲164〕		生涯学習課	8	
	26 図書館カウンターサービス		図書館	8	
	27 図書館利用に障害のある方へのサービス		図書館	8	
	③学びへの関心を高めるための啓発の充実（12事業）	28 交通安全普及啓発活動の推進	交通政策課	9	
		29 集団健康教育	健康づくり支援課	9	
		30 健康フェア〔再掲174〕	健康づくり支援課	9	
		31 廃棄物に関する教育啓発事業	手賀沼課資源循環推進室 (クリーンセンター)	9	
		32 石けん利用の推進	商業観光課	10	
		33 小学校『歯磨き・食育指導』事業	学校教育課	10	
		34 生涯学習推進計画事業実施状況調査	生涯学習課	10	
		35 生涯学習推進委員会の運営	生涯学習課	11	
		36 健康スポーツ普及事業	文化・スポーツ課	11	
		37 読書普及活動	図書館	12	
		38 図書館PR	図書館	12	
		39 鳥博セミナー・イベント等の教育普及活動	鳥の博物館	13	

計画の体系

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁	
2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり（53事業）	①地域への関心を高める学びの機会の推進（14事業）	41	子どもの居場所づくり事業（あびっ子クラブ）〔再掲177〕	子ども支援課	14
		42	谷津ミュージアムづくり推進事業	手賀沼課	14
		43	手賀沼船上学習の実施	手賀沼課	14
		44	手賀沼流域フォーラムの開催	手賀沼課	14
		45	ジャパンバードフェスティバルの開催〔再掲175〕	手賀沼課、商業観光課、鳥の博物館	15
		46	地区計画制度の活用の支援	都市計画課	15
		47	我孫子産米及び我孫子産野菜の学校給食の導入事業	学校教育課	15
		49	市史調査研究	文化・スポーツ課	16
		50	郷土芸能への支援〔再掲147〕	文化・スポーツ課	16
		51	文化財の指定調査と保存支援	文化・スポーツ課	16
		52	埋蔵文化財発掘調査	文化・スポーツ課	16
		53	考古遺物整理	文化・スポーツ課	17
		54	あびこ自然観察隊	鳥の博物館	17
		55	てがたん（手賀沼の自然観察会）	鳥の博物館	17
	②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供（19事業）	56	子どもNPOボランティア体験	市民協働推進課	18
		57	後期離乳食教室	健康づくり支援課	18
		58	しあわせママパパ学級	健康づくり支援課	18
		59	離乳食教室	健康づくり支援課	18
		60	手賀の丘フレンドシップツアー	子ども支援課	19
		61	あびこ子どもまつり〔再掲150〕	子ども支援課	19
		62	げんきフェスタ〔再掲151〕	子ども支援課	19
		64	子育て支援施設における講習	保育課	19
		65	こども議会	指導課	20
		66	長寿大学〔再掲154〕	生涯学習課	20
		67	成人式	生涯学習課	20
		68	熟年備学	生涯学習課	21
		69	家庭教育学級〔再掲155〕	生涯学習課	21
		70	のびのび親子学級〔再掲156〕	生涯学習課	21
		71	アビコでなんでも学び隊	生涯学習課	22
		72	子どものための舞台鑑賞事業	文化・スポーツ課	22
		73	成人・青少年への図書館サービス	図書館	23
		74	児童への図書館サービス	図書館	24
		75	子どもの読書活動推進計画の進行管理	図書館	24
	③多様化・高度化する市民ニーズに対応した学習内容の充実（20事業）	76	男女共同参画講演会の実施	市民協働推進課	25
		77	平和事業	企画政策課	25
		78	健康づくりに関する専門家によるセミナー	健康づくり支援課	25
		79	メンタルヘルス啓発講座	障害者支援課	26
		80	失語症家族教室	障害者支援課 （障害者福祉センター）	26
		81	手話講習会	障害者支援課 （障害者福祉センター）	26
		82	家族介護教室	高齢者支援課	26
		83	認知症の人の家族のつどい「あびこ」	高齢者支援課	27
		84	介護予防講演会	高齢者支援課	27
		85	高齢者虐待防止講演会	高齢者支援課	27
		86	遊具うんどう教室	高齢者支援課	28
		87	環境学習の推進	手賀沼課	28
		88	消費生活講座	商業観光課	29
89		緑の講習会	公園緑地課	29	
90		学校給食管理運営事業	学校教育課	29	
91		生涯学習出前講座の運営〔再掲127〕	生涯学習課	30	
92		生涯学習推進事業	生涯学習課	30	
93	人権教育	生涯学習課	31		
95	スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～〔再掲167〕	文化・スポーツ課	31		
96	鳥の博物館企画展の実施	鳥の博物館	31		

計画の体系

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁
3 多様な学びの場のあるまちづくり (27事業)	①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 (23事業)	97 市民農園維持管理事業	農政課	32
		98 親水広場の運営(水環境保全啓発展示及びプラネタリウム)	手賀沼課	32
		100 新たな文化交流拠点施設整備の検討	企画政策課、生涯学習課	33
		101 地域交流教室の提供	生涯学習課	33
		102 公民館施設管理運営	生涯学習課	33
		104 フリースポット(Wi-Fi)の提供	生涯学習課	33
		105 施設予約システムの運用	生涯学習課、文化・スポーツ課、市民協働推進課	34
		106 市民体育館管理運営	文化・スポーツ課	34
		107 体育施設管理運営事業、維持補修	文化・スポーツ課	34
		108 武道施設の建設整備の検討	文化・スポーツ課	34
		109 市民体育館維持補修、改修事業	文化・スポーツ課	34
		110 学校体育施設開放事業	文化・スポーツ課	35
		111 ふれあいキャンプ場管理運営	文化・スポーツ課	35
		112 文化財等の保存と活用	文化・スポーツ課	35
		113 杉村楚人冠邸の保存と活用	文化・スポーツ課	36
		114 旧井上家住宅の保存と活用	文化・スポーツ課	36
		115 白樺文学館の運営	文化・スポーツ課	37
		117 移動図書館業務	図書館	37
		118 図書館の整備	図書館	37
		119 図書館会議室及び展示スペースの提供	図書館	38
		120 博物館施設設備に維持管理	鳥の博物館	38
		122 常設展示リニューアル	鳥の博物館	38
		186 文化財保存活用地域計画の推進	文化・スポーツ課	39
	②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用 (4事業)	223 手賀沼ふれあいウォーク	健康づくり支援課	39
		224 近隣市町と体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進	文化・スポーツ課	39
		225 手賀沼エコマラソン支援事業【再掲148】	文化・スポーツ課	39
		226 市外図書館・大学・関係機関との連携協力【再掲183】	図書館	40
4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり (17事業)	①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充 (6事業)	227 【再掲】生涯学習出前講座の運営	生涯学習課	40
		228 生涯学習出前講座市民講師メニューへの登録	生涯学習課	40
		229 【再掲】生涯学習人材バンクの整備	生涯学習課	40
		230 アビスタ利用者保育スタッフ事業	生涯学習課	40
		231 【再掲】生涯学習ボランティア	生涯学習課、子ども支援課、保育課、指導課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館	41
		232 文化事業市民スタッフの活用	文化・スポーツ課	41
	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充 (6事業)	233 防災士及び災害救援ボランティア育成事業	市民安全課	41
		235 介護予防サポーター養成講座	高齢者支援課	41
		236 子育てサポーター養成講座	保育課	42
		237 環境レンジャー活動への支援	手賀沼課	42
		238 緑のボランティアの森づくり	公園緑地課	42
		240 生涯学習審議会委員の研修	生涯学習課	43
	③学んだ成果を評価するしくみの構築 (5事業)	243 市民参加型コンサート	文化・スポーツ課	43
		244 文化祭	文化・スポーツ課	43
246 めるへん文庫		文化・スポーツ課	44	
247 【再掲】郷土芸能への支援		文化・スポーツ課	44	
248 【再掲】手賀沼エコマラソン支援事業		文化・スポーツ課	44	

計画の体系

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁
5 学びでつながるまちづくり（37事業）	①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実（8事業）	149 市民のチカラまつりの実施	市民協働推進課	44
		150 【再掲】 あび子どもまつり	子ども支援課	44
		151 【再掲】 げんきフェスタ	子ども支援課	44
		152 学校支援事業の充実	指導課	45
		153 【再掲】 生涯学習相談体制の整備	生涯学習課	45
		154 【再掲】 長寿大学	生涯学習課	45
		155 【再掲】 家庭教育学級	生涯学習課	45
		156 【再掲】 のびのび親子学級	生涯学習課	45
	②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成（13事業）	158 在住外国人支援事業	企画政策課	46
		159 公募補助金制度の運用	市民協働推進課	46
		160 市民公益活動補償制度の運用	市民協働推進課	47
		161 資源循環型社会に関する市民講座への派遣	クリーンセンター（手賀沼課）	47
		162 我孫子市創業支援等事業	企業立地推進課	48
		163 市民の学習活動への支援	生涯学習課	48
		164 【再掲】 視聴覚教材・機材の管理及び貸出	生涯学習課	49
		165 社会教育団体活動支援	生涯学習課	49
		166 文化芸術団体活動支援	文化・スポーツ課	49
		167 【再掲】 スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～	文化・スポーツ課	49
		168 施設・団体への図書等の貸出サービス	図書館	49
		169 鳥に関する学習への支援	鳥の博物館	50
		170 鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援	鳥の博物館	50
	③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築（16事業）	171 我孫子市国際交流協会（AIRA）との連携	企画政策課	50
		172 消費生活展の実施	商業観光課	51
		173 エンジョイ手賀沼の開催	手賀沼課	51
		174 【再掲】 健康フェア	健康づくり支援課	51
		175 【再掲】 ジャパンバードフェスティバルの開催	手賀沼課、商業観光課、鳥の博物館	51
		176 青少年相談員連絡協議会への支援	子ども支援課	52
		177 【再掲】 子どもの居場所づくり事業（あびっ子クラブ）	子ども支援課	52
		178 子育てフェスタ	保育課	52
		179 学校評議員設置事業	学校教育課	53
		180 大学との協定による学校支援学生ボランティア事業	指導課	53
		181 キャリア教育の推進（小中学生の職場体験学習事業）	指導課	53
		182 生涯学習審議会の運営	生涯学習課	54
		183 【再掲】 市外図書館・大学・関係機関との連携協力	図書館	54
		184 図書館実習生受入・施設見学	図書館	54
		185 山階鳥類研究所との連携・交流	鳥の博物館	55
		187 学校運営協議会制度の推進	指導課	55

 進行管理が行える計画あり 9事業（うち再掲3事業）

NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点		
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり		基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり			基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり		
①学びへの情報提供体制の充実		①学びへの情報提供体制の充実			①学びへの情報提供体制の充実		
基本目標 1 ①いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	1	暮らしの便利帳・ガイドブックの発行 市民や転入者に行政サービスや公共施設の利用案内などの市政情報を提供する。	●暮らしの便利帳 ・令和2年度からホームページのみで公開していたが、インターネットでの情報が増えていること、他の情報誌でも同様の情報が得られることから、公開を終了した。 ●ガイドブック「ABI ROAD」の改訂・増刷 ・日本語版30,000部、外国語(英語・中国語簡体字・中国語繁体字・韓国語)各5,000部、計50,000部を増刷。増刷に際し、御朱印・御城印マップと聖地巡礼(ロケ地)マップの4ページを追加した。 ◇◆指標と実績◇◆ ●ガイドブック「ABI ROAD」 作成部数: 50,000部	A. 成果・効果があった 配布開始と同時に大きな反響があり、配布施設によっては即日在庫がなくなることもあった。 配布の初動で、各施設や団体へ送付したもので10,000部近くであった。 2～3年をかけて配布する見込みで増刷したため、このままのペースであれば早期に在庫が枯渇する可能性があること。	A. 現状どおり推進 暮らしの便利帳はホームページでは掲載しない。	なし	秘書広報課
	2	広報「あびこ」の編集・発行 市民が必要としている行政情報などを、わかりやすく、正確に、確実にお知らせする。	【広報あびこ発行部数】 令和5年4月16日号～令和6年4月1日号 24回 各38,000部 前年度と同様、写真やイラストなどを活用し、見やすく読みやすい紙面づくりに努めた。特に新型コロナウイルス感染症関連情報は、最新の内容となるよう担当課と調整し掲載した。 ●広報あびこ 【発行回数】 月2回(1日・16日) 【配布方法】 新聞折り込みと、新聞未読世帯には申し出により宅配による配布。市役所本庁舎ロビー、各行政サービスセンター・各近隣センター・公民館・図書館・水の館・市民プラザなどの公共施設やショッピングモール・スーパーマーケットでの配布。令和6年1月1日号から市内小・中学校への配布を開始。 ※新聞購読者が減少傾向にあり、折り込みによる配布は減、宅配による配布は増の傾向にある。 ◇◆指標と実績◇◆ 【広報あびこ発行部数】 令和5年4月16日号～令和6年4月1日号 24回	A. 成果・効果があった 新型コロナ関連、施策・事業、イベント、各種講座や市民団体のお知らせなど、市民に関係するさまざまな情報を発信できた。	A. 現状どおり推進 市民と市が情報を共有するためには、市政や市民の暮らしに関する情報を提供している広報あびこの発行は現状どおり推進する必要がある。	なし	秘書広報課
	3	男女共同参画情報紙の発行 男女共同参画社会の重要性や必要性に対する市民の理解を深めるため、男女共同参画情報紙を発行する。	※担当課の進行管理による				年 秘 書 広 報 課 推 進 課 (市 民 和 協 6)
	4	財政情報の提供 広報やホームページなどを通して、市の当初予算の状況、執行状況、決算の状況及び財務諸表などの財政情報をわかりやすく市民に提供する。	●広報あびこ 《4月》 令和5年度当初予算の概要 《5月》 令和4年度予算の執行状況 《10月》 令和6年度予算編成方針 策定 《11月》 市の財政状況「令和4年度決算と令和5年度上半期の執行状況」 《3月》 令和4年度決算一般会計等財務書類(速報版) ●ホームページ ホームページへ財政分析資料等の掲載 ◇◆指標と実績◇◆ 【ホームページ閲覧数】 ・実績 15430件	A. 成果・効果があった ・市の財政について、広報・ホームページを活用して情報を提供した。	A. 現状どおり推進	なし	財政課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①学びへの情報提供体制の充実	5	食に関する情報の提供及び啓発の充実 食に関する正しい知識を得て、おいしく楽しく食する人を増やすために、食に興味・関心を持つための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発を行う。食品を選択する際の情報源である食品表示(栄養成分表示など)についても、引き続き出前講座や我孫子市食育だよりなどで啓発を行う。	食に興味・関心を持つための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発を行う。 食に関わる事業(離乳食教室等)や各地域でのイベントでの啓発活動に加えて、がん集団検診の会場でパネルを用いて啓発活動を実施する。また、食育だよりや保健センターだより、市のホームページを用いて啓発を行っていく。食品表示(栄養成分表示など)についても、出前講座などで啓発を行う。 ●食育だより 【発行】4回/年 【配布枚数】12,600枚/号、これに加え、がん集団検診で配布 ●ホームページ ホームページに食育だよりを掲載。 ●出前講座 市役所メニュー「知って得する食品表示」並びに「メタボを防ごう！肥満解消！時短簡単クッキング！」(調理実習)の設定があったが、利用者はなかった。 ●がん集団検診での啓発展示 令和5年度に実施した集団検診(胃がん検診・乳がん検診・子宮がん検診)の会場で啓発展示を行った。 ◇◆指標と実績◆◆ 【食育だより発行枚数】57,700枚 【出前講座等参加者】本講座に参加し学習したことを、今後、活用・実行できそうか ※利用者がなかったため実績なし	A. 成果・効果があった ・食育だよりの配布により、日頃健康づくり支援課の事業への参加が少ない小・中学校に通う児童・生徒を持つ保護者に情報提供を行うことができた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、ここ数年、出前講座の申し込みはなかったが、感染症流行も落ち着いてきたため、今後の申し込み状況も見ながら、内容を検討していく必要がある。	A. 現状どおり推進 喫食を伴う講座等の実施は、実践につながりやすい情報の提供ができる場であるため、今後の申し込み状況も見ながら、内容検討しつつ継続実施とする。	なし	健康づくり支援課
		6	バリアフリー情報提供事業 市民と協働で市内のバリアフリー状況調査を行い、その結果を「バリアフリーおでかけマップ」としてまとめ、障害のある方や高齢の方をはじめ、妊娠中の方や小さなお子様連れの方など、誰もが安心して外出を楽しめるように、情報提供を行う。	A. 成果・効果があった 市内施設のバリアフリー状況調査を行い、「バリアフリーおでかけマップ らっく楽！あびこ」の更新をすることで、外出支援に寄与した。	A. 現状どおり推進	引き続きバリアフリー状況調査と情報の更新を行ってゆく。ホームページ版については令和6年度内に閉鎖する予定。	障害者支援課(障害者福祉センター)	
		7	子ども向け情報紙の発行及びホームページの運営 子どもたちが地域における様々な体験活動への参加を通して、心身ともに健やかに成長することを願い、体験活動をはじめとする様々な活動に関する情報を広く収集、提供する。	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進	なし	子ども支援課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和6年度実施内容			令和6年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 1 ①学びへの情報提供体制の充実 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	子育て支援情報の発信	<p>●広報あびこ 【日程】毎月1日広報あびこ「子育て応援情報」掲載 【内容】「保育園・幼稚園等の地域子育て支援、子育て支援センター事業」出張広場るんるんパーク」「すくすく子育て」、他私立子育て支援センター情報等。 ●登録制メール配信及び市のLINE配信サービス(子育て応援情報) 【回数】随時配信 【内容】 ・市内子育て支援施設月間お便り及びび行事案内 ・あびこ子育て公共施設イベント情報 ・子育てサークル等のイベント情報 ●SNS配信(Facebook・X) 【回数】随時 【内容】子育て支援施設行事案内と募集 ●インターネット 【回数】随時更新 【内容】 ・市ホームページ「あびこ子育て」イベントカレンダー・イベントレポート(ブログ) ・すくすく子育てイベント、子育て支援施設、子育て支援サービス等の情報を随時更新。 ※上記を我孫子市子育て支援センターのiPadにて情報提供。 ●窓口・電話による子育て情報提供(子育てコンシェルジュ) ●子育て支援ガイドブック「わくすく」の発行 【日程】2024年3月発行済 【部数】9,500部 【対象】在宅未就園児、母子健康手帳申請者、転入者など</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【子育て応援情報登録者数】3,978件 【相談件数】697件</p>	<p>A. 成果・効果があった 利用者が必要な情報を得て活用することにより、育児不安の軽減や孤立化の防止につながっている。 公共施設に向けた説明会を開催した。子育てに関する相談が気軽に受けられるように、出張広場「にこにこハウス」を開始した。</p>	<p>A. 現状どおり推進 子育て支援施設で利用者が気軽に相談できる体制を整えるため、職員が順次子育て支援員研修を受講し、子育てコーディネーターとしての資質向上にあたっている。</p>	<p>事業の実施変更はないが、出張広場「にこにこハウス」を年間行事として計画し、市内公民館や近隣センターを巡回しながら相談業務を行う。</p>	保育課
	手賀沼情報の提供	<p>手賀沼中央地点の水質情報の更新(3ヶ月に1回)を各掲示板にて情報提供及び広報あびこにて情報掲載する。 また、手賀沼公園内の掲示板においては、1ヶ月毎に市独自で水質調査を行っている「手賀沼公園沖」の水質も併せて更新する。</p> <p>【掲示場所】 JR4駅(我孫子・天王台・湖北・布佐)の各南北口階段、行政サービスセンター7施設、市役所本庁舎1階、水の館(1階、3階)、アビスタ、手賀沼公園(手賀沼公園沖水質データも掲示) 計20箇所 ◇◆指標と実績◆◇ 【手賀沼情報の更新回数】 16回</p>	<p>A. 成果・効果があった 市民の目に触れるところに掲示することで目的とする情報を提供できた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	手賀沼課
	都市計画に関する情報の提供	<p>・市民・事業者からの窓口や電話などでの問い合わせに対して都市計画法第3条第3項に基づき、都市計画(用途地域、高度地区、防火・準防火地域等)に関する適切な情報の提供を常時行う。 ・都市計画の概要が記載されている「我孫子市の都市計画」およびホームページの更新を行い情報提供を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページ閲覧数】 計12,382件 (我孫子市の都市計画の概要:1304件、高度地区の規定について:1,695件、都市計画図検索画面:9,383件)</p>	<p>A. 成果・効果があった 市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進 常に情報を更新し、正確に情報を提供する。</p>	なし	都市計画課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和6年度実施内容		令和6年度実施内容 前年度からの変更点	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
				成果 課題			
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①	都市計画図等の作成・管理事務	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画図を都市計画課窓口、行政情報資料室及び図書館に配置するとともに、都市計画基本図(地形図)を都市計画窓口に配置し、一般市民・事業者に対して広く閲覧できるようにする。 都市計画課窓口で都市計画図・都市計画基本図(地形図)を販売する。 <p>◆指標と実績◆ 【販売枚数】 40枚(都市計画図:15枚、地形図:25枚)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>令和2年度に都市計画図及び都市計画基本図の更新を実施したため、最新情報を提供する。</p>	都市計画基本図(地形図)を多くの市民・事業者に提供するため、公開型GISの印刷設定機能を変更する予定。	都市計画課
		景観形成情報発信・啓発事業	<p>1. 「我孫子のいろいろ八景歩き」の開催 我孫子のいろいろ八景に選ばれた市内の魅力的な景観ポイントを、市民ガイドと巡るまち歩きイベント「我孫子のいろいろ八景歩き」を4回開催。計49人の参加があった。 ◆「我孫子のいろいろ八景歩き」開催実績(令和5年度) ①「新木・古戸の古社と里を巡るコース」 【実施日】9月26日(火)【参加者】11人 ②「白山のまちなみと船戸の森・湧き水の小径コース」 【実施日】10月22日(日)【参加者】12人 ③「将門伝説の地と中里市民の森を行くコース」 【実施日】10月27日(金)【参加者】15人 ④「守られた自然」かじ池・谷津を巡るコース 【実施日】11月10日(金)【参加者】11人</p> <p>2. 我孫子のいろいろ八景パネル展示 市内・市外の公共施設や商業施設等(計9施設)で、我孫子のいろいろ八景を紹介するパネルを展示。</p> <p>3. 「我孫子のいろいろ八景歩き」コースマップ等の改訂・配布 我孫子のいろいろ八景を巡る散策コースマップ(計12コース)をはじめ、我孫子のいろいろ八景に関する発行物の改訂・増刷を行い、市内・市外の公共施設等で配布した。</p> <p>4. 我孫子市公開型GIS「あびまっぷ」上での我孫子のいろいろ八景に関する情報発信 我孫子のいろいろ八景に選ばれた景観ポイントの情報や、市民等が投稿した市内の魅力的な景観の画像等をインターネットの地図上で確認できるようにし、市民・事業者・行政による景観情報のデジタル化・共有化を図った。</p> <p>5. 歴史景観コスプレイベント「アビコス」の開催 我孫子の魅力的な歴史景観を若い世代に知っていただくために、旧井上家住宅で歴史景観コスプレイベント「アビコス」の開催をし、女性コスプレイヤー11人、カメラマン9人の参加があった。 ◆指標と実績◆ 「我孫子のいろいろ八景歩き」合計参加者数…49人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>令和5年度に行った「我孫子のいろいろ八景歩き」の参加者アンケートの結果では、全員から本事業は景観に関心を持っていただく上で効果があるとの回答が寄せられた(※「効果がある」…72.1%、「やや効果がある」…25.6%、残りは無回答)。また、我孫子のいろいろ八景の散策コースマップは、一部の施設では設置から程なくして補充が必要になるほど好評を得ている。「アビコス」では参加者の80%が30代以下の若い世代となっており、参加者アンケートの結果では85.7%が友人やX(旧Twitter)のフォローワーにお勧めしたいと回答があり、若年層への啓発につながった。</p> <p>「我孫子のいろいろ八景歩き」の参加者を年代別に見ると、60代以上が大半を占めており、若い世代に参加していただくための工夫や仕掛けづくりが課題。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	「我孫子のいろいろ八景歩き」の申し込み方法にLINEによる申し込み方法を追加し、若い世代に参加しやすくする。	都市計画課
		住まいに関する情報提供・相談・支援	<p>●ホームページ・広報 ・市ホームページに「住まい」に関するページを設け、空き家バンクその他の住まいに関わる制度、マンション管理や住まいの安全対策等に関する情報、住まいに関わる助成・補助(若い世代の住宅取得補助金、住宅リフォーム補助金、耐震助成)について情報提供を行った。 ・住宅政策制度や相談の実施について、広報やSNSで情報を発信するとともにチラシを配布して情報提供を行った。</p> <p>●住まいに関する情報提供 ・住宅相談、不動産相談(8月を除く毎月1回・第2金曜に実施) ・マンション問題個別相談会(4月・10月・2月) ・マンション管理セミナー・個別相談会(6月:マンションにおける防災、12月:大規模修繕工事の進め方) ・マンション管理アドバイザー派遣制度(通年) ・空き家バンク制度等(通年) ・空き家対策に関する情報誌の作成・配布(年1回・9月発行/2,400部)</p> <p>◆指標と実績◆ ・住宅相談・不動産相談件数…指標30件、実績25件 ・マンション問題個別相談会、マンション管理セミナー…指標なし、実績計5回開催/24組合参加 ・マンション管理アドバイザー派遣制度…指標なし、実績3組合に派遣 ・マンション管理計画認定制度事前説明会…17組合参加 ・空き家バンク制度…指標なし、実績平成30年度からの累計登録数12件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>各相談を通じ、専門家による情報提供を受けられる機会や、セミナー参加者同士の交流・意見交換の場などを設けることができた。 空き家対策について、市の発行した情報誌やチラシを見た方からの相談・問い合わせが増えてきており、空き家バンクの登録件数の増には直接結びつかない案件もあったが、家の相続等の相談者の状況に合わせた情報を提供することができた。</p> <p>住宅相談・不動産相談や空き家バンク、住宅リフォーム補助金の利用者は、比較的高齢の方が多く、インターネットでの情報提供が馴染まない場合がある。そのため引き続き、対面の相談やセミナー、空き家対策情報誌の発行、電話や窓口での情報提供を行い、より丁寧でわかりやすい説明が必要となる。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	・マンション管理に関する相談・セミナーの開催方法等の変更(相談予約の増枠、意見交換会の開催)	建築住宅課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	15	水道広報活動推進事業 水資源の重要性や、水道事業運営状況等の積極的な情報提供を図る。	<p>【「あびこの水道」発行部数】 38,500部 年2回の発行</p> <p>●広報「あびこの水道」発行 【発行回数】年2回(No.61: 5月16日号、No.62: 11月16日号)発行 ・市内では新聞折り込み等により配布 ・取手市小堀地区・取手地区に個別郵送 ・市関連施設の窓口にて配布 ・市Webサイトに掲載</p> <p>●水道水のPR活動 ・市内のイベントや小学校の授業において、我孫水(ペットボトル水)の配布をし、水道水の安全性やおいしさについてPRを行った。 ◇◆指標と実績◆◇ ●広報「あびこの水道」発行部数 38,500部 (年2回 77,000部)</p> <p>●我孫水 イベントでの配布数 (24本/156箱)</p>	A. 成果・効果があった イベント場所において、給水袋を肩から背負うことで、「意外と重い」など実体験の感想がいただけた。	A. 現状どおり推進	新聞における定期購読者の減少から、発行部数を38,500部から37,500部に変更した。今年度は、年3回の発行を予定。	水道局経営課	
		生涯学習情報の発信 各課で実施する生涯学習に関連する事業について、「生涯学習情報」や生涯学習のホームページ、ブログ及びSNS(Facebook、ツイッター)、市のメール配信サービスなどを活用し、より広く情報の発信を行う。	<p>A. 成果・効果があった 広報、ホームページ、情報誌、SNS等により情報発信し、生涯学習情報を提供した。</p>	A. 現状どおり推進 今後も効率的に情報発信するため、広報、ホームページ、情報誌に加えSNS等を積極的に活用し、市民が情報を取得しやすいよう情報発信の充実を図ります。	なし	生涯学習課		
		あびこ 電腦考古博物館の運営 我孫子の文化財とその保護の取組みについて、市民に広く知ってもらうため、市の文化財のホームページである「あびこ 電腦考古博物館」から文化財の情報を発信する。	<p>A. 成果・効果があった 情報管理を適切に行い、情報更新を速やかに行うことができた。</p>	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課		

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容		令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	19	図書館における郷土・行政資料サービス 多くの市民に我孫子市や千葉県 の郷土や行政に関心を持って もらうため、郷土・行政資料の 収集・保存・提供に努め、学び たい時に学べる学習機会の充 実を図る。我孫子市の資料に ついては、アピスタ本館が中 心となり、収集・保存する。	○我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供した。我孫子資料については、特にアピスタ本館が中心となって収集・保存した。 ○白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携を図り、「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営及び講座の開催を行った。 <事業> ○杉村楚人冠記念館・我孫子市民図書館合同イベント ①・テーマ:第13回楚人冠講座「関東大震災と楚人冠-安息の地・我孫子で生きる-」 日程・講師:令和5年8月11日(金) 杉村楚人冠記念館学芸員 場所:アピスタ第2学習室 参加者:22人 ②・テーマ:第14回楚人冠講座「楚人冠の人生と伝教」 日程・講師:令和5年11月26日(日) 杉村楚人冠記念館学芸員、図書館市民スタッフ(対面朗読担当) 場所:アピスタ第2学習室 参加者:23人 <企画展示> ○「ロケのまち、我孫子」 日程:令和6年1月20日(土)から2月14日(水)まで 場所:アピスタ2階ガラスケース 内容:映画やドラマのロケの様子や作品ポスター、関連雑誌等の展示	A. 成果・効果があった 我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供することにより、市民が郷土への理解を深め、愛着をもって生活し、主体的に行政に関わるための一助となった。また、市の文化施設と連携することにより、郷土資料の充実及び事業のPR・共同開催を図り、互いに利用を促進することができた。 「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営にあたっては、今後も白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携していくことが欠かせない。他の市内文化施設とも連携して展示や資料提供の工夫をしていく必要がある。また、ホームページの郷土のページも適宜追加・見直しをおこなっていく。	A. 現状どおり推進 郷土資料の買い替えや複本の購入を進め、市役所各課と連携することで、我孫子市でしか入手できない資料を収集・保存・提供できた。我孫子市として後世に伝えていくべき文化遺産を今後も収集・保存・提供していくため、引き続き推進していく。いままでも蓄積した郷土に関するレファレンスをまとめ、ホームページに追加していく。	なし	図書館
		図書館の情報化推進 図書館の電算システム等を運用し、市民の利便性の向上を図るとともに、過去の出来事や事件を手軽に調べることができる新聞の有料データベースにより情報提供を行い、知る自由を保障する。	○図書館のホームページを作成し、所蔵検索などのインターネットサービスを提供したほか、利用促進のためのPR及び情報提供を行った(イベント案内、お知らせなど)。 ○市役所のホームページにスタッフ募集や各種イベントの記事を掲載した(おはなし会、企画展、読書講演会、科学実験講座、読書マラソン大会など)。 ○Facebookに各種イベントの記事を掲載した。 ○館内特集コーナー・展示コーナーで毎月資料やポスターなどを展示した。 ○広報あびこへの記事提供を行った(「ミニギャラリー」、「図書館員が選ぶこの一冊」、各種イベント記事など)。 ○事業・イベントをPRするポスターやチラシを作成した。 ○各種刊行物の企画・編集・発行を行った(「我孫子市の図書館」、「男女共同参画図書リスト」、「たんた新聞」、年齢別・学齢別ブックリストなど)。 ○読書推進用我孫子市民図書館オリジナル「読書ノート」の配布を行った。 ○電子図書館サービス導入のための事業者選定に向けてプロポーザルの準備を行った。また、交付金を活用するため「デジタル田園都市国家構想交付金」の申請を行った。 ◇◆指標と実績◇◆ 【インターネット及び館内検索コンピュータからの予約(リクエスト)受付件数(年間)】 93,394件 (前年度 93,874件)	A. 成果・効果があった インターネットからの予約件数が減少しているが、令和3年度途中から予約制度を我孫子市民に限定したためと思われる。件数が減少したことで、人気のある本の回転が速くなったのであれば成果があったと言える。 令和6年10月1日から導入するあびこ電子図書館サービスをより多くの市民に知ってもらい、利用登録につなげていけるかが課題となる。	A. 現状どおり推進 読書マラソン大会を定期的に行い、パスワード登録者の増加を図る。また電子図書館サービスを市民に知ってもらえるようPRを行い、利用登録につなげる。	10月1日公開を目指し、あびこ電子図書館サービスを導入する。	図書館
		鳥の博物館ホームページの運営 鳥の博物館専用ホームページを運営し、鳥の博物館のイベント情報、企画展のお知らせ等、博物館事業の情報提供を行う。	鳥の博物館で実施する企画展やイベント情報など最新情報を発信した。また、鳥の3Dデータ等の公開を行い、鳥のサイエンストークでは見逃し配信も行った。 ◇◆指標と実績◇◆ 【鳥博トップページアクセス数】 59,990回	A. 成果・効果があった 全国に広く鳥博の展示・イベント情報を発信するほか、ショップグッズについてもオリジナル商品を紹介し、多くの人に鳥博を知ってもらうことができた。 更に多くの方に来館してもらえるよう工夫をする。	A. 現状どおり推進 より魅力ある情報を発信していく。	画像アーカイブシステムの運用を停止する	鳥の博物館

NO	事業名 趣旨・目的	令和6年度実施内容			令和6年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
②学びにつなげるための相談体制の充実							
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	22	生涯学習相談体制の整備 市民一人ひとりの学習ニーズに対応した学習相談に応じるため、さまざまな学習情報を収集し、提供できるよう学習相談体制を整備する。	生涯学習センター「アビスタ」を拠点に我孫子市内外で行われている様々な学習情報の収集と提供を行う。また収集した情報を活用した学習相談を行う。各課で実施している生涯学習関連事業や学校等で活躍している地域の方の人材情報や団体情報・イベント情報を収集し、インターネット等で市民に情報を提供する。 【出前講座メニュー表】 【発行日】随時発行 【内容】生涯学習出前講座の利用方法、メニュー、市民講師プロフィール ◇◆指標と実績◇◆ 人材情報、団体・グループ情報(ホームページ)へのアクセス数 1,766件	A. 成果・効果があった さまざまな学習情報を収集し、ホームページや広報、情報誌等を活用し、情報提供を行った。また、「生涯学習団体グループ情報」、「生涯学習人材情報」、「生涯学習出前講座メニュー」等の情報を活用し、学習相談に対応し、市民の学習活動を支援することができた。	A. 現状どおり推進 今後も市民一人ひとりの学習ニーズに対応した学習相談に応じるため、さまざまな学習情報の収集と提供の充実を図ります。また、学習活動団体や関係機関との連携強化を図ります。	なし	生涯学習課
	23	生涯学習人材バンクの整備 市民の能力、経験や学習の成果をボランティア活動や市民活動に活かすため、絶えず人材情報や生涯学習団体情報のデータ更新を行い、情報の提供を行う。	「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」について、3年ごとに定期更新を行い最新の情報へ更新する。また、随時登録募集を行い、情報数を増やすとともに、問い合わせに対し迅速に回答できるようデータ管理をした。 【令和5年度末 人材情報登録件数】67件 【令和5年度末 団体・グループ情報】117団体 ◇◆指標と実績◇◆ 【新規登録件数】 人材情報 2件 団体情報 5団体	A. 成果・効果があった 「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」をホームページや閲覧用冊子で参照した方から多数の問い合わせがあり、登録者・登録団体をを紹介することで活動を始めようとする市民を支援した。	A. 現状どおり推進 「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」をホームページや閲覧用冊子で参照した方から多数の問い合わせがあり、登録者・登録団体をを紹介することで活動を始めようとする市民を支援した。今後も、専門的な技術・経験・知識を持つ市民を講師として登録し、学習活動にいかしていきます。	なし	生涯学習課
	24	生涯学習ボランティア 出前講座市民講師登録等のボランティア登録を担当課で行い、市民が持つ様々な経験や専門的知識を活かせる場を提供する。	市民が持っている様々な経験や専門的知識を活かせる機会の提供と生涯学習に関わるボランティアの活用を図った。 《子ども支援課》 宿泊通学スタッフ 6人 あびつクラブサポーター 125人 《保育課》 子育てボランティア 1人 子育て支援サポーター 43人 インターンシップ 6人 《指導課》 学校支援ボランティア 37, 930人 地域学校協働本部数 19団体 《文化・スポーツ課》 文化事業市民スタッフ 27人 旧村川別荘ボランティア 23人 白樺文学館 演奏ボランティア 27人 白樺文学館 朗読ボランティア 7人 《鳥の博物館》 鳥の博物館市民スタッフボランティア 22人 《図書館》 図書館市民スタッフ(読書普及スタッフ) 11人 図書館市民スタッフ(対面朗読スタッフ) 10人 《生涯学習課》 生涯学習出前講座市民講師 44人、6団体 保育市民スタッフ事業(学習中の保育) 11人 ◇◆指標と実績◇◆ 【令和3年度 ボランティア登録数】 《個人登録数》 358人 《団体登録数》 28団体	A. 成果・効果があった 多くの市民の方にボランティア登録してもらい、市民ボランティアのサポートを受け、各事業において、生涯学習の推進が図られた。	A. 現状どおり推進 地域を支える方が1人でも多くなり、市民の学習活動がまちづくり活動として発展していくよう、生涯学習ボランティアの活用を図ります。	なし	生涯学習課他6課

NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	25 視聴覚教材・機材の管理及び貸出 現在保有する視聴覚教材・機材を維持管理して有効活用するとともに、視聴覚教材及び機材を保全し、これらの貸出業務をもって、市民の生涯学習活動を支援する。	保有する機材・教材を有効活用し、貸し出しを行う。 ●視聴覚教材及び機材の貸出（通年） 【対象者】市内に在住又は在勤し、営利を目的としない者 【視聴覚機材利用件数】 73件 【視聴覚教材利用件数】 ・16ミリフィルム：0件 ビデオソフト：0件 DVD：7件 合計 80件 ●機材・教材保有状況 ・16ミリ映写機、液晶プロジェクター、ポータブルアンプセットなど約15種類の機材 ・16ミリフィルム：325本 ・ビデオソフト：253本 ・DVD： 234本 ◇◆指標と実績◆◇ 【視聴覚ライブラリー利用件数（機材・教材の合計）】 80件(団体・個人)	A. 成果・効果があった 新型コロナウイルス感染症の落ち着いたに伴い、利用数は増加した。また、防災訓練や自治会、市民団体の研修時などで定期的に使用している団体があり、一定の需要がある。	A. 現状どおり推進 機器が古くなっており、部品等の調達が難しいことから、必要に応じて機材を購入する。	なし	生涯学習課	
	26 図書館カウンターサービス 図書館資料の利用により、市民が知る自由を享受し、より豊かな生活を送ることが出来るよう、自主的な学習活動を支援し、幅広い学習機会を提供する。	○図書館資料(図書・雑誌・CD・カセットテープ)の貸出・返却を行った。また、返却された図書館資料を元の書架に戻し、書架整理を行った。 ○図書館サービス向上のため、年末年始(12月29日～1月4日)を除く祝日を閉館した。また、アピスタ本館は午後8時まで閉館した。 ○窓口において、利用登録の受付、市民が求める資料を探し出すための援助、調査研究の援助、複写サービスを行った。 ○利用者の求める図書館資料が貸出中または所蔵していない場合に、予約を受け付けて提供するサービスを行った。 ◇◆指標と実績◆◇ 【相談業務受付件数】 32,119件（前年度 34,078件） 【年間貸出冊数】 883,337冊（前年度 924,715冊） 【年間貸出利用者数】 243,512人（前年度 255,517人） 令和5年12月4日～11日 アピスタ本館 給水設備のため休館 令和6年1月10日～2月29日 布佐分館 エレベータ改修工事のため休館	A. 成果・効果があった 人口一人あたりの年間貸出冊数は県下9位(令和4年度)であり、多くの市民が利用していると考え。また、幅広く奥深い調査研究への援助等も自主的な学習活動の充実には必要不可欠だった。令和3年度中に市外利用者への予約サービスを制限したことで、予約受付件数が令和4年度・5年度と減少し、人気のある本を我孫子市民により早く提供できるようになった。 研修への参加及び個別指導等により、職員だけでなく会計年度任用司書職員(司書)のスキルアップを継続して行う必要がある。	A. 現状どおり推進 市民が学びたい時に学べる学習機会の充実が必要であり、今後も引き続き推進していく。	なし	図書館	
	27 図書館利用に障害のある方へのサービス 録音図書の貸出や、図書の郵送貸出等、ハンディキャップを持つ人の特性に合わせた幅広いサービスを提供することにより、学びたい時に学べる学習機会の充実を図る。	○ハンディキャップを持つ方のニーズに応じて、目の不自由な方へのサービスとして「デジレ録音図書作成・貸出事業」「対面朗読サービス」「郵送貸出サービス」、身体の不自由な方へのサービスとして「宅配サービス」、耳や言葉の不自由な方へのサービスとして「FAXでのリクエストの受付サービス」を行った。 また、ハンディキャップサービスのPRを行った。 ◇◆指標と実績◆◇ 【宅配・郵送・対面朗読等年間利用件数】 《対面朗読サービス》 51回（前年度 54回） 《郵送貸出サービス(デジレ録音図書含む)》 1,173回（前年度 1,239回） 《宅配サービス》 164回（前年度 163回） 《窓口でのデジレ録音図書貸出》 153点（前年度 829点） 合計 1,388回、153点（前年度 1,456回、829点）	A. 成果・効果があった 様々なサービスを提供することによって、ハンディキャップがある市民に対して、学びたい時に学べる機会を提供し、「知る権利」を保障することができた。 身体や視覚等に障害がある人は、図書館を利用すること自体あきらめてしまう場合がある。障害がある市民も図書館サービス(ハンディキャップサービス)を利用できることを周知し、利用者を増やしていきたい。 対面朗読サービスは図書館に足を運ばないと受けられないサービスのため、利用者を増やすことに課題がある。	A. 現状どおり推進 様々なハンディキャップがある市民の「知る権利」を保障するためにPRの工夫をし、一層の利用促進に努め、個々のハンディキャップに合わせた対応を行う必要がある。	なし	図書館	

NO	事業名 趣旨・目的	令和6年度実施内容			令和6年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
③学びへの関心を高めるための啓発の充実							
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	28	交通安全普及啓発活動の推進 警察署、交通安全協会と連携し、交通安全教室の実施等、実践的な交通安全啓発活動を充実させ、交通安全普及啓発を図る。	保育園、幼稚園、小中学校へ出向き、警察署、交通安全協会と連携・協力して交通安全教室を開催する。 模擬信号機、模擬交差点、車両等を使った安全な歩行実習、自転車の乗り方実習をします。 また、必要に応じてDVDやビデオ教材等を使いながら事故事例をもとに、交差点での横断の仕方、自転車の正しい乗り方と自転車側の過失による損害賠償などを学習します。 【日程・対象・参加者数】 <4月～2月実施> 延べ実施校等：保育園・幼稚園 2園・小学校・中学校 9校・高校 0校 延べ開催回数：22回 参加人数：1141人 ◇◆指標と実績◇◆ 【交通安全教室延べ開催回数】 22回	A. 成果・効果があった 我孫子市の交通事故発生件数は、令和4年では212件と前年より23件減少となった。 このうち子ども(中学生以下)の発生件数は14件。前年より3件の増加となった。 小中学校での交通安全教室における実技実施に際し、実施校や教育委員会にもスタッフとして人員協力をお願いしたい。	A. 現状どおり推進	なし	交通政策課
	29	集団健康教育 保健センターで実施する各種がん検診等の場で、生活習慣病予防のための健康教育を実施する。	集団でのがん検診等の場(子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診、骨粗しょう症検診)で待ち時間等を利用し、チラシ等を配布するなど生活習慣病予防等の啓発、健康教育を実施する。 【内容】がん、禁煙、COPD、歯の健康、ロコモティブシンドローム等 【場所】保健センター 【参加者(延べ人数)】延べ実施人数6,976人(集団：子宮頸がん検診2,035人、乳がん検診2,892人(マンモグラフィ検査2,357人、超音波検査535人)、胃がん検診1,627人、骨粗しょう症検診422人) ◇◆指標と実績◇◆ 【参加者(延べ人数)】 6,976人	A. 成果・効果があった 疾病の一次予防の推進を図ることができたと考ええる。 集団検診での健康教育のみの効果評価が難しい。	A. 現状どおり推進	なし	健康づくり支援課
	30	健康フェア 健康寿命の延伸に向けて、市民が普段から健康増進に努め、病気の原因となる危険因子を予防・改善する“一次予防”に取り組めるよう、健康に関する啓発を行う。健康づくりに関する情報提供や健康相談、ニュースポーツなど様々な健康づくりの取り組みを紹介し、健康における運動習慣の重要性に関する啓発を行う。	市民の健康づくりを目的とした健康フェアを開催。新型コロナウイルス感染症による制限が撤廃されて4年ぶりに通常開催となった。 【日程】令和5年10月22日(ストリートへのパネル展示は10月16日～22日) 【場所】アビスタ 【主催】健康フェア実行委員会(医師会・歯科医師会・薬剤師会、市、市民活動団体、健康フェアに協力する市民等) 【内容】「気軽に、誰でもできる健康づくり」をメインテーマに参加・体験型ブースを展開。パネル展示により健康づくり推進に係る情報発信を実施。 ◇◆指標と実績◇◆ 【来場者アンケート：「健康フェアに参加して健康についての意識が高まった/とても高まった」と答えた割合】 96.7%	A. 成果・効果があった 延べ約2,700人の方に来場いただき、参加により健康への意識が高まった方の割合も高く、市民に健康づくりを周知できたと考える。 当日参加いただいた市民の方が得た健康づくりに関する知識等を継続していただけるよう、引き続き検討していく必要がある。	A. 現状どおり推進	なし	健康づくり支援課
	31	廃棄物に関する教育啓発事業 我孫子市におけるリサイクルの流れや廃棄物処理の実情を紹介し、生活から排出される「ごみと資源」について共に考え、廃棄物行政への理解とごみの減量、リサイクルの推進を図る。	小学生の施設見学 市内13校 延べ1,033人 一般市民の施設見学 団体38団体 延べ642人 個人 延べ114人 ◇◆指標と実績◇◆ 【最終処分量】 実績2357.52t	A. 成果・効果があった 【最終処分量】2,357.52t(目標値2,928t) 広報やHP、SNSを見ない住民への対応	A. 現状どおり推進	なし	手室(ハククリンセンター)推進

NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	32	石けん利用の推進 石けんの利用を通して、私たちの生活と環境とのかかわりに関心を持ってもらい、手賀沼浄化など環境改善につなげる。	●せっけん学習会 ≪手賀沼流域フォーラム≫ 【日程】7月16日 【場所】アビスタ工芸工作室 【参加者数】39人 ●せっけん出前講座 ・【日程】7月27日 【場所】アビスタ工芸工作室 【参加者数】20人 ・【日程】10月20日 【場所】けやきプラザ 【参加者数】18人 ●イベント参加 ≪あびこで子育て応援フェスタ≫ ・せっけんと合成洗剤の違い ・せっけんについて。洗濯のしかた。環境への関わり。安全性への説明。 ・プリプリせっけん、こねこねせっけんでオリジナルのせっけん作り体験と紹介。 【日程】9月30日 【場所】アビクオーレ2階にここ広場前 【参加者数】148人 ≪第48回我孫子市消費生活展≫ ・消費生活展において、石けん啓発用パネルの展示 ・プリプリせっけん作りを通してオリジナルのせっけん作りを体験。 【日程】令和6年2月3日、4日【場所】あびこ市民プラザ【参加者】516人 ◇◆指標と実績◆◇ 【来場者数】 741人	A. 成果・効果があった 石けん学習会においては、親子で参加することで、コミュニケーションの場として、学ぶことの楽しさを提供することができた。またフォーラムや講座、イベントを通じて、石けんに興味をもってもらうことができた。	A. 現状どおり推進 事業としては現状どおり推進すべきと考えている。	なし	商業観光課
	33	小学校『歯磨き・食育指導』事業 乳歯から永久歯への交換期である児童の歯・口の健康づくりを目指すため、小学生に対して歯磨き・食育指導を実施する。	・市内各学校の児童に対し、1～2学期を中心に各教室で講話を実施。 【実施回数】67回 【場所】市内小学校13校 【参加者】2,001人 ◇◆指標と実績◆◇ 【給食後の歯磨きを実施している学校数】 6校	A. 成果・効果があった 昨年度同様に、小学3年生と5年生は必修で実施した。学校からの希望があれば他の学年も実施した。 感染症予防対策ができる学校は給食後の歯磨きは継続しているが、難しい環境の学校が多い中、健康教育を行い、児童に意識付けを行うのに有効であった。 各校での給食後の歯磨きは、飛沫の関係上、学校長の判断により児童生徒に対する水道の数等の関係で、学校全体での取り組みができないところが多い。希望する児童がいる学校は給食後の歯磨きに取り組んでいるが、約半数は実施できていない現状である。	A. 現状どおり推進 引き続き、歯科指導を3年と5年に行う。学校からの希望があれば、他の学年も講話のみの歯科指導を実施する。	なし	学校教育課
	34	生涯学習推進計画事業実施状況調査 市民が主役の生涯学習の推進を図るため、我孫子市生涯学習推進計画に基づく生涯学習関連事業の実施状況調査を実施し、その進捗管理や調整を行う。	第三次生涯学習推進計画前期実施計画に基づく事業の令和5年度実施状況の具体的な内容や成果・課題、また、令和6年度の実施予定内容など関連事業の調査を行った。 ◇◆指標と実績◆◇ 【事業評価結果】 令和5年度 A.成果・効果があった 141事業 B.あまり成果・効果がなかった 0事業 C.未実施・わからない 7事業	A. 成果・効果があった 各課で実施している生涯学習関連事業の実施状況調査を実施し、その進捗管理を行った。	A. 現状どおり推進 今後も、生涯学習推進計画に基づく事業の進捗管理として、実施状況調査を実施します。	なし	生涯学習課

NO	事業名 趣旨・目的	令和6年度実施内容			令和6年度実施内容 前年度からの変更点	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
35	生涯学習推進委員会の運営 生涯学習を総合的に推進するため、生涯学習推進計画の策定のほか、生涯学習に関する施策や各課で行われている生涯学習関連事業の進行管理、総合調整を行う。	<p>※平成10年に「我孫子市生涯学習推進本部設置要綱」を制定してから20年以上が経過し、生涯学習に係る取組が全庁的に浸透してきたことに加え、事業の効率化・見直しを図る観点から、組織の簡素化の一環として同要綱を廃止し、その趣旨を継承する「我孫子市生涯学習推進委員会設置要綱」を令和2年5月1日制定した。委員会の構成は、企画政策課、市民協働推進課、健康づくり支援課、子ども支援課、手賀沼課(クリーンセンター)、都市計画課、学校教育課、指導課、文化・スポーツ課、生涯学習課、図書館の11課。</p> <p>●生涯学習推進委員会会議 <<第1回>>【日程】令和5年10月28日(木)※書面開催 【議題】令和3年度及び令和4年度 生涯学習推進計画 実施計画 事業調査について</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【委員会開催数】1回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>第三次生涯学習推進計画 実施計画に基づく事業を進める中で、各課が実施する事業の現状や課題について、情報共有を図ることができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>今後も、市が行う生涯学習関連事業について、情報の共有化などを進め、生涯学習振興に関する行政施策を総合的に推進します。</p>	なし	生涯学習課
36	健康スポーツ普及事業 市民の健康の保持・増進等を図るためスポーツ推進委員などと連携し、総合型地域スポーツクラブの育成・支援を行う。市民が気軽に参加できるスポーツイベント等を開催し健康スポーツの普及を図る。多様化するスポーツニーズに対応するため、市独自のスポーツ指導者養成講座を開催。スポーツ指導者の方向性を統一し、我孫子市のスポーツ活動が安全・安心に展開できるよう指導者の育成を図る。	<p>●ボールゲームフェスタの開催 【場所】我孫子市民体育館 【日程】令和6年3月3日(日) 【対象者】午前小学1年生から小学3年生までの児童と保護者 午後小学4年生から小学6年生までの児童、生徒</p> <p>●総合型地域スポーツクラブ ・市内6つのクラブにおいて、ペタンク・ショートテニス・健康体操・太極拳・卓球等の活動を通し、総合型地域スポーツクラブとして活動した。 ・各クラブは毎週土曜・日曜日に活動した。 ・各クラブの活動の他に6クラブ交流連絡会を組織しており、6クラブ合同事業としてウォークラリーや市民のチカラ祭りにおいて総合型地域スポーツクラブの紹介映像やニュースポーツのデモンストレーションを行った。 ・令和6年3月2日 新たな総合型スポーツクラブが設立され、合計7クラブとなった</p> <p>●スポーツ協会への委託事業 <<市民体育大会>> <<チャレンジスポーツフェスタ>> 【日程】令和5年10月7日 <<新春マラソン大会>> 【開催日】令和6年1月28日 <<ファミリースポーツテスト>> 【開催日】令和5年6月10日</p> <p>●スポーツ指導者養成講座 【場所】教育委員会大会議室 【日時】令和5年12月3日(土)・4日(日)の2日間 【対象者】日本スポーツ協会公認資格である「コーチングアシスタント」の資格取得を目指す市民及び、有資格者のうち我孫子市独自講義を受講する市民</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ <<総合型地域スポーツクラブ>> 【会員数】402人</p> <p>●イベント参加者数 <<市民体育大会>>【参加者】2688人 <<チャレンジスポーツフェスタ>>【参加者】428人 <<新春マラソン大会>>【参加者】1019人 <<ファミリースポーツテスト>>【参加者】122人 ●スポーツ指導者養成講座【受講者】17人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>子どもから大人まで多くの方々にスポーツの体験機会を提供でき、スポーツの振興・普及に繋げることができた。また、地域のスポーツ団体、プロスポーツチームと連携して事業を実施することで、安全・安心な運営、市やチームのPRをすることができた。</p> <p>総合型地域スポーツクラブにおいては、会員の高齢化が進み会員数も減少していることから、持続可能なクラブ運営のための改善が必要である。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	文化・スポーツ課

基本目標 1 いっでも情報を得られ、相談できるまち

③学びへの関心を高めるための啓発の充実

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
くり	37	読書普及活動 依頼された市民団体の元へ出向き、読み聞かせや読書案内を行うことによって、市民の読書への関心を高め、図書館の利用促進を図る。	<p>○市民団体、学校などからの依頼に対し職員や市民スタッフを派遣した。</p> <p>○「離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ」では、保健センターへ出向き、離乳食教室開始前の待ち時間を利用して、乳児と保護者への読み聞かせおよび図書館案内を実施した。</p> <p><事業></p> <p>○職員派遣(5回)</p> <p>○離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ(月1回)</p> <p>○出張おはなし会(1回)</p> <p>◆◆指標と実績◆◆ 【出前講座及び職員派遣先、出張おはなし会、離乳食教室での読み聞かせの実施回数(年間)】 18回(前年度 19回)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市民が集う施設へ赴き、読み聞かせ等を行うことにより、多くの市民の読書への関心が高まった。特に、「離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ」は、乳児と保護者に読書の大切さを伝える貴重な場であり、子どもの読書活動を推進するうえで、必要不可欠な事業と考える。読書普及において効果があった。</p> <p>市民スタッフ(読書普及担当)を育成し、協働して、読み聞かせや読書案内の内容等を充実させる必要がある。また、修了後の地域活動についてもケアしていく必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>市民の読書への関心を高め、図書館利用を促進するために必要不可欠な事業であるため、今後も引き続き推進していく。</p>	なし	図書館	
基	38	図書館PR 図書館利用促進のためのPRや情報提供を行い、多くの市民に図書館サービスを周知する。	<p>○図書館のホームページを作成し、所蔵検索などのインターネットサービスを提供したほか、利用促進のためのPR及び情報提供を行った(イベント案内、お知らせなど)。</p> <p>○市役所のホームページに各種イベントの記事を掲載した(おはなし会、読書講演会、科学実験講座、読書マラソン大会など)。</p> <p>○Facebookに各種イベントの記事を掲載した。</p> <p>○館内特集コーナー・展示コーナーで毎月資料やポスターなどを展示した。</p> <p>○広報あびこへの記事提供を行った(「図書館員が選ぶこの一冊」、各種イベント記事など)。</p> <p>○事業・イベントをPRするポスターやチラシを作成した。</p> <p>○各種刊行物の企画・編集・発行を行った。</p> <p>「我孫子市の図書館」、「たんた新聞(年4回発行)」、「秋のたより(年1回発行)」、年齢別・学齢別ブックリストのうち3・4年生用ブックリスト改訂版を発行した。</p> <p>○読書推進用我孫子市民図書館オリジナル「読書ノート」の配布を行った。</p> <p>◆◆指標と実績◆◆ 【ホームページの年間アクセス数】 477,128件(前年度 420,971件)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>図書館資料の予約受付総数のうち、約77%がホームページからのオンライン予約であり、図書館検索・予約サービスを含む図書館ホームページに対する利用者のニーズの高さが確認された。</p> <p>ホームページの作成、「たんた新聞」等刊行物の企画・編集・印刷・製本等には、まとまった作業時間の確保が必要である。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>図書館のPR及び情報提供においてホームページは有効な手段であるため、新規利用カード登録者に対するホームページの利用を促進するとともに、正確性・利便性の高いホームページとなるよう努めながら今後も引き続き推進していく。</p>	なし	図書館	

NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	鳥博セミナー・イベント等の教育普及活動 鳥類や自然科学への理解を深めることを目的に専門家による講演会を実施する。また、工作を楽しむ機会や、観察・体験の機会を提供するため、身近な材料でできる工作や、観察・体験を中心に実施する。	●講演・講座 ≪鳥博セミナー≫ インターネットを利用したオンライン形式で実施した。 【日程】9月3日(土)【最大同時視聴者数】252人 ≪鳥学講座≫ 毎年ジャパンバードフェスティバルのエントリーイベントとしてアピスタ(我孫子市生涯学習センター)1階ホールで実施。 【日程】11月4日(土)【参加者数】198人 ≪ゲストトーク≫ 出演団体が無いため中止した。 ●館内イベント ≪飛べ！鳥の紙ひこうき≫市民スタッフと協働で実施した。 【日程】5月7日(日)【参加者数】20人 ≪鳥の工作をしよう≫友の会と協働で実施した。 【日程】5月14日(日)【参加者数】112人 ≪夏の遊びと研究大集合！≫(7月22日から8月の土日 全12回実施) 【日程・参加者数・内容】 ・7月22日(土) 29人 ふわふわ鳥グライダー ・7月23日(日) 62人 メダカデア クアリウム ・7月29日(土) 34人 ゴーストミミズク ・7月30日(日) 38人 ブーブーカ モ笛 ・8月 5日(土) 73人 オリジナル鳥のあしフィギュアをつくろう ・8月 6日(日) 37人 ゴーストミミズク ・8月12日(土) 79人 ブーブーカ モ笛 ・8月13日(日) 63人 ふわふわ鳥グライダー ・8月19日(土) 54人 ブーブーカ モ笛 ・8月20日(日) 39人 ゴーストミミズク ・8月26日(土) 26人 鳥のスカイ スクリュー ・8月27日(日) 60人 ふわふわ鳥グライダー 合計594人 ≪鳥風教室≫友の会と共催で実施した。 【日程】10月8日(日)【参加者数】8人 ≪ハシビロコウの帽子をつくろう≫市民スタッフ・学生ボランティアと協働で実施した 【日程】11月4日(土)・11月5日(日)【参加者数】200人(各日100人定員) ≪鳥博クイズ≫ 【日程】11月4日(土)・11月5日(日)【参加者数】60人(各日30人定員)	A. 成果・効果があった 各講座では鳥に関する興味深い話を各分野の専門家から直接聞く機会を設けることができ、オンライン開催を行うことによって遠方の方からも多く視聴してもらった。イベントにおいては小学生と保護者による参加が多数あり、若い世代の市民に鳥の博物館の存在をPRすることができた	A. 現状どおり推進	◇前年度からの変更点(前年度実施した内容と特出して変更・改善していることを記入ください。)	鳥の博物館

NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり		基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり				基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	
①地域への関心を高める学びの機会の推進		①地域への関心を高める学びの機会の推進				①地域への関心を高める学びの機会の推進	
41	子どもの居場所づくり事業 (あびっくクラブ) 放課後に子どもたちが安全・安心に過ごすことのできる環境を整備し、地域の方の協力を得て異年齢間の交流や様々な体験を通して子どもの成長を育む。	※担当課の進行管理による					子ども支援課
42	谷津ミュージアムづくり推進事業 手賀沼沿いで最も谷津の地形と自然環境が残されている岡発戸・都部地区の谷津36.7ヘクタールをまるごと保全し、かつての農村環境の復活を目指す。	●谷津の自然観察会 【日程】 7月22日(土) 参加人数:29人 7月30日(日) 参加人数:42人 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津) ●谷津の自然観察会(近隣小学校2校) 季節ごとに自然観察会を実施 計8回 参加者 計462名 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津) ◇◆指標と実績◇◆ 【谷津ミュージアム内の維持管理作業等参加者延べ人数】 2,308名	A. 成果・効果があった 各自然観察会や各種イベント、維持管理作業を通して、谷津ミュージアムの魅力発信を行った。 谷津まつりを4年ぶりの開催し、ボランティア団体、近隣住民をはじめ、多くの参加者の交流の場にする事ができた。 ボランティアの高齢化によるイベント関連の取り組みがいつまで持続できるのか、また、それに対して新たなボランティアをどのようにして募集するのが課題。	A. 現状どおり推進	なし		手賀沼課
43	手賀沼船上学習の実施 遊覧船で手賀沼を一周しながら小学生や市民に手賀沼汚濁の歴史や状況などの話をする船上学習を開催し、手賀沼の浄化啓発を図る。	小学校及び市民団体等からの視察を随時受け付け、船上学習を実施する。 ●手賀沼船上学習 【参加者】284人 ●出前講座 【参加者数】116人 ◇◆指標と実績◇◆ 【船上学習・出前講座の実施回数】 14回(船上学習13回、出前講座1回)	A. 成果・効果があった 市内の小学生や市民団体に向けて手賀沼の歴史を教えるだけでなく、実際に船に乗りながら鳥などの生き物も見ることができたため、非常に人気である。 貸舟業者が遊覧船事業を廃止するなどこれまで通り船上学習を実施するのが厳しい状況にあるため、今後は船上学習に変わる事業を検討していく必要がある。	B. 改善・見直しを行う これまで通り遊覧船を運用できないので、出前講座の活用など対応を検討する。	なし		手賀沼課
44	手賀沼流域フォーラムの開催 市民団体を中心となって水質改善や環境保全活動を展開する手賀沼流域フォーラムの開催を支援する。	●地域イベントの開催 柏、我孫子、流山、松戸、鎌ヶ谷、白井、印西の手賀沼流域7市各市民団体によるイベントを開催する。 ●全体会の開催 ワークショップ「ライトトラップで夜の虫を探そう」 【日時】8月13日(金) 【場所】我孫子市 五本松公園 講演会「かしこいカラスの本当のひみつ」 【日時】11月18日(土) 【場所】アビスタ ミニホール ◇◆指標と実績◇◆ 【手賀沼流域フォーラム全体会及び我孫子企画回数】 13回	A. 成果・効果があった 各市の企画数(天候不良による中止を含む)について、柏5企画、流山1企画、松戸1企画、鎌ヶ谷2企画、白井3企画、印西市2企画、我孫子市11企画と、我孫子市がもっとも多かった。 また、外来水生植物や在来抽水植物をはじめとした調査事業だけでなく、実際に外来水生植物の駆除作業を実施し、周辺市民への啓発にも努めた。	A. 現状どおり推進	なし		手賀沼課

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進 ①地域への関心を高める学びの推進	45	ジャパンバードフェスティバルの開催 自然のシンボルである鳥たちの魅力を題材とした文化的・芸術的なイベントを開催し、鳥類知識の普及や、手賀沼などの自然環境保全に関する情報の受発信を推進する。	人と鳥の共存をテーマに、出展団体間の情報交換促進のほか、野鳥を通じて自然環境に興味・関心を持ってもらう。 【開催日】 11月4日(土)、5日(日) 【開催場所】 手賀沼親水広場他5会場 【事業内容】 NPO法人による展示、光学機器や鳥にまつわる物販などの出店やステージ、環境学会、鳥フォトコンテストの展示、講演会などをとおして、人と鳥の共存をめざす自然環境の大切さをよびかけた。 ◇◆指標と実績◆◇ 【実行委員会の回数】 6回	A. 成果・効果があった 2日間全会場での延べ来場者数:36,000人 4年ぶりに山階鳥類研究所、鳥の博物館も含めた全会場での開催となり、多くの方々に鳥を通じて我孫子・手賀沼の魅力を知っていただくこともできた。 実行委員会のメンバーの固定化が課題となっている。SNSによる告知等、もっと多くの方にJBFを知ってもらう工夫が必要	A. 現状どおり推進 今後も手賀沼親水広場をメイン会場としてJBFを実施していく。	なし	鳥の博物館親・手賀沼課・商	
	46	地区計画制度の活用の支援 市民が地区計画制度を活用して、宅地開発などにより整備された良好な住環境を保全することを支援するため、ホームページなどによる制度の周知や出前講座を行う。	地区計画制度の説明パンフレットやホームページを活用して、市民や事業者に対して正確に情報提供を行う。 ●パンフレット 【配布場所】 市役所都市計画課 【配布部数】 部 (集計不可のため部数未記入。10の地区計画エリアに該当する場合や参考までに欲しいという場合も含めて、必要に応じて配布対応。) ◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページ閲覧数】 計4,988件 (地区計画～市民主体のまちづくり:2,344件、我孫子市の都市計画…地区計画等:1,629件、市街化調整区域における地区計画運用基準:1,015件) 【地区計画の区域内における行為の届出件数】 38件	A. 成果・効果があった 市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。	A. 現状どおり推進	なし	都市計画課	
	47	我孫子産米及び我孫子産野菜の学校給食の導入事業 児童生徒に、米を主食とした食生活や食文化の大切さを伝え、地元農産物への興味・関心を高めるため、我孫子産の米や野菜を学校給食に導入し、地産地消の観点から食育を推進する。	●我孫子産米・我孫子産野菜 我孫子産米認知度・小学校83.7%、中学校95.4% 我孫子産野菜認知度・小学校85.7%、中学校88.6% 我孫子産野菜使用・月平均2.3回使用 品数・3.6品目、 使用割合は5.3% 我孫子産野菜の日(毎月1回～2回)に、「あびこ型地産地消推進協議会」が作製したのぼり旗を各校の 栄養士が持って、各教室を回り、意識啓発を行った。 ●米飯給食 米飯給食回数4.1回/週実施した。 ●和食の実施 実施率 平均49.3% ◇◆指標と実績◆◇ ●我孫子産米が給食で使用されていることを知っている児童・生徒 R5指標 100%、実績99.5% ●我孫子産野菜が給食で使用されていることを知っている児童・生徒 R5指標 100%、実績87.1%	A. 成果・効果があった ●我孫子産米・我孫子産野菜 9月～11月は、酷暑、水不足、害虫被害等の影響で野菜不足となった。学校給食用に納品できる野菜の重量も減少してしましたが、各学校の栄養士が12月以降の献立を工夫し、我孫子産野菜の使用品目は令和4年度と比べて横ばいとなった。 ●米飯給食を実施した。 ●和食の実施 米飯・和食給食を推進し、児童生徒に体験を通して食文化や日本型食生活の良さを伝えることができた。 ●我孫子産米・我孫子産野菜 ・我孫子産米・我孫子産野菜の認知度が小中学校ともに令和4年度実績より低下してしまった。 児童生徒の食に関する選択力・自己管理能力を高めるため、認知度の向上に向け、児童生徒への周知方法の工夫を行う。 ・我孫子産米の納品時に、異物混入が多く、使用時に苦労している。 ・我孫子産野菜の調達を行うための、各校への配送ボランティアの高齢化・人材不足 ●和食の実施 米飯給食、和食給食の推進が食育に寄与していること具体的な評価が難しい。	A. 現状どおり推進 我孫子産米・我孫子産野菜を活用した学校給食を教材として、系統的、継続的に食育指導を実施し、児童生徒の興味関心、食に関する選択力、自己管理能力を高めていく。	なし	学校教育課	

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容		令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進	49	市史調査研究 我孫子市内に残る古文書の解読や資料類の収集・調査研究を行い、報告書等を作成して市政や教育に活用する。	市内に残る古文書、古記録、石造物、寺社、建造物などの歴史・文化遺産を現地調査し、市民からの聞き取り調査や資料収集を通じて調査研究を進める。 ●資料調査 井上家資料目録に掲載された資料の読解とデータ作成を行い、活用に備える。 ●古文書管理 市内諸家文書の問い合わせ、資料閲覧対応 ●和紙公図の保存修復 和紙公図を専門業者に委託して保存修復し、データ化する。 ◇◆指標と実績◆◇ 市史関係図書の刊行数 1冊 和紙公図の保存修復 74枚(修復済み806枚、未修復80枚)	A. 成果・効果があった 井上家資料や和紙公図のデータ化を進めることで、一般の閲覧の対応が円滑になった。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
		郷土芸能への支援 郷土芸能の発表の場を設けることにより、継承者の意識の高揚と団体内の活性化を図る。	我孫子市に伝わる神楽舞や祭囃子などの民俗芸能を発表する郷土芸能祭を、教育委員会の主催で実施した。 【日程】令和5年12月3日(日) 【時間】午後2時開演 【場所】湖北地区公民館 【内容】神楽舞、祭囃子、獅子舞 【出演】(ゲスト出演)我孫子市三曲協会 あびこふるさと会、古戸はやし連中、ひよっとこ睦 我孫子第四小学校伝統芸能クラブ、布佐小学校郷土芸能クラブ、布佐中学校郷土芸能講座 ◇◆指標と実績◆◇ 【来場者数】 250人	A. 成果・効果があった 伝統芸能を披露する機会を保ち、伝統芸能継承団体のモチベーションが高まった。また、古くから伝わる郷土芸能を次世代に継承させるために、今後事業の推進をしていきたい。 伝統芸能継承団体の高齢化	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
		文化財の指定調査と保存支援 指定文化財制度・登録文化財制度の活用を行うことにより、時代の流れにより滅失しやすい有形・無形文化財の保護を行う。	●指定文化財・登録文化財制度の活用 所有者同意を得て市指定文化財化をはかり、適切な管理を通じて保存につなげる。 ●文化財保存基金 文化財の保存や活用に役立てるため、基金への募金を募り、また、計画的な積立を行う。 ●指定文化財への保存支援 市指定文化財の整備や維持管理のための補助金の活用を進める。 ●文化財の維持・管理 県指定史跡水神山古墳の草刈りを実施する。 県指定天然記念物東源寺権の木施肥及び除草を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【市指定文化財数】 19件(今年度指定1件含む)	A. 成果・効果があった 補助金の利用や登録有形文化財への希望など、文化財保存への関心が高まったのがわかる	A. 現状どおり推進 文化財保存基金について、クラウドファンディングなども活用し、今後とも積極的に募金徴取を行う。国登録の登録制度の周知を行い、文化財保護を醸成する。	なし	文化・スポーツ課
51	埋蔵文化財発掘調査 市内に所在する埋蔵文化財包蔵地において、公共事業、民間開発等に伴って現状変更が行われるのに先立ち、遺跡の記録保存を目的とした埋蔵文化財発掘調査を行う。	【市内遺跡発掘調査】11件 【不特定遺跡発掘調査】8件 【公共事業発掘調査】0件 【民間開発発掘調査】4件 ◇◆指標と実績◆◇ 【必要な発掘調査の実施率】100%	A. 成果・効果があった 調査を円滑に実施できた。	A. 現状どおり推進 住宅の着工等を滞りなく進めるためにも、発掘調査を速やかに、かつ正確に実施していく。	なし	文化・スポーツ課	
52							

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容	担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進 ①地域への関心を高める学びの推進	53	考古遺物整理 埋蔵文化財発掘調査により出土した遺物を整理して記録保存した内容を、発掘調査報告書として刊行して公開し、市政や教育に活用する。	・「新木南部遺跡群」の2分冊目の刊行事業をおこなった。 ・「市内遺跡発掘調査報告書」は令和5年度市内遺跡補助を受けて刊行した。 ・令和5年度実施分の「民間開発発掘調査報告書」を3冊刊行した。 ◇◆指標と実績◇◆ 【一年間の報告書刊行冊数】5冊	A. 成果・効果があった 適切に発掘調査報告書の刊行を行った。	A. 現状どおり推進 毎年、報告書を計画的に刊行する。	なし	文化・スポーツ課
	54	あびこ自然観察隊 環境学習の一環として、我孫子の自然を代表する場所を選び、子どもから大人まで気軽に参加できる観察会を実施する。	子どもから大人まで分かりやすい観察会を目指し、環境学習の一環として、我孫子の自然を代表する場所を選び、観察会を実施。 開催場所は市内各所、定員は20人で、夜の観察会を除き、午前中に実施。鳥の博物館の市民スタッフと協働で実施。 5月 6日(土) 4人 「シギ・チドリ観察会」 7月29日(日) 29人 「セミの羽化観察会」夜 10月15日(日) 雨天中止 「秋の谷津田観察会」 12月 2日(土) 18人 「夜の動物観察会」夜 2月18日(日) 34人 「観察しよう！手賀沼の冬鳥」 ◇◆指標と実績◇◆ 【開催数】5回 【参加者数】85人	A. 成果・効果があった 小学生と保護者による参加が多数あり、若い世代の市民に鳥の博物館の存在をPRすることができた。	A. 現状どおり推進	受益者負担の観点から参加費を変更した。	鳥の博物館
	55	てがたん（手賀沼の自然観察会） 環境学習の一環として、鳥の博物館周辺の身近な自然に関心を持ち、理解を深めることを目的に観察会を行う。	毎月第2土曜日午前10時から11時までの1時間、子どもから大人まで身近な自然に関心を持つことができるような観察会を実施。 定員 20人鳥の博物館の市民スタッフと協働で実施。 4月 8日 11人 「サクラに集まる生きもの」 5月13日 15人 「ヨシ原で子育てする水鳥たち」 6月10日 16人 「でんでんむしむし かたつむり」 7月 8日 7人 「はってからんで巻きつく植物」 8月12日 19人 「拾ってみよう！鳥の羽」 9月 9日 9人 「好かれない生き物たち」 10月14日 5人 「空を見上げてみよう」 11月11日 12人 「『コケ』と名のつく生きもの」 12月 9日 10人 「もっと知りたいカワウ」 1月 13日 13人 「冬を生き抜く！」 2月 10日 13人 「古い地図を歩く」 3月 9日 10人 「みんなの『手賀宝』を見つけよう」 《JBF in てがたん》 JBFエントリーイベントとして開催。市民スタッフと協働で実施した。 【日程】11月4日(土)・11月5日(日) 【参加者数】4日 6人・5日 10人 ◇◆指標と実績◇◆ 【開催数】14回(うち2回はJBF in てがたん参加者) 【参加者数】156人(うち16人はJBF in てがたん参加者)	A. 成果・効果があった 小学生と保護者による参加が多数あり、若い世代の市民に鳥の博物館の存在をPRすることができた。	A. 現状どおり推進	受益者負担の観点から参加費を変更した。	鳥の博物館

NO	事業名 趣旨・目的	令和6年度実施内容			令和6年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供							
基本目標 2 子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供	56	子どもNPOボランティア体験 子どもや若者を対象に市民活動団体や福祉施設等でボランティア体験できる情報を提供することで、子どもや若者が市民公益活動に参画する機会を増やすとともに、体験を受け入れる団体の活性化を図る(平成26年度から指定管理者事業として実施)。	指定管理者事業の一つとして実施。 ●ボランティアのきっかけづくりのためのプログラム 【タイトル】あびじよプラスマイナス絵本(絵本のシェア)事業 【内容】読み終わった本の交換、おすすめメッセージやしおり作成、本棚の整理のボランティアをして子どもや子育て世代が関わることができる市民活動【利用者数】727件、334件(27.8件/月)【蔵書数】2,106冊 ●ボランティア育成のためのプログラム 【タイトル】Abiボラ 【内容】よみがたり、ペープサート、まちあるき【開催時期】夏休み ◇◆指標と実績◇◆ Abiボラ 【体験受入れ団体数】0団体 【体験者総数】27名(市民活動ステーション独自プログラムとして実施)	A. 成果・効果があった 新型コロナウイルス感染予防のために低迷していた子ども・若者事業を再開するため、事業紹介のチラシ配布等で周知を行い、夏休みに体験できるプログラムを実施した。	A. 現状どおり推進	②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供 なし	市民協働推進課
	57	後期離乳食教室 乳幼児期後半から幼児期にかけての適切な食事内容、生活リズム、間食のとおり方等を学ぶことを通じて、この時期の食習慣が今後の健全な食習慣の形成につながることを理解を促し、親子共に健康的な食生活を営むことができるよう、食事と歯科衛生に関する実践的な知識の提供をする。	【内容】 ・離乳期後半から幼児期に向けての食事のポイント、起床・就寝等を含めた生活リズムの整え方 ・噛むことの大切さ、食形態の変化のさせ方、手づかみ食べについて ・むし歯予防の話、歯みがき指導 ・間食の意義、適切な与え方 ・家族全体の食事に関する健康教育 【場所】保健センター 【日程】年18回 【対象】市内在住の8~9か月の児を持つ保護者。 【令和5年度参加者数】189組 ◇◆指標と実績◇◆ 【離乳食に関する知識を得た人の割合】 99.4%	A. 成果・効果があった 集団への健康教育や離乳食の試食の提供、個別で歯みがき指導を実施したことにより、歯の手入れも含めた食習慣の知識を深めることにつながったため。 なし	A. 現状どおり推進	なし	健康づくり支援課
	58	しあわせママパパ学級 体の変化が著しい妊娠中に、日常生活・栄養・環境などについて、専門職の健康教育・アドバイスを受けることで、妊娠期を健康に過ごし、お産を無事に迎えられるよう啓発を図る。また夫婦が、妊娠・出産・育児に関して学ぶ場を共有し、子育てや家庭生活における互いの役割について考える機会とする。	【実施日】毎月1コース(1コース3日間)実施 【場所】保健センター 【対象者】妊娠期の夫婦、家族 【実施内容】 1回目:妊娠中の生活、妊娠中の栄養、妊婦体操 2回目:お産の話、妊娠中の歯と口腔の健康 3回目:産後の生活、育児について、災害対策について 【委託】千葉県助産師会 【開催コース】12コース(平日2コース、土曜10コース) 【開催回数】36回 【令和5年度参加者】妊婦:127人(実)、328人(延)、夫・家族:125人(実)、310人(延) ◇◆指標と実績◇◆ 【学級後のアンケート結果】 «「妊娠、出産、育児に関する知識を高めた人」の割合» 98%	A. 成果・効果があった 適切な時期に妊娠、出産、育児に関する知識を啓発することにより、「妊娠、出産、育児に関する知識を高めた人」の割合が98%となっている。 なし	A. 現状どおり推進	事業名を「しあわせママパパ学級」から「ウェルカムベビー学級」に変更	健康づくり支援課
	59	離乳食教室 離乳期において、保護者が適切な離乳食の実践方法を学ぶことを通して、乳児のすこやかな発育・発達を助けるとともに、家族の食生活を見直すきっかけを作り、生涯において健康的な食生活を送るための知識を提供する。	【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する講話 ・咀嚼に関する講話 ・大人の食事を利用した離乳食の調理方法 ・保護者・家族向けの食事を通じた健康教育 【場所】保健センター 【日程】年12回 【対象】市内在住の4~6か月の児を持つ保護者。 【令和5年度参加者数】190組 ◇◆指標と実績◇◆ 【離乳食に関する知識を得た人の割合】100.0%	A. 成果・効果があった 離乳食喫食時の口の動かし方を確認するだけでなく、離乳食の調理法や食材の固さについて試食をとおして情報提供を行うことで離乳食に関する知識が深まったと考えられる。 なし	A. 現状どおり推進	なし	健康づくり支援課

NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	60	手賀の丘フレンドシップ アー 手賀の丘少年自然の家を宿泊場所として、金曜日の放課後から土曜日の午後にかけて、子どもが集団のなかで自己を確立し、心の交流や連帯感を身に付け、社会のルールを養い、自立心や協調性などを育む機会を提供する。	※担当課の進行管理による			子ども支援課
	61	あびこ子どもまつり 子どもがまつりの企画から携わり協力しながら自主的に行動し、まつりをつくりあげるとともに楽しむ機会を提供する。参加する子どもは仕事体験しアビーという子どもまつりで使える通貨をもらい、使って楽しむという労働体験の場を提供する。	※担当課の進行管理による			子ども支援課
	62	げんきフェスタ 市内の子ども達が、楽しく充実した文化に触れ、地域の中でいきいきと逞しく、創造性豊かに成長する機会を作る。また、それを支える大人のネットワークを広げ、参加する団体の交流と文化の向上を目指す。	※担当課の進行管理による			子ども支援課
	64	子育て支援施設における講習 子どもが安全に遊べる場を設け、親同士や子ども同士の交流を図る。利用者アンケートなどをもとに、毎月各子育て支援施設において、親の子育て力の向上と親子の絆を深めることのできる育児講座を工夫して実施する。	市内在住の乳幼児と保護者を対象にした子育て支援施設を市内4か所で開設している。 公立施設・・・我孫子市子育て支援センターにここ広場、湖北台保育園子育て支援センターすまいる広場 私立施設・・・川村学園女子大学附属保育園かわむらんど、布佐宝保育園子育て支援センターぐるんばクラブ ●育児相談(保健センターと実施) 【日程】毎月1回～2回 【場所】にここ広場 【内容】保健相談・栄養相談・歯科相談 ●プレバママ講習会(あびこ助産師専門学校と実施) 【日程】11月、3月 【場所】にここ広場 ●歯科医師講習会(我孫子市歯科医師会との共催) 【場所】にここ広場/年2回・すまいる広場/年1回 ●育児講座(保健師 栄養士による講座及び図書館による読み聞かせ)(外部講師) 【日程】各年1～2回程度 【場所】にここ広場 ※すまいる広場は、湖北台保育園の保健師、栄養士、園長による講座を実施 ●リフレッシュ講座 【日程】年に4～5回 ◇◆指標と実績◆◇ 4施設利用者実績 41,928人	A. 成果・効果があった 施設の利用制限や講習会の人数制限を解除したため、利用者数が増加した。父親と子で参加するイベントを家族向けイベントに変更した。そのため参加者が限定されずに申込ができるようになった。	A. 現状どおり推進	湖北台保育園子育て支援センターが、湖北台地区社協との交流を再開する。

NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	子ども議会	<p>【日程】令和5年11月9日(火)9:00~15:30 【場所】我孫子市議会議事堂 【内容】各小中学校から代表する子ども議員を招集し、市長のまちづくり方針に対する子ども議員からの質問や意見に対する答弁を市役所職員から聞く。実際の市議会の流れとほぼ同様に進行するよう実施する。 【参加者】子ども議員:38人(市内小中学校児童生徒各校2人) 当日、女子児童1人欠席 議会参加者:市長ほか関係職員、教育委員、市議会議員※保護者などの傍聴者は、傍聴席を使用 ◇◆指標と実績◆◇ 【質問する児童生徒数】38人 女子児童1人欠席のため、同校児童が代理で質問</p>	<p>A. 成果・効果があった 参加した生徒をはじめ、オンラインで視聴した学校もあったので、議会がどのように進んでいるのかや物事の決定までの流れなどを学べる貴重な機会となっていた。 限られた人員の中での対応や児童生徒の会場までのアクセス方法。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	隔年開催のため、令和6年度は実施しない	指導課	
	長寿大学	<p>【場所】湖北地区公民館ほか 【内容】市広報等により学級生を募集。4年制の学級で、「健康福祉」「我孫子を知る」「地域交流」「市民活動」などを柱として、令和5年4月から令和6年3月まで年間20回の学習プログラムで実施した。 運営委員会、運動会、大学祭、研修など各委員会を組織し活動した。 【参加者】 ≪1年生≫38人 ≪2年生≫43人 ≪3年生≫41人 ≪4年生≫35人 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】 157人</p>	<p>A. 成果・効果があった 年間学習計画に沿って、年20回の学習プログラムを実施した。また、授業のみならず、クラブ活動や学内外のイベントに主体的に参加することができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進 今後も学級活動を通して、人間関係を深め、地域の課題や社会の変化に対応できる能力を修得し、地域活動・まちづくりに主体的に参加できる人材を育成する。</p>	なし	生涯学習課	
	成人式	<p>【日程】1月7日(日) 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【対象者及び人数】平成15年(2003)4月2日から平成16年(2004)4月1日に出生した市内在住者:令和5年12月1日現在1,342人 ≪第1部≫我孫子中・湖北台中学校区 ≪第2部≫久寺家中・湖北中学校区及び我孫子特別支援学校卒業の方 ≪第3部≫白山中・布佐中学校区 【式典企画】 ・中央学院高等学校子アリーディング部による演技 ・思い出の写真及び恩師からのメッセージの上映 【記念品】オリジナルデザイン(うなぎさん)の図書カード(500円) ≪企画運営会議について≫ 【日程・内容】新成人代表による企画運営会議を立ち上げ、成人式の準備を進める。全5回の企画運営会議を実施。 ≪第1回≫ 6月17日 二十歳成人式の内容及び企画運営会議の役割について ≪第2回≫ 7月 8日 オープニングアタック、12月リハーサルについて、記念品デザイン、式典企画について ≪第3回≫ 8月28日 記念品デザイン、式典企画、式次第、役割分担について ≪第4回≫ 10月8日 式典企画、記念品、案内状及び記念品・式次第封入作業日について、12月リハーサルについて ≪第5回≫10月17日 式典企画、記念品、案内状及び記念品・式次第封入作業日について ≪第6回≫11月 7日 12月リハーサルについて、台本読み合わせ ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】 924人 (出席率 65.77%) ≪第1部≫ 355人 (出席率 67.11%) ≪第2部≫ 308人 (出席率 66.96%) ≪第3部≫ 261人 (出席率 62.74%)</p>	<p>A. 成果・効果があった 各中学校から企画運営会議委員を選出いただき、会議を通して、式典を企画し、当日の運営を行った。新成人の代表自らが成人式を作りあげることで、代表者・参加者ともに心に残る成人式となった。</p>	<p>A. 現状どおり推進 今後も新成人代表による企画運営会議にて式典の企画運営を行うことで、我孫子への愛着を深め、一生の思い出となる成人式を実施します。</p>	なし	生涯学習課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和6年度実施内容			令和6年度実施内容 前年度からの変更点	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	68 熟年備学 高齢期をより豊かな幸せな期間(幸齢期)とするために、高齢社会の諸問題や対処の方法を学ぶ。人生の後半を自立し豊かな暮らしができ、元気な高齢者として地域を支えながら、自らハツツとした人生を送るにはどうしたら良いかを考えるきっかけとする。	【日程】5月から11月 13回 【場所】我孫子地区公民館、湖北地区公民館(5のみ) 【内容】①開級式・笑って長生き ②身体イキイキ健康体操 ③元気なうちから介護予防 ④介護保険と地域包括ケアシステム ⑤元気いきいき発声教室 ⑥地域で私が出ること ⑦シニアライフを支えるお金の話 ⑧かしこい消費者になろう ⑨食生活が健康を支える ⑩全ての健康の基～口腔ケア～ ⑪生前整理でスッキリ ⑫男と女のおしゃれ術 ⑬学習を振り返って・閉級式 【定員】40人 【応募者】46人【参加】42人 ◇◆指標と実績◇◆ 【学級終了時に実施したアンケート結果】(36名より回収) 熟年備学に参加しての感想 ①とても良かった 42% ②まあまあ良かった 53% ③ふつう 5% ④あまり良くなかった 0% ⑤とても良くなかった 0%	A. 成果・効果があった 年間学習計画に沿って、年13回の学習プログラムを実施した。受講者アンケート結果では、学習の中で学んだことを約8割(27名:75%)の方が何かしら実践している、と回答があった。これからの生活や活動のきっかけになっていると考えられる。	A. 現状どおり推進 今後も学級活動を通して、高齢社会の諸問題を知り、自立して安心できるシニアライフを送り、心豊かな人生を送るための備えを学び、元気なシニアとして、地域の役に立つためにはどうすればよいかを考えるきっかけづくりとする。	・2講座について、講座内容を変更。⇒①元気なうちから介護予防(講師側事情・社協の事業見直しのため。) ②シニアライフを支えるお金の話(事業見直しのため。)	生涯学習課
	69 家庭教育学級 子育てについての学習や、親同士の情報交換を通して、家庭・親子のあり方を考える機会を提供するとともに、家庭での教育力の向上を図る。	【日程】5月から1月。年間14回 【場所】我孫子地区公民館 【対象】小学校1年生のお子さんをもつ保護者 【定員】40名 【参加】29名 ◇◆指標と実績◇◆ 【学級終了時に実施したアンケート結果】(回答者27名) 満足度89%	A. 成果・効果があった 年間学習計画に沿って、年14回の学習プログラムを実施した。参加理由として「何か勉強したい」「同じ学年の子を持つ保護者との交流を求めている」が多かった。学級終了時のアンケート結果から、「学んでつながることへの満足感がうかがえ、自主的に活動する継続学級も立ち上がった。	A. 現状どおり推進 通年の学習の中で、班活動や話し合いが必要な学習を設け、子育てを通しての価値観が同じ仲間、同年の子を持つ保護者が繋がる場になるよう運営し、家庭・親子のあり方や、学校・地域との関わりを考えるきっかけとします。	なし	生涯学習課
	70 のびのび親子学級 ゆとりある子育ての実現に向け、親子のふれあい、学級生同士の交流などを軸に仲間と子育てについて学ぶ機会を提供する。	●のびのび親子学級 【日程】5月から11月まで 各コース全10回 【場所】我孫子地区公民館ホール、手賀沼公園 【対象】アビスタコース 平成31年4月2日から令和3年4月1日生まれの子(2, 3歳児)と保護者 【定員】アビスタ火曜コース 親子25組 アビスタ木曜コース 親子22組 【参加】アビスタ火曜コース 親子25組 アビスタ木曜コース 親子25組 ●Babyのびのび親子学級 【日程】前期4月28日・5月12日・26日・6月10日・23日・7月7日 全6回 後期10月27日・11月7日・18日・29日・1月12日・19日 全6回 【場所】我孫子地区公民館 ホール 【対象】前期 令和4年10月以降に生まれた赤ちゃん(産後1か月検診受診済)と保護者 後期 令和5年4月以降に生まれた赤ちゃん(産後1か月検診受診済)と保護者 【定員】前期 親子25組 後期 親子25組 【参加】前期 親子25組 後期 親子25組 ◇◆指標と実績◇◆ 【学級終了時に実施したアンケート結果】 《満足度100%》	A. 成果・効果があった 年間学習計画に沿って、2コース、各年10回の学習プログラムを実施した。受講者アンケートの結果では、多くの方から、子育ての悩みを共有し情報交換することで、不安や悩みが軽減し気持ちが軽くなったり、他の保護者の子育てを見ることで客観的な視点を持って子育てに向き合えた等、前向きな変化を感じることができたとの回答があった。	A. 現状どおり推進 学習を通して、親同士の学びと交流を重視している。仲間と一緒に考え、子育ての楽しさや苦勞を分かち合い、互いに支え合える仲間づくりができる。学習終了後も自主的な活動を続けるための継続学級が立ち上がった。今後も、横のつながりを作るきっかけの場になるように運営していきます。	●のびのび親子学級 ・学習回数を10回から5回へ変更。 ・3回の単発コースを実施する。 ●Babyのびのび親子学級 前期後期の2期制から第1期から第3期までの3期制へ変更	生涯学習課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容		令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 2 生涯にわたって子どもから高齢者まで	71	アビコでなんでも学び隊 小・中学生を対象に、地元の学校・企業・専門家等の協力を得て、体験型の講座を実施し、子どもの夢や希望を広げる。また、人との交流によって豊かな人間関係を作るとともに、我孫子の良さを発見し、ふるさと意識を持ち将来、まちづくりに貢献できるようにする。	<p>●アビコでなんでも学び隊 【日程】7月から1月 【場所】我孫子地区公民館・湖北地区公民館 【対象】小中学生 【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもしろふしぎりかじっけん(A)⑧【定員】30組【応募】72組【参加】30組 ・伝統の美・友禅染【定員】15人【応募】31人【参加】15人 ・電気のチカラ・電気のフシギ&電気ブランコつくります！(A)⑧【定員】30人【応募】111人【参加】30人 ・鉄道ファン大集合！～電車が安全に走るしくみを知ろう～【定員】32人【応募】49人【参加】31人 ・カガミを使わないふしぎな万華鏡(A)⑧【定員】48人【応募】110人【参加】48人 ・メダカの秘密～生命の不思議発見～【定員】15人【応募】40人【参加】15人 ・氷と雪の世界を知ろう！～南極観測と南極の気象観測～【定員】30人【応募】48人【参加】30人 ・みんなで遊ぼうペーパークラフト【定員】30人【応募】47人【参加】28人 ・お金の大切さを学んで貯金箱を作ろう(A)⑧【定員】40人【応募】69人【参加】39人 ・パンで作るクリスマスブーツ【定員】15人【応募】109人【参加】15人 ・はじめての書初め【定員】22人【応募】24人【参加】21人 ・My望遠鏡で月を見よう！～惑星や銀河系の天体も観測～【定員】20人【応募】41人【参加】20人 <p>◇◆指標と実績◆◇ 【講座終了時に実施したアンケート結果】 【講座に参加した子ども達の満足度】99%</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>講座全体の応募率が223%あり、子どもたちの関心の高さがうかがえる。子どもたちの指導に慣れている参加者との関わりを大切に、且つ興味関心を高めてくれる講師によって満足度の高い講座を実施することができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>専門的な知識を持つ講師の協力により、学ぶ喜び、科学する楽しさ、発見する喜び等、日常経験しがたい体験学習の場となっており、参加者の満足度も高い。地域と子どもをつなぐ役割も果たし、年齢、地域を越えた交流の場を提供していく。</p>	なし	生涯学習課
	72	子どものための舞台鑑賞事業 子どもたちに良質な舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、心豊かな成長を促すと同時に、舞台鑑賞のマナーなどを養うために行う。	<p>子どもたちの文化教養として舞台芸術に親しみ、楽しむ鑑賞会を教育委員会の主催で実施した。</p> <p>【日程】令和5年12月16日(土) 【時間】14時開演 【場所】湖北地区公民館 【内容】「パントマイムマジック劇 いつも心に花束を」</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【来場者数】 226人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>子どもも大人も楽しめる、舞台を提供することができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	午前・午後の1日2回公演を行う。	文化・スポーツ課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容	担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
さまざまな学びのできるまじくじり	73	<p>成人・青少年への図書館サービス</p> <p>中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、市民生活・生涯学習に役立つ図書館サービスを行う。出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い、資料を提供する。</p>	<p>○中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い貸出した。また、文字活字文化の日関連事業などを実施した。</p> <p>○一般書、逐次刊行物、ティンズ資料の選定及び提供</p> <p>○成人・青少年に対するサービスの企画運営</p> <p>○一般サービス選定会議の運営(週1回程度)</p> <p>○館内研修の実施</p> <p>《事業》</p> <p>○ブックフィルムコーティング講習会 日時・場所:令和5年8月4日(金)・市民プラザ多目的ホール(あびこショッピングプラザ3階) 1回目:午前10時~11時30分、2回目:午後1時30分~3時 参加者:小・中学生8人、大人23人</p> <p>○読書講演会「令和5年度我孫子市民図書館読書講演会『白樺文学館とわたし』」 日時・場所:令和6年1月14日(日)午後1時30分~3時30分 市民プラザ多目的ホール 内容:我孫子市にゆかりのある白樺派や白樺文学館の思い出、北村薫先生の創作方法・作品に関して、対談形式でお話しいただいた。 参加人数:117名</p> <p>○企画展示</p> <p>展示:「みんなで健康になろう-ラジオ体操の歴史-」令和5年6月28日(水)から7月9日(日)まで 内容:ラジオ体操や関連する体操(あびこ市民の歌健康体操、なのはな体操、あびこ元気アップ体操、フレイル予防体操など)の図書館所蔵資料やポスターの展示</p> <p>展示:「大社玲子原画-図書館員が選ぶこの一冊」令和5年8月1日(火)から8月31日(木)日まで 内容:大社玲子原画、図書館員が選ぶこの一冊、ブックSELECTION-3・4年生用(大社玲子のイラスト使用、令和5年7月に改訂したもの)の説明や現物展示</p> <p>展示:「大野隆司 版画展」令和5年12月12日(火)から12月28日(木)まで 内容:大野氏の版画の展示</p> <p>展示:「今こそ本でつなぐ」令和6年3月1日(金)から3月29日(金)まで 内容:移動図書館そよかせ号の学校巡回で、各校の児童が書いたおすすめの本カードの展示</p> <p>○大野隆司版画実演会 日時・場所:令和5年12月17日(日) 午前と午後の2回実施 参加者:子ども15人、大人13人 内容:参加者が大野氏の版画づくりの実演を見学後、版画を摺ることを体験</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【年間貸出利用者数(12歳以下、団体利用は除く)】 226,641人 (前年度 238,014人)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>生活に必要なことや趣味に関する要求、知的な好奇心等に応え、生涯学習意欲の向上につながった。 他課と連携して展示を実施することで、内容に広がりが出るとともに市民への効果的なPRができた。</p> <p>利用者の要求が多岐に渡り、限られた予算の中で購入できる冊数にも限りがあった。新刊図書を購入する際は、厳選していく必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>成人・青少年のサービス対象者(13歳以上)は、図書館年間貸出利用者数の約93%を占めており、市民の学習機会を充実させるために必要な事業である。</p>	なし	図書館

NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	74 児童への図書館サービス 子どもの発達や人間形成、人生経験に好ましい影響を及ぼすことの出来る図書を選定し提供する。読書の楽しみと図書館利用の促進を図るために、おはなし会や講座を実施する。	<p>○学校図書館支援センター機能への支援 学校司書連絡会への出席(年8回実施) ○新刊を含む児童書の選定・内容検討等 ○児童サービスの企画運営として、おはなし会(親子で楽しむおはなし会)《そよかぜおはなしタイム》、子ども読書の日(4月23日)関連事業「こどもの読書週間 みんなで育てよう! 図書館の木」、子どもための科学実験講座、文字・活字文化の日(10月27日)関連事業「よむよむラリー」、館内研修などを実施 ○学校図書館支援・整備、調べ学習への支援 ○学校図書館市民図書館連絡会議(年2回)で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議 <事業> ○こどもの読書週間 みんなで育てよう! 図書館の木 【参加枚数】 553枚 ○子どもための科学実験講座「化石・ふしぎな石～アンモナイトのレプリカづくりと木の葉化石がし!～」 【場所・参加者】 ①アピスタ本館 29人、②布佐分館 20人 ○親子で楽しむおはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アピスタ本館 24回 352人、②布佐分館 10回 76人 ○おはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アピスタ本館 10回 111人、②布佐分館 21回 99人 ○そよかぜおはなしタイム 【場所・実施回数・合計参加者】 ①青山台ステーション 6回 33人、②川村保育園ステーション 11回 329人 ○よむよむラリー 【完了数】 図書館 105件 学校 1,574件 合計1,679件 ○離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ 【実施回数・合計参加者】 12回 348人</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【文字活字文化の日(関連事業)よむよむラリーのゴール数】1,679件(前年度 2,050件) 【児童書の年間貸出冊数】174,683冊(前年度 187,177冊)</p>	<p>A. 成果・効果があった 専門的知識や経験を有する職員が、より高度で充実したサービスを市民に提供することができた。 読書の楽しみを知ってもらうためには、各事業のPRの工夫をして、利用を促進していく必要がある。 若手の職員に研修や経験を積ませて育成していく必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進 ・新刊を含む児童書の選定・内容検討等 ・児童サービスの企画運営として、おはなし会(親子で楽しむおはなし会)《そよかぜおはなしタイム》、子どもための科学実験講座、「よむよむラリー」、子ども読書の日(4月23日)関連事業「みんなで育てよう! 図書館の木」、館内研修などを実施・学校図書館支援・整備、調べ学習への支援 ・学校図書館市民図書館連絡会議で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議 ・学校図書館支援センター機能への支援</p>	なし	図書館	
	75 子どもの読書活動推進計画の進行管理 子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、家庭、地域、市民図書館、学校図書館、保育園などにおける子どもの読書環境の整備・充実を図るとともに、相互の連携を深め、読書活動を確立していく。	<p>○「子どもの読書活動推進計画」に関する事業の実施状況調査について各課に依頼、集計 ○学校図書館との連携による授業支援を実施(通年) ○「子どもの読書活動推進計画(第二次)」策定のための委員会と生涯学習審議会図書館部会の開催 ○「子どもの読書活動推進計画(第二次)」の策定 <事業> ○「子どもの読書活動推進計画(第二次)」策定委員会の開催 第1回策定委員会 令和5年6月15日(木) 第2回策定委員会 令和5年7月25日(火) 第3回策定委員会 令和5年9月28日(木) 第4回策定委員会 令和5年11月21日(火) 第5回策定委員会 令和6年2月15日(木) ○生涯学習審議会図書館部会の開催 令和6年11月30日(木) ○子どもの読書活動推進計画(第二次)(案)についての意見募集(パブリックコメント)の実施 令和6年1月5日(金)から2月5日(月)まで 提出意見数 0件 ◇◆指標と実績◆◇ 【学校図書館との連携による授業支援数】48件(前年度 42件)</p>	<p>A. 成果・効果があった 実施状況調査を通して、市役所各課で子どもの読書活動推進に関連した様々な事業の実施状況を確認することができた。 子どもの読書活動推進計画(第二次)策定委員会を開催し、計画を策定することができた。 新たに策定した計画に基づき、計画年度(令和6年度～令和10年度)に図書館で実施する事業を検討し、計画を立て実施していく。</p>	<p>A. 現状どおり推進 子どもが自ら考え課題解決できる自立した人間に成長するため重要であることから、関係課と連携を図りながら、引き続き我孫子市における子どもの読書活動を推進していく。</p>	なし	図書館	

NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
		③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実			③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの ことができるまちづくり	76	男女共同参画講演会の実施 男女共同参画に対する理解を 図るため、男女共同参画をテ マにした講演会を開催する。	※担当課の進行管理による			事（令 和 6 年 度 市 民 課	
	77	平和事業 我孫子市平和都市宣言のもと、 原爆の恐ろしさや平和の尊さを 次世代に伝えていくために、被 爆地への中学生派遣を行うほ か、我孫子市原爆被爆者の会 や平和事業推進市民会議ととも に、様々な平和事業を行う。	●平和事業推進市民会議 【開催回数】5回 【委員数】15名 ●中学生派遣 【派遣先】広島 【派遣期間】8月10日(水)・11日(祝) 【派遣人数】12名(中学校6校から各2名) ●平和祈念式典組み合わせ事業 【日程】8月12日(土) 【会場】手賀沼公園 【内容】手賀沼とろうろ流し ※6月の大雨の影響により中止。とろうろはアピスタストリート及び、平和の集い においてもけやきプラザ ギャラリー2に展示した。 ●派遣中学生による報告会(平和の集い) 【日程】12月3日(日) 【会場】けやきプラザ2階ふれあいホール 【内容】広島への派遣中学生による派遣報告、我孫子中学校演劇部による演劇「不 言色の虫」の公演 【出演者】派遣中学生12名、我孫子中学校演劇部9名 ●リレー講座 【開催時期】令和5年6月～令和5年12月 【内 容】歴代の広島・長崎派遣中学生が講師となり、市内の小学校6年生に派遣 体験を伝え、平和について考える機会とした。グループワークで「平和のために自分た ちができること」を考 え、葉っぱの形をしたメッセージカードに記入した。 【受講者】小学校13校の6年生(32クラス、約980名) ◇◆指標と実績◇◆ 【平和事業推進市民会議の開催数】5回 【広島・長崎派遣中学生リレー講座の実施回数】13回	A. 成果・効果があった ●中学生派遣事業と派遣中学生によるリ レー講座は、戦争や原爆を経験した方が ますます減っていく今後の日本社会にお いて、その悲惨さや平和の尊さを伝えて いく新たな世代を育てる役割を果たした。 ●派遣から年数が経ってしまうと、リレー講座 等の活動に参加することに気後れしてしま う人もいと考えられるため、いかに活動に 参加しやすくするのか、工夫が必要である。 ●リレー講座以外にも、戦争体験者の言葉や 思いを受け継ぎ、次の世代に伝えていく取組 みを検討する必要がある。	A. 現状どおり推進 引き続き、平和事業推進市 民会議等の団体、平和事 業に参画する市民と連携 しながら、事業を進める。	戦後80年を迎えるにあたり、派遣中学生の数を各 校最大3名にしたほか、平和市民会議について拡 大委員を委嘱し戦後80年記念事業の検討を進め る。また、手賀沼公園に設置しているアオギリ及び クスノキの説明看板を更新する。	企画政策課
基本目標 2 ③多様化	78	健康づくりに関する専門家によるセミナー 市民一人ひとりが自らの健康状 態を知り、自主的に健康づくりが できるよう、運動、栄養、口腔衛 生等の生活習慣を改善するた めの情報の提供を行う。	【内容】知っておきたい睡眠障害～どこから受診？お伝えします～ 【日時】令和5年11月15日(水) 10時15分～12時 【会場】我孫子南近隣センター9階ホール 【対象者】我孫子市民の方 ◇◆指標と実績◇◆ 【参加者数】68人(会場参加者のみ計上)	A. 成果・効果があった 10代から80代の方まで幅広い年代の方 に参加してもらうことができた。前年度に 引き続き、休養に関する啓発ができた と考える。 前年度から引き続き参加するリピーターも いたが、初回参加の方もおり内容が専門 的な部分が多く内容が難しく感じる参加 者もいた。前年よりも参加者が減ったた め、内容を睡眠に関することだけでなく、 健康づくりのための睡眠ガイド2023の 内容も盛り込み興味関心を引くことがで きるテーマで次年度開催していく。	A. 現状どおり推進 オンライン配信(ZOOM)継 続とする。	なし	健康づ くり 支援課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
生涯にわたってさまざまな学びの場をもちまわす	79	メンタルヘルス啓発講座	講演会形式ではなく、年々増加する精神障害を有する方の多くが青年期に発症されていることを受け、これから精神疾患の好発年齢にさしかかる小学校6年生から中学校全学年の生徒に対し、予め症状や相談窓口について周知しておくことで、早期発見・早期治療につながることを目的としてパンフレットを作成し配布することで、令和5年度のメンタルヘルス啓発活動とした。 ◆◆指標と実績◆◆ メンタルヘルス啓発パンフレット 「思春期のころって 繊細なんです」 4,500部	A. 成果・効果があった 小学校6年生から中学校全学年の生徒に配布。内容が分かりやすく、好評をいただいた。 メンタルヘルスの問題も多様化しているなか、現在の内容でいかに問題を抱える生徒に対して有効であったかの実績が見えにくい。	B. 改善・見直しを行う パンフレット配布後の生徒の様子や、掲載内容自体について養護教諭を中心に確認し、啓発内容の内容の見直しも検討していきたい。	パンフレットのデザインと掲載内容をより現状に即したものにへ変更する。	障害者支援課	
		失語症家族教室	令和5年4月1日より、実施せず。 ◆◆指標と実績◆◆	C. 未実施・わからない 令和5年4月1日より、実施せず。	C. 廃止・休止 令和4年度に令和5年度以降は廃止することが決定した。	令和5年4月1日より、実施せず。		障害者支援課（障害者福祉センター）
		手話講習会	●手話講習会・読話講習会 中途失聴者・難聴者の方のコミュニケーションの問題を軽減するため、手話講習会を開催している。 令和5年度は手話講習会全10回を行った。 ◆◆指標と実績◆◆ 【講習会参加実人数】 11人	A. 成果・効果があった 中途失聴者や難聴者の社会参加の場となり、手話による基礎的なコミュニケーションを獲得できた。 平日の開催であるため、若年代の参加者がなかった。	A. 現状どおり推進 中途失聴者・難聴者は、先天性の聴覚障害者と異なり手話を習得する場がないため、継続して手話講習会を実施する必要がある。	令和6年度は、令和5年度同様に全10回を開催する。		障害者支援課（障害者福祉センター）
82	家族介護教室	市内5箇所の高齢者なんでも相談室が主催し、主に高齢者を対象に地域の近隣センター等を会場として開催した。 【日程、人数】 《我孫子北地区》 ・年10回：参加者延べ83名 《我孫子南地区》 ・年5回：参加者延べ48名 《天王台地区》 ・年29回：参加者延べ247名 《湖北・湖北台地区》 ・年10回：参加者延べ198名 《布佐・新木地区》 ・年6回：参加者107名 ◆◆指標と実績◆◆ 教室参加者：683名	A. 成果・効果があった 多くの市民に対し、高齢者に関わる様々なテーマで情報の提供と家族介護への知識の習得に加え、健康に生活するための知識習得を進めることができた。	A. 現状どおり推進	なし	高齢者支援課		
	要介護被保険者の状態の維持改善をめざし、介護をしている人を対象に、適切な介護知識や技術、外部サービスの適切な利用方法についての教室を開催する。							

NO	事業名 趣旨・目的	令和6年度実施内容			令和6年度実施内容 前年度からの変更点	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり ③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実	83 認知症の人の家族のつらい「あびこ」	千葉県福祉ふれあいプラザ 介護実習センターとの共催事業 【日程】 原則、偶数月の第2水曜日。年6回開催。 【場所】 けやきプラザ7階 研修室 【参加対象者】 認知症の人を介護している家族・介護経験者等 【実施内容】 ・参加者同士の情報交換 ・参加者間の交流 ・参加者からの介護における悩み事や介護方法への助言 【参加者数】 延25人 ◇◆指標と実績◇◆ 【アンケートの結果】 《参加により不安の軽減できたと回答した人》 63% 《自由記載の一部抜粋》 ・みなさんの話を聞かせていただき、大変ためになりました。 ・いろいろな悩みの方がいるものだと思います。また、来たいです。 ・また、参加させてもらいます。なんだかスッキリしました。	A. 成果・効果があった アンケートでは「参加により不安の軽減できた」が63%であり、一定程度、介護者の交流や負担軽減の場となっている。 昨年度に比べ、参加者が少ない、参加者のニーズの把握(現状分析)が必要である。	A. 現状どおり推進	今年度より予約を不要とした。	高齢者支援課
	84 介護予防講演会	開催場所: アビスタ1階 ホール 時期: 令和5年10月26日(木) 13時～15時30分 人数: 74名 対象者: 我孫子市民 内容: フレイルを予防しよう! ～運動と食事の重要性～ 講師: 東京都健康長寿医療センター 笠井浩行氏 ◇◆指標と実績◇◆ 【令和5年度講演会参加者へのアンケート結果】 講演会参加者へのアンケートより、『わかりやすい』82%、『満足度』85% 《自由記載の一部抜粋》 とてもわかりやすく参考になった。 フレイルのことがよくわかった。知識が深くなってよかった。 具体的な内容が含まれていて理解しやすかった。	A. 成果・効果があった 周知方法について、広報と公式SNSで期間を空けて周知したことで、各周知後で問い合わせが増え、申し込み人数が増えた。また市内スーパーにちらしを設置したことで、様々な市民の方が手に取りやすく配布率もよかった。アンケート結果より、参加者からの満足度も高く、自宅でも運動等を取り入れたいという意見もあり、介護予防に関する正しい知識の普及啓発につながった。 ①申込数が定員を上回る120名であったが、当日キャンセルがあり、実際参加者が74名であった。申し込み枠を広げていくなど検討が必要。 ②講演会が1時間30分と高齢者には長い。休憩をはさんだり、途中で体操を入れることで集中して聴講できるような工夫が必要。 ③開催場所についてアビスタは椅子が固く、長時間座り続けることは高齢者にとって負担のため、収容人数可能な会場を検討していく。	A. 現状どおり推進 次年度以降も、継続して実施していく。テーマは、「フレイル」、「認知症」、「栄養」を検討し、あびこ元気アップ体操を入れこんだ講演会としていく。会場は、椅子の間隔を空けてゆとりをもった配置とする。	開催場所を、「アビスタ」から「市民プラザ」に変更とした。講演途中で休憩、もしくは体操を入れる。	高齢者支援課
	85 高齢者虐待防止講演会	実施日: 令和5年8月2日 内容: セルフネグレクトの対策と対応 講師: 東邦大学 看護学部 公衆衛生看護学研究室 岸 恵美子 参加者: 29名 ◇◆指標と実績◇◆ 【虐待防止講演会参加者数】 29名。	A. 成果・効果があった 高齢者虐待防止法の定義に含まれていないセルフネグレクトへの具体的な対応方法について学ぶことができた。	A. 現状どおり推進	なし	高齢者支援課

NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	86	遊具うんどう教室	<p>【場所・日程・参加者】 ≪湖北台中央公園≫毎月第3火曜日(2・8月除く) 9回、延 158人 ≪天王台西公園≫毎月第3金曜日 10回、延 65人 ≪布佐南公園≫毎月第2水曜日(2・8月除く) 9回、延 64人 ※雨天・熱中症警戒アラート発令の場合は中止 【対象者】概ね65歳以上の方 ◇◆指標と実績◆◆ 【遊具うんどう教室参加者合計数】 延 287人</p>	<p>A. 成果・効果があった 屋外での健康づくりの拠点として、うんどう遊具が設置されている市内3地区の公園において、遊具うんどう教室を28回開催し、延287人が参加している。 健康状態を維持・増進し、生活機能の低下による要介護状態となることを予防するため、介護予防・うんどう習慣等に関する知識の普及啓発を行った結果、介護予防や健康づくりに関する意識が高まり、高齢者自らが活動に参加し、主体的に介護予防に取り組む姿勢がみられている。また、参加者同士が交流することで、閉じこもり予防にも繋がっている。</p> <p>①サポートリーダー及び参加者が減少しており、周知や運営について検討が必要。 ②木製のうんどう遊具を設置してから20年近く経過し、令和5年度から遊具の点検を実施した結果、安全面を満たすための修繕や撤去が必要な状況となっている。</p>	<p>A. 現状どおり推進 現状通り推進しつつ、課題に対しての対応を検討及び実施する。 ①サポートリーダー及び参加者が減少しており、周知や運営について検討が必要。 ②安全面を基準を満たすための修繕や撤去を実施。</p>	令和5年度は、7.8月に熱中症警戒アラート発令時中止があったことから、7.8月は遊具うんどう教室は実施しないこととした。	高齢者支援課
		<p>屋外での健康づくりの拠点として「うんどう遊園」を整備し、うんどう遊具を利用した運動の実践及び健康情報を提供することにより、運動の習慣化を目指し、地域住民の健康維持向上及び閉じこもり予防を目的とする。</p>	<p>A. 成果・効果があった 各事業とも夏休み・冬休み等のイベントとして需要が高く、参加した子供だけでなく、親の反応が良かった。</p> <p>講師・担当者の高齢化や人数不足が深刻である。</p>	<p>B. 改善・見直しを行う 屋外での活動については、熱中症の危険性などを考え、日程を変更することを考えている。</p>	健康・安全面を考慮して日程組みやメニューを作成している。	手賀沼課	
87	環境学習の推進	<p>○夏休みの環境学習 ≪プランクトンをつかまえて顕微鏡で観察しよう!≫ 【日程】7月27日(木)及び8月4日(金) 【場所】水の館 研修室 【対象】小学生20人(小学3年生以下保護者同伴) ≪カヌー体験学習in手賀沼≫ 【日程】8月20日(日) 【場所】手賀沼親水広場 【対象】小学生以上27人</p> <p>○ネイチャーイン 春 【日程】4月23日(土) 【場所】谷津ミュージアム 【対象】20人 夏 【日程】7月29日(土) 【場所】谷津ミュージアム 【対象】50人 秋 【日程】11月11日(土) 【場所】谷津ミュージアム 【対象】20人 冬 【日程】1月28日(日) 【場所】手賀沼 【対象】30人</p> <p>○その他の環境学習 ≪ミニ手賀沼で生きものしらべ≫※県主催事業 【日程】7月22日(土) 【場所】ミニ手賀沼 【対象】小学生50人 ≪鳥風作り≫ 【日程】12月9日(土) 【場所】水の館 研修室 【対象】20人(小学4年生以下保護者同伴) ≪紙飛行機工作と飛行大会≫ 【日程】2月17日(日) 【場所】水の館 研修室 【対象】20人(小学生以下保護者同伴) ◇◆指標と実績◆◆ 【夏休み環境学習2事業参加者】 46人 【ネイチャーイン参加者】 94人 【その他の環境学習2事業参加者】 34人</p>	<p>A. 成果・効果があった 各事業とも夏休み・冬休み等のイベントとして需要が高く、参加した子供だけでなく、親の反応が良かった。</p> <p>講師・担当者の高齢化や人数不足が深刻である。</p>	<p>B. 改善・見直しを行う 屋外での活動については、熱中症の危険性などを考え、日程を変更することを考えている。</p>	健康・安全面を考慮して日程組みやメニューを作成している。		手賀沼課

NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	消費生活講座	<p>●出前講座 他</p> <p>①【日程】令和5年4月15日 【場所】湖北台近隣センター 【参加者】40名 かしこい消費者になろう</p> <p>②【日程】令和5年4月26日 【場所】北地区社協 【参加者】13名 賢い消費者になろう</p> <p>③【日程】令和5年8月25日 【場所】アピスタホール 【参加者】40名スタッフ3名 熟年備学 賢い消費者になろう</p> <p>④【日程】令和5年9月29日 【場所】湖北台近隣センター 【参加者】30名 シニアクラブ女性委員会 賢い消費者になろう</p> <p>⑤【日程】令和5年11月12日 【場所】アピホール 【参加者】106名 「相続が争族にならないために」 紀藤正樹弁護士</p> <p>⑥【日程】令和6年2月13日 【場所】ふさの風 【参加者】40名 きらめきデイサービスさつきの会 賢い消費者になろう</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【全ての講座の参加人数】 272名</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>高齢者をねらう悪徳業者への注意喚起や、クーリングオフ制度の啓発をすることができた。 相続問題に関することを啓発することができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>事業としては、現状どおり推進すべきと考えている。高齢者なんでも相談室への情報提供を考えたい。</p>	なし	商業観光課	
	緑の講習会	<p>◇◆指標と実績◇◆</p>	<p>C. 未実施・わからない</p>	<p>C. 廃止・休止</p> <p>民間による類似講習会が増えたため、市の事業としては令和4年度から廃止となった。</p>	なし	公園緑地課	
	学校給食管理運営事業	<p>・学校給食を教材とし、教科や調理実習・給食時間・献立表・給食だより・HP等を通じて食に関する指導を年間を通して行った。</p> <p>・6月に全校児童生徒を対象として朝食摂取状況に関するアンケートを実施した。朝食を毎日食べる割合は、小学生88.3%、中学生84.6%であった。</p> <p>・R5 11月に全校で残菜調査を実施した。平均残菜率は3.2%であった。</p> <p>・白樺派のカレー普及会と協力のもと、湖北台西小学校への取材やランチョンマットを用いた食育活動の実施</p> <p>・NECグリーンロケッツ東葛とタイアップし、市内小中学校で応援献立の実施や、我孫子第三小学校への選手訪問を実施</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 児童生徒及びその保護者を実施した食育事業の実績 家庭教育学級1回、給食試食会1回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>各学校で栄養士が食育活動を行った。毎日朝食を食べる割合は、令和4年度実績と比べて小学校で低下したが、中学校では増加した。残菜率は、令和4年度実績と比べて低下した。</p> <p>コロナ禍で給食試食会を中止していた学校も再開し始め、保護者への食育の機会も以前の状態に戻りつつある。今後も引き続き、食育活動を展開していく必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>成長期の児童生徒の心身の健康を維持するための食育活動は必須であり、子どもに対する自己管理能力の育成は勿論だが、家庭における望ましい食生活の実践のため、保護者の理解や協力も必須である。そのため、引き続き食育活動を実施していく必要がある。</p>	なし	学校教育課	

	NO	事業名 趣旨・目的	令和6年度実施内容		令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会をまかなう	91	生涯学習出前講座の運営 市内に在住・在勤・在学している原則10人以上の参加者がいる団体やグループが主催する集会等に、講師として市の職員・市民講師等が出向き、専門知識を活かした講座を行う。出前講座メニューの更新・見直し作業を行い拡張、充実を図った。	●出前講座 【講座数】 市役所メニュー 74 講座 市民講師メニュー 138 講座 キャンパスメニュー 29 講座 【年間利用状況】 件数: 63 件 (うち市役所メニュー:28件、市民講師メニュー:33件、キャンパスメニュー:2件) 人数: 1134 人 (うち市役所メニュー:575人、市民講師メニュー:534人、キャンパスメニュー:25人) ◇◆指標と実績◇◆ 【利用者満足度・件数】(回答者 56人) 《とても満足》 64.3%・36件 《満足》 28.6%・16件 《ふつう》 5.4%・3件 《やや不満》 1.8%・1件 《不満》 0%・0件	A. 成果・効果があった 学習団体の問い合わせに対し、出前講座の制度を紹介することで、目的にあった生涯学習活動を支援することができた。申込者数が、昨年度に比べ375人増加した。	A. 現状どおり推進 出前講座を通して、市民の主体的な学習のきっかけづくりを支援し、市民と行政、市民同士の交流を図り、地域での学びの広がりをつくることで、生涯学習によるまちづくりを推進します。	なし	生涯学習課
	92	生涯学習推進事業 我孫子市の生涯学習を推進するにあたり、講演会、学習の場の提供等を通して、学びが人づくりとなり、人と人の交流を生み、まちづくりにつながるよう生涯学習推進事業を開催する。	●運動会で速く走れる！未来のオリンピック走り方教室 【日程】5月13日(土) 【場所】手賀沼公園芝生広場 【参加者】42人 【講師】中央学院大学 小林敬和教授 ●正しいラジオ体操を学びましょう！ 【日程】7月9日(日) 【場所】湖北小学校 体育館 【参加者】100人 【講師】元NHKテレビ・ラジオ体操指導者 長野信一氏、現役のアシスタント戸塚寛子氏 ●スポーツドリンクを作ろう！～あまさ・すっぱさ・自由自在～ 【日程】7月28日(金) 【場所】アビスタ1階調理室 【参加者】18人 【講師】大塚製薬株式会社 ●段ボールで作る恐竜チエア 【日程】令和6年3月9日(土) 【場所】アビスタ工芸工作室 【参加者】親子6組12人 【講師】ちばテク我孫子校 永山指導員 ●チョコレートサイエンス～チョコと物理のおいしい関係～ 【日程】2月3日(土) 【場所】アビスタ調理室 【参加者】16人 【講師】東京大学物性研究所 餅田円先生・アシスタント 橋本隼太さん ◇◆指標と実績◇◆ 【延べ参加者数】188人	A. 成果・効果があった 講座を通じて学ぶことやモノづくりの楽しさを知ってもらい、生涯学習に興味を持っていただけた。また、地域で活躍する方々を講師とすることで、講座参加者に地域への愛着等も感じていただけた。	A. 現状どおり推進 今後も市内の大学や高校、企業等と連携を深め、地域のネットワークを活用し、市民の学習活動を支援する体制の充実を図ります。	なし	生涯学習課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容		令和6年度実施内容		担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	93	人権教育 地域で活動する社会教育関係者及び市民を対象に、社会に存在する様々な人権問題(外国人・男女・子ども・高齢者・障がい者など)について学習する機会を提供し、社会教育活動及び学習活動にいかしてもらおう。	<p>●社会人権教育指導者養成講座 【日程】第1回:7月14日(金)、第2回:8月30日(水)、第3回:10月20日(金)、第4回:11月30日(木) 【場所】千葉県総合教育センター 【対象者】市町村教育委員会の社会人権教育担当者 【内容】講演及び演習 講演内容:インターネット人権侵害、性の多様性、いじめ、被差別部落、視聴覚障害、男女共同参画、児童虐待、DV及び外国人母子家庭</p> <p>●社会人権教育地区別研修会 【日程】8月25日(金) 【場所】さわやかちば県民プラザ ホール 【対象者】各市教育委員会社会教育関係者・社会教育施設職員・各市教育委員会・学校教育関係者・各市社会教育関係団体役員等。民生・福祉関係者・テーマに関心のある方100名程度 【内容】①研修Ⅰ 行政説明(千葉県の人権教育について) ②研修Ⅱ 講演 演題「パラリンピックを通じた共生社会」</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【人権教育地区別研修会参加者数】2名</p>	A. 成果・効果があった 社会人権教育指導者養成講座や研修会を通して、人権に関する諸課題を学び、社会教育人権教育担当者、社会教育関係者の資質向上が図られた。	A. 現状どおり推進 今後も千葉県人権施策基本に沿って、人権教育、人権啓発の推進を図ります。	なし	生涯学習課	
		スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～ 市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整備するため、地域の団体と連携を図りながら、子供から大人まで参加できるスポーツイベントを開催する。	<p>《みんなのスポーツフェス》 【日程】令和6年2月17日(土) 【場所】市民体育館 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加人数】214人</p>	A. 成果・効果があった 親子向け運動教室、カポエイラ体験教室、複数の種目を体験できるチャレンジブースを実施。多くの方々にご参加いただいた。バラスポーツの体験も出来、障がい者も参加しやすいイベントとし、「誰でも気軽に参加できるイベントとした。	A. 現状どおり推進	なし		文化・スポーツ課
		鳥の博物館企画展の実施 鳥の生態や体の仕組み、保全などについて、理解を深めてもらうため、様々な視点から鳥をわかりやすく解説し、収蔵標本や資料を展示する。	<p>●企画展示 【内容・日程】 「日本の鳥～収蔵標本公開～」R5.2.18～R5.6.25 「猛禽～タカ・フクロウ・ハヤブサ～」R5.7.15～R5.11.5</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【入館者数(年間)】 実績: 24,971人</p>	A. 成果・効果があった 各テーマに沿った企画を分かりやすく解説し、来館者が興味を持って鳥についての知識を深めることができた	A. 現状どおり推進	11月ジャパンパードフェスティバル終了後に休館予定のため、企画展の開催は2回となる。		鳥の博物館

NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり		基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり			基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり		
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実		①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実			①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実		
97	市民農園維持管理事業 消費者が、生産者と身近な場で交流し、農業に親しみ、農業を楽しみ、農業を育むことができるよう、市民農園などの農業体験の場の提供を行う。	・農園管理(区画の耕運、除草作業、農事相談等)及び施設管理(浄化槽の保守点検・トイレ清掃) ・農園利用者の新規募集(随時) ・農園利用料の徴収(6月) ・農園利用者向け収穫体験イベントの実施(6月、10月) ●年間を通じた市民農園の維持管理 【内容】 ・農園管理(区画の耕運、除草作業、農事相談等)及び施設管理(浄化槽の保守点検・トイレ清掃) ・農園利用者の募集(随時募集、ホームページに募集記事を掲載) ・農園利用料の徴収 【市民農園の詳細】 《日秀新田市民農園》 総区画119区画のうち利用区画数119区画 ●収穫体験イベント 《じゃがいも収穫体験イベント》 【日程】令和5年6月24日(土) 【場所】日秀新田市民農園内 【参加者】63人 《落花生収穫体験イベント》 【日程】令和5年10月14日(土) 【場所】日秀新田市民農園内 【参加者】65人 ◆◆指標と実績◆◆ 【市民農園利用区画数】100区画(一般区画全119区画中)	A. 成果・効果があった 令和5年度については、利用者及び利用区画数ともに、昨年を大きく上回った。イベントについても、昨年度同様60名以上の利用者が参加した。	A. 現状どおり推進	令和5年度については、空き区画がなくなってしまったこともあり、5月中旬ごろに区画を増やす予定。	農政課	
	98	親水広場の運営(水環境保全啓発展示及びプラネタリウム) 水槽やパネルなどで手賀沼の生き物や市の歴史・文化について情報発信する。環境学習の場としても活用するほか、プラネタリウムやじゃぶじゃぶ池など、多くの来場者が訪れる水環境保全啓発施設として運営する。	水の館内の各展示や講座により水環境保全啓発、環境学習、歴史・文化の学習の場を提供する。また、土日祝日にプラネタリウムの定時上映も行うほか、テーマ番組に合わせた展示、CDまたは生演奏と合わせた上映又は講演会を計4回、星空たんけん観望会を4回実施した。 ◆◆指標と実績◆◆ 【プラネタリウム投影事業参加者合計】771回上映、11,576人 【星空たんけん観望会】4回実施 156人	A. 成果・効果があった プラネタリウム定時上映については、土日祝日に1日6回ずつ投影を行うほか、平日は10人以上で団体貸切を行った。また、夏休みと春休み期間は、水曜日を除く平日も1日2回投影を行ったことで、親水広場に多くの入場者に来ていただき、水環境保全啓発施設としての利用も促進された。 今後も水の館の展示内容・環境学習等さらに充実させ、水環境保全に興味・関心を持ってもらう場として活用を図る必要がある。	A. 現状どおり推進 現状どおり推進		なし

基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり

	NO	事業名 趣旨・目的	令和6年度実施内容		令和6年度実施内容 前年度からの変更点	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	100	新たな文化交流拠点施設整備の検討 新たな文化交流拠点施設の整備に向けて、令和元年5月にまとめた「我孫子市文化交流拠点施設建設構想案」をもとに機能規模の集約をするなど、「建設構想」策定に向けて、議会や市民の意見を聴きながらさらに検討を進めていく。	令和元年5月にとりまとめた「我孫子市文化交流拠点施設建設構想(案)」をもとに、今後新たなホールが建設された際に主に利用する可能性ある団体を対象としてアンケートを実施し、令和4年5月に実施したeモニターアンケートと合わせアンケート内容の分析と検証を行った。これらのアンケート結果を踏まえ文化連盟加盟団体の皆様と市長との意見交換会を実施し、利用する立場からのご意見を伺いました。 ●文化交流拠点施設整備の検討に伴う市長との意見交換会 【日程】令和5年7月11日(火)【場所】市民プラザホール 【議題】湖北地区公民館利用団体へのアンケート結果報告/市長との意見交換会 【出席者】文化連盟加盟15団体/市関係者：市長、企画総務部企画政策課3名、生涯学習部長、生涯学習課4名 ◇◆指標と実績◆◇ 【「建設構想」策定の進捗率】10%	A. 成果・効果があった これまでのアンケートや文化団体との意見交換会により文化交流拠点施設の規模や機能について、検討を進めることができた。	A. 現状どおり推進 今後も市にとって最適な文化交流施設の方向性について、関係課と情報共有するとともに財政的な観点も踏まえながら慎重に検討を進めます。	なし	企画政策課・生涯学習課
	101	地域交流教室の提供 学校の一部を市民の学習拠点として有効活用し、学習サークルや自治会などに学習の場を提供する。	地域における大人と子どもの交流や学習等の様々な活動を支援する場として、引き続き地域交流教室の利用をPRをしていく。 【使用料】4時間ごとに100円 【使用料免除対象】 ・学習活動(高校生以下の方が1人以上参加するものに限る)を行う場合 ・その他教育委員会が必要であると認める場合 【使用形態】 月～日曜日の9時～21時(高野山及び布佐小学校は、月～土曜日の18～21時及び日曜日の9～21時) 【場所】 第一小学校、布佐小学校、湖北台西小学校、高野山小学校、湖北台東小学校:1教室 第一小学校:321件(稼働率30.3%) 15団体 布佐小学校:75件(稼働率16.6%) 2団体 湖北台西小学校:192件(稼働率17.9%) 8団体 湖北台東小学校:80件(稼働率11.1%) 8団体 高野山小学校:114件(稼働率24.7%) 4団体 ※使用件数は免除込み ※稼働率=使用コマ数÷コマ数(提供) ◇◆指標と実績◆◇ 【提供コマ数】3,764コマ 【予約コマ数】1,384コマ 【有料使用コマ数】499コマ	A. 成果・効果があった 市民団体やサークル等の交流や学習拠点として使用され、様々な活動を支援した。	A. 現状どおり推進 今後も地域交流教室の開放を通して、地域における大人と子供の交流や学習活動などの活発化を図ります。	なし	生涯学習課
	102	公民館施設管理運営 生涯学習センターの建物敷地の適正な維持管理を行い、市民の学習環境を整備をする。	生涯学習センター総合管理運営委託業務により、施設管理、施設運営、清掃業務、樹木剪定、草刈業務、営繕業務を東進ビルシステムに委託し、円滑な管理運営を進めた。 また、施設の定期点検、修繕および工事を実施した。 ・修繕 自家発電設備修繕、図書館天井雨漏り修繕、照明器具修繕、和室畳表替、職員通入口扉修繕等 ・工事 給水設備改修工事、自動扉装置更新工事、舞台吊物設備改修工事 ・定期点検 自家用電気工作物保安管理業務、建築設備定期検査、建築物定期検査 ◇◆指標と実績◆◇ 【保守管理執行率】100% 生涯学習センター給水設備改修工事を実施した。	A. 成果・効果があった 施設修繕計画に基づき改修工事を実施した。また、急遽発生した施設の修繕を行った。市民が安全に利用できるよう施設の維持管理を行うことで市民サービスの向上に繋がった。 施設の経年劣化が進行しているため、計画的な修繕が必要である。	A. 現状どおり推進 今後も施設の適正な維持管理を行うとともに、施設修繕計画に沿って、施設修繕箇所に対する適切な対応を行います。	なし	生涯学習課
	104	フリースポット(Wi-Fi)の提供 無線LAN(Wi-Fi)の利用状況や要望の把握を行いながら、公民館等の公共施設に無線LAN(Wi-Fi)を利用できる設備を整備しパソコン等のバケット通信が快適に利用できる環境を整える。	生涯学習センター「アビスタ」の2階オープンスペースにてインターネットを接続する方を対象に、インターネット環境の提供をした。 ◇◆指標と実績◆◇ 【無線LAN設置箇所】1箇所	A. 成果・効果があった 公衆無線LANサービスを導入し、利用者向けインターネット環境を整備している。	B. 改善・見直しを行う 令和6年度中に生涯学習センター館内のより広い範囲でWi-Fiが使える環境を整備します。	当初計画では各学習室にLAN配線を行いWi-Fiを整備する予定であったが、最小限のLAN配線でより拡張性・汎用性の高い効果が見込める機器構成に見直し、館内のより広い範囲で利用できる手法に変更した。	生涯学習課

NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	105	施設予約システムの運用 公民館をはじめとした学習施設の空き状況や施設利用の予約等について、施設の窓口の他にインターネットを利用したシステムを運用し市民の利便性の向上を図る。	前年度に引き続き、ちば施設予約システムを利用した。 ◇◆指標と実績◆◇ 【我孫子地区公民館】 利用件数 7,467件 利用者数 142,153人 【湖北地区公民館】 利用件数 2,216件 利用者数 50,109人	A. 成果・効果があった 市民がいつでもどこでも公共施設の予約を行うことができ、利便性が保たれた。	A. 現状どおり推進 今後もWeb上で予約が完了することにより、利用者の利便性・公平性を図ります。	なし	生涯学習課、習市民、活動文化支・援スポー
	106	市民体育館管理運営 指定管理制度を活かし、良質な自主事業の提供などサービスを一層充実させるとともに、民間のノウハウを活かし利用しやすい施設づくりを進める。	アクティオ・フクシ共同事業体に指定管理の委託 令和5年度から再度、5年間アクティオ・フクシ共同事業体に指定管理者が決定 ◇◆指標と実績◆◇ 【市民体育館利用者数】156,863人	A. 成果・効果があった 指定管理者制度を利用することで、様々なプログラムを提供することができ、市民の健康保持・増進に大きく寄与している。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
	107	体育施設管理運営事業、維持補修 「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき施設の適正な維持管理や長寿命化を図るため、利根川ゆうゆう公園や湖北中央公園、手賀沼公園の設備の適正な日常点検やメンテナンス、早期修理、計画的な修繕を実施する。また、五本松運動広場をより市民のスポーツ利用が図れるよう改修整備を行う。	必要に応じて適宜対応していく。 ●維持管理 ・布佐下多目的広場・五本松運動広場整備業務 ●管理運営 ・つくし野多目的広場管理運営・浅間前多目的広場草刈 ●施設修繕 つくし野多目的運動広場テニスコート修繕、つくし野多目的運動広場女子トイレ修繕、つくし野多目的運動広場ガラス修繕、利根川ゆうゆう公園散水栓修繕、利根川ゆうゆう公園看板修繕、上沼田野球場フェンス修繕、上沼田野球場駐車場修繕、上沼田野球場仮設トイレ排水管路修繕、上沼田野球場浄化槽修繕 ◇◆指標と実績◆◇ 【体育施設利用者数】86,407人	A. 成果・効果があった 市民が安心・安全に利用することができた。	A. 現状どおり推進	五本松運動広場でのサッカー場兼ラグビー場整備に向けて、DB一括発注の準備を行う。	文化・スポーツ課
	108	武道施設の建設整備の検討 全国総合体育大会、国民体育大会で、なぎなた競技を我孫子市で開催したことや中学校の武道の必修化に伴い、日本古来からの伝統文化でもある武道のより一層の振興を図るため、武道施設の建設整備の検討をする。	引き続き地権者交渉を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【整備進捗率】0%	C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
109	市民体育館維持補修、改修事業 「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき施設の適正な維持管理や長寿命化を図るため、市民体育館の設備の適正な日常点検やメンテナンス、早期修理、計画的な修繕を実施する。	計画的に維持補修・改修を実施 ●維持補修 ・敷地内陥没部・隆起部修繕 ・直流電源装置整流器修繕 ・屋内消火栓屋上補助高架水槽バルブ交換修繕 ・アリーナ用給気ファン修繕 ●改修 ・給排水設備等更新工事設計 ・第2変電設備等更新工事 ・武道場床改修工事 ◇◆指標と実績◆◇ 【修繕・改修工事の進捗率】100%	A. 成果・効果があった 市民が安心・安全に利用することができた。	A. 現状どおり推進	給排水設備等更新工事	文化・スポーツ課	

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	110	学校体育施設開放事業 市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しめることができる環境を整備するため、学校施設である体育館、校庭、武道場を一般開放する。また、夏季休業期間中、市内プール事業者のプールを小中学生を対象に開放する。	●プール開放事業 セントラル:7/26、8/29,16,23に実施 ミナト:7/29,30,31、8/29,30,31に実施 ●学校開放事業 年間を通して市内小中学校施設(体育館・校庭・武道場)を開放 ◇◆指標と実績◆◇ 【プール開放利用者数】2,263人 【学校体育館・校庭・武道場利用者数】160,374人	A. 成果・効果があった 地域のスポーツ振興に寄与することができた。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課	
		ふれあいキャンプ場管理運営 市民が気軽に安心・安全にキャンプ場を利用できるよう、利用受付事務や野外用品の貸出等の維持管理運営を行う。	市民に安心・安全にキャンプを楽しめる場を提供する。 令和6年2月からLINE申請による利用申込の受付を開始した。 ◇◆指標と実績◆◇ ●ふれあいキャンプ場利用 【キャンプ場利用数】570件(5,293人)	A. 成果・効果があった 我孫子の魅力発信となっている。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課	
		文化財等の保存と活用 市内に残る文化財を保存・活用することにより、我孫子の歴史の意義を広く市民に理解してもらえるようにする。具体的には、価値ある文化財を保存、整備し、それらを一般公開し、誘導板や説明板等の整備を行う。また、歴史資料や考古遺物などの整理、研究の成果を分かりやすく伝える文化財展などの企画・イベントや施設運営等を実施する。	旧村川別荘、志賀直哉邸跡書斎等を回れるミステリーツアーをJR東日本が行う駅からハイキングと連携して行った。 ◇◆指標と実績◆◇ 旧村川別荘来場者数 3,346人	A. 成果・効果があった 文化財を保存するだけでなく、整備し活用することで、多くの人々に文化財が持つ魅力を知ってもらう良い機会となった。	A. 現状どおり推進 適切な管理を行いながら、施設展示のリニューアルなどを進めていく。	なし	文化・スポーツ課	

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	113	杉村楚人冠邸の保存と活用 杉村楚人冠記念館の建物と資料を保存し、杉村楚人冠について広く市民に知らせてもらえるよう活用を図る。具体的には、資料の調査・研究から判明したことをまとめ展示を行い、その展示をより理解してもらうために、施設内のガイド、報告書の刊行やワークショップ、講演会などを実施する。	<p>【展示】</p> <p>○企画展(前年度3月7日から継続)5月7日(日)まで 「我孫子を詠む・描く」入館者336人(年度内のみ)</p> <p>○テーマ展示 5月13日(土)～7月9日(日) 『湖畔吟』の世界『湖畔吟』に咲いた花々」入館者561人</p> <p>○企画展 7月11日(火)～10月1日(日) 「1923—関東大震災を生きた人々—」入館者508人</p> <p>○企画展 10月7日(日)～令和6年3月3日(日) 「あびこのほとけ」入館者1,210人</p> <p>○テーマ展示 3月5日(火)～6月30日(日) 「我孫子で暮らそう」入館者177人(年度内のみ)</p> <p>【イベント】</p> <p>○第13回楚人冠講座 8月11日(金) 「関東大震災と楚人冠」講師:武藤真奈(杉村楚人冠記念館学芸員) 参加者22人</p> <p>○ワークショップ8月20日(日) 「楚人冠を描こう」講師:武藤真奈(杉村楚人冠記念館学芸員) 参加者4人</p> <p>○講演会 9月10日(日) 「関東大震災とこれからのわたしたち」講師:石瀬素子氏(山形大学講師)参加者21人</p> <p>○ワークショップ10月22日(日) 「楚人冠を描こう」講師:武藤真奈(杉村楚人冠記念館学芸員)参加者10人</p> <p>○第14回楚人冠講座 11月27日(土) 「楚人冠の人生と伝教」講師:武藤真奈(杉村楚人冠記念館学芸員) 参加者23人</p> <p>○清接庵茶会 3月20日(水) 28人</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【来訪者(年間)】 2,792人</p>	A. 成果・効果があった イベント、講演会などコロナ前の状態に戻り入館者数も回復傾向にある。	A. 現状どおり推進 杉村楚人冠資料と楚人冠邸の魅力アップさせるため、白樺文学館やほかの文学館と連携した展示やイベントを実施する。	なし	文化・スポーツ課	
	114	旧井上家住宅の保存と活用 旧井上家住宅の建物・敷地の維持管理を行いながら、建物を順次保存整備工事して後世に伝えていく。工事中も建物周囲の公開活用を図り、周知に努めていく。	<p>映画のロケを報告する展示、民間や庁内と連携しイベントを行い集客した。また、観光客向けの屋外トイレを設置した。</p> <p>○旧井上家イベント「土蔵でコーヒー染め体験！」 4月15日(土)①11時～12時 ②13時～14時 参加者数 24人(各回定員12人)</p> <p>旧井上家住宅隣の敷地でオーガニックピクニック(民間のキッチンカーイベント:参加者400人)と同時開催。</p> <p>○旧井上家住宅パネル展「ミステリーと言う勿れ」 9月16日(土)から11月8日(水)まで 来場者 1,244人(9月16日から11月8日)</p> <p>○歴史景観コスプレイベント「アビコス」(都市計画課と共催) 12月3日(土) 午前9時30分から14時30分まで 参加者数 コスプレヤー11人、カメラマン9人</p> <p>旧井上家住宅敷地内で和の雰囲気を感じながらコスプレ撮影を実施した。</p> <p>○ワークショップ「杉村楚人冠記念館出張ワークショップ 和綴じ豆ノートを作ろう」 12月16日(土)①9時30分から10時30分 ②11時から12時 参加者数 16人</p> <p>○パネル展「我孫子の芸能」 令和6年1月10日(水)から3月24日(日)まで</p> <p>○旧井上家住宅イベント「日本のめでたきこと」 2月23日(金) 10時～15時 参加者数 85人</p> <p>日本のめでたきことをテーマに、日本舞踊、和装開運講座、開運飾り作り、白樺文学館と杉村楚人冠記念館の学芸員によるトークイベントなど文化財の魅力発信した。隣地でキッチンカーのイベントが同時開催した。</p> <p>○我孫子東高校茶道部席主による旧井上家住宅お茶会 3月23日(土) 10時45分から14時15分まで 参加者数 20人</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 旧井上家住宅来館者数 3,545人</p>	A. 成果・効果があった イベントの開催数も増え、市民や民間と連携したイベントも行うことができた。また、新型コロナウイルス感染症拡大前に行っていた高校生主体のお茶会も以前のように行うことができた。 旧井上家住宅の屋外トイレを設置した。 保存整備箇所を維持しつつ、適切に活用していく必要がある。	A. 現状どおり推進 邸内全域の保存整備工事完了を目指しつつ、部分公開事業などを積極的に推進する。	なし	文化・スポーツ課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和6年度実施内容			令和6年度実施内容 前年度からの変更点	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
115	白樺文学館の運営 大正期に我孫子に居を構えた白樺派の足跡を広く知ってもらうため、所蔵資料や作品などを活用し、企画展やイベントを実施する。	<p>【展示】</p> <p>○常設テーマ展 2月1日(水)～7月9日(日) 「白樺派と我孫子2023」 入館者1,515人</p> <p>○企画展 前期 7月15日(土)～10月9日(月)、後期 10月17日(火)～令和6年1月14日(日) 「式場隆三郎展—見えない世界の美しさに心をよせて—」入館者2,814人</p> <p>○企画展 1月19日(金)～5月31日(金) 「白樺文学館名品展」 入館者634人(年度内のみ)</p> <p>【イベント】</p> <p>○講演会 9月30日(土) 「式場隆三郎先生がご支援くださった日本点字図書館とは—その成長の歩みと今—」 講師:長岡英司氏(日本点字図書館理事長)参加者42人</p> <p>○トークイベント 稲村雑談 10月29日(日) 「式場隆三郎先生について—白樺・民藝・医療・福祉—」 講師:山田真理子氏(式場病院)、伊藤宣真氏(日本点字図書館)、稲村隆(文化・スポーツ課主任学芸員)参加者35人</p> <p>○トーク&ピアノイベント2月12日(月) 白樺楽藝会 37人</p> <p>○YouTube公開収録イベント 稲村雑談特別版—温泉旅行の近現代— 講師:高柳友彦氏(一橋大学大学院講師)、山田裕氏(志賀直哉御子孫)、稲村隆(文化・スポーツ課主任学芸員)18人</p> <p>◆◆指標と実績◆◆ 【入館者(年間)】 4,963人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>年間入館者数がコロナ禍以前の水準に戻った。</p> <p>「白樺文学館リニューアル計画」を進めるためにも、寄付など財源の確保につとめる。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>白樺派の魅力を多くの方に知っていただけるようなコラボイベントを推進していく。</p>	照明設備等更新工事の実施	文化・スポーツ課
117	移動図書館業務 移動図書館そよかぜ号の巡回により、図書館に来館しにくい地域に居住する高齢者、乳幼児を連れた親子等や市内小中学校の児童生徒に学習の機会を提供する。	<p>○移動図書館そよかぜ号が(祝日も含め)水・木・金・土に市内17ステーションと市内小学校12校、中学校1校に巡回して、貸出・返却等のサービスを提供した。</p> <p>○市内小学校1校に配本を実施した。</p> <p>○高齢者施設(市内8施設)への配本(貸出またはリサイクル本の提供等)を施設の運営状況に合わせて実施した。</p> <p>○臨時運行の実施 令和6年1月13日(土)、27日(土)、2月10日(土)、24日 午後2時～3時 図書館布佐分館の昇降機改修工事に伴う休館中の代替サービス及び移動図書館のPRを行うため、工事期間中4回の臨時運行を実施した。</p> <p>◆◆指標と実績◆◆ 【移動図書館巡回ステーション年間貸出冊数】 46,454冊 (前年度 52,299冊)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>天候により巡回中止となる場合もあったが、定期的に移動図書館を運行し、アピスタ本館・湖北台分館・布佐分館に来館しにくい高齢者や乳幼児連れの親子に対して学習の場を提供することができた。小学校12校、中学校1校の児童・生徒に読書活動の場を提供することができた。</p> <p>利用の少ないステーションに対して、引き続き利用が増えるようPRを工夫する必要がある。また、状況に応じてステーションの廃止または変更の検討も必要である。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>大型車では巡回できない小学校や高齢者施設へは配本も実施している。小学校各校への調べ学習の貸出本の運搬を担っており重用されている。</p>	湖北台分館の利用方法の変更に伴い、移動図書館車の活用が増えた。年度途中から湖北台西小学校、東小学校で学校巡回時に一般利用を開始する。	図書館
118	図書館の整備 各図書館、移動図書館の維持管理・運営形態について、「我孫子市公共施設等総合管理計画」との整合性を図りながら、今後の老朽化を見据え、修繕等を計画的に進め、運営方針の見直しを行い、時代に合った図書館サービスを提供していく。	<p>○「図書館長寿命化計画」にしたがって、布佐分館の外部改修工事、布佐分館昇降機更新工事、アピスタ本館おはなしのへや空調改修工事およびアピスタ本館資料持ち出し防止システム修繕を実施した。</p> <p>○湖北台分館は老朽化が著しく、関係各課と協議し現状の施設を利用し続けるのは、安全・安心が確保できないと判断し運用方法を見直した。</p> <p>◆◆指標と実績◆◆ 【館内会議における進行管理報告と見直しの協議】 館内会議での報告:2回 (前年度 2回) 理事者協議:3回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>「図書館長寿命化計画」にそって老朽化箇所の修繕が実施できた。</p> <p>厳しい財政状況の中で、図書館サービスの質を保ちながら運営方法を検討していく難しさがある。また、長寿命化計画にそって施設整備をするための予算の確保が課題となっている。さらに運用方法を見直した湖北台分館については、湖北・湖北台地区図書館の今後の検討が急がれる。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>引き続き、図書館の運営形態を検討していく。長寿命化計画にそって予算措置を図っていく。 湖北台分館については、「湖北台地区公共施設(第1期整備)の整備方針」における第2期整備の検討にあたって、関係各課と連携していく必要がある。</p>	なし	図書館

①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能
3 多様な学びの場のあるまちづくり

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
つくり ぬの充実 基本目標 3 多様な学	119	図書館会議室及び展示スペースの提供 図書館の会議室や展示スペースを活用し、市民の自主的な学習の機会と発表の場を提供する。	○布佐分館会議室を貸し出した。 ○湖北台分館・布佐分館の館内壁面を作品の発表の場(ミニギャラリー)として市民に提供した。 《布佐分館》 第1会議室(申請に応じて随時)、第2会議室(申請に応じて随時)、ミニギャラリー(年9回) ※令和5年度布佐分館は外部改修工事及び昇降機工事のため2か月間の休館期間があった。 《湖北台分館》 ミニギャラリー(年5回) ◇◆指標と実績◆◇ 【布佐分館会議室の年間利用回数】 57回(前年度 169回) ※令和5年度布佐分館は外部改修工事及び昇降機工事のため2か月間の休館期間があった。 【壁面ギャラリー利用率】 《布佐分館》 90%(前年度 100%) 《湖北台分館》 41.6%(前年度 100%)	A. 成果・効果があった 外部改修工事及び昇降機工事による休館期間があったこと、第1会議室のギャラリーとしての利用がなかったため会議室の利用回数は減少したが、市民団体等に会合の場を提供することにより市民活動に貢献することができた。 会議室については未利用の日もあり、ギャラリーとしての利用も含めて一層の利用促進に努める必要がある。	A. 現状どおり推進 布佐地区は公民館未設置であることから、学習活動の場・地域活動の場として会議室は重要である。今後も引き続き推進していく。また、第1会議室のギャラリー機能付加による利用のPRをHPやSNSも活用しながら行っていく。	湖北台分館が臨時窓口対応となったことに伴い、ミニギャラリーを閉鎖した。	図書館	
	120	博物館施設設備の維持管理 博物館施設を来館者が恒久的に利用できるように、経年変化により劣化した施設設備を補修し機能を維持する。省エネに配慮した設備に転換していく。	●施設設備修繕 ・若松交差点付近鳥の博物館案内標識修繕 49,720円 ・トイレ給水管漏水修繕 19,800円 ・空調機ファンベルト交換 25,608円 ・鳥の博物館駐車場看板修繕8,800円 ◇◆指標と実績◆◇ ●施設設備修繕 ・若松交差点付近鳥の博物館案内標識修繕 49,720円 ・トイレ給水管漏水修繕 19,800円 ・空調機ファンベルト交換 25,608円 ・鳥の博物館駐車場看板修繕8,800円	A. 成果・効果があった 不具合箇所を修繕することで、来館者の安全確保や館内環境の改善が図れた。 施設の老朽化により、財源を確保する必要がある。	A. 現状どおり推進 不具合が見つかった場合は、修繕箇所の優先順位をつけ、速やかに対処するなど、快適な館内環境の維持に努めていく。	なし	鳥の博物館	
	122	常設展示リニューアル 鳥の博物館内常設展示をリニューアルし、魅力的な展示により、質の高い情報を提供できるようにする。	鳥の博物館展示リニューアル基本計画検討委員会を引き続き開催し、基本計画の作成に取り組んだ。 鳥の博物館学芸員が常設展示のリニューアルに必要な情報(展示構成、展示デザイン、経費等)を収集・整理した。 斃死鳥などの資料収集、標本作りを進めた。 ◇◆指標と実績◆◇ 【資料数(年間)】 実績:92点	A. 成果・効果があった 展示リニューアルするにあたって、有効な資料を収集できた。	A. 現状どおり推進	鳥の博物館展示リニューアル基本計画検討委員会を引き続き開催し、基本計画の作成に取り組む。	鳥の博物館	

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容		令和6年度実施内容		担当課			
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点				
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無					
びの場のあるまちづくり	186	文化財保存活用地域計画の推進 市内に数多く存在する史跡や文化財をネットワーク化し、魅力を向上させて、次世代に継承していく仕組みとして平成19年度に「手賀沼文化拠点整備計画」を策定し、この整備計画に基づき先導的に我孫子駅南東地区を中心として平成30年度まで史跡の保存・整備などを実施した。今回の文化財保存活用地域計画は、手賀沼文化拠点整備計画の基本理念と合致するものであり、かつ、自然体を対象とした計画である。この計画を策定することによって、史跡の計画的かつ継続的な保存と活用につなげていく。	●我孫子市文化財保存活用地域計画協議会の開催 2回(8月30日、3月27日) ●我孫子遺産周知用パンフレットの作成 ◇◆指標と実績◇◆ 文化財保存活用地域計画協議会の開催回数 想定値2回 実績値2回	A. 成果・効果があった 文化財保存活用地域計画協議会を予定通り実施できた。	A. 現状どおり推進 計画に沿って文化財の保存活用を進めていくとともに、協議会内で進捗を確認する。	令和6年度は7年間の計画期間の中間にあたるため、事業計画の見直しを行う予定。	文化・スポーツ課			
			②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用			②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用				
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	123	手賀沼ふれあいウォーク 手賀沼周囲のウォーキングを実施し、健康における運動習慣の重要性を啓発する。	令和5年度から事業廃止 (事業としては終了し、今後は団体のイベントを後援するなど協力していく) ◇◆指標と実績◇◆ なし	C. 未実施・わからない なし	C. 廃止・休止 事業廃止	事業廃止	健康づくり支援課			
			124	近隣市町と体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進 近隣市町との体育施設の相互利用や、民間等の体育施設の一般開放を進めることにより、市に不足している施設を補充し市民が気軽にスポーツに触れ楽しめる環境を整備する。	茨城県取手市と体育施設の相互利用を実施 ミナトスポーツクラブ天王台の民間施設利用 川村学園女子大学の一般開放 ◇◆指標と実績◇◆	A. 成果・効果があった 我孫子市内に整備されていない施設を市民が利用することでスポーツに親しむことができた。		A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
					125	手賀沼エコマラソン支援事業 「よみがえる手賀沼をさわやかに走ろう！」をキャッチフレーズに、「手賀沼の浄化」と「地域の活性化」をランナーとともにアピールするため、柏市と共同でマラソン大会を開催する。		●第29回手賀沼エコマラソン 【日程】10月29日(日) 【対象】 ・18歳以上の健康で、ハーフマラソンを2時間30分で完走できる者 ≪柏・我孫子市民枠≫3,000人 ≪一般枠≫5,000人 【距離】21.0975km(柏ふるさと公園スタート・ゴールのハーフマラソン) 日本陸連公認大会 【募集人数】8,000人 【目的】 (1)手賀沼浄化啓発活動の推進 (2)自然と調和し共存する手賀沼をアピール (3)健康増進の昂揚 (4)社会の活性化とスポーツ文化の振興 【共催】柏市 ◇◆指標と実績◇◆ 【手賀沼エコマラソン出走者数】7,202人	A. 成果・効果があった 市内外から多くのランナーに参加いただけた。	

用	NO	事業名 趣旨・目的	令和6年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
	126	市外図書館・大学・関係機関との連携協力 千葉県立図書館・県内市町村立図書館・国会図書館・大学図書館など関係機関と連携して、図書資料の相互貸借や図書館の相互利用を行い、市民の幅広いニーズに対応する。	<ul style="list-style-type: none"> ○千葉県立図書館巡回車(週1回水曜日)による県内図書館相互貸借業務【県立図書館購入リクエスト】23件 ○相互協力担当者会議(年1回) ○西部図書館による図書館訪問・運営相談(年1回) ○市内大学との連携による利用紹介状発行・図書相互貸借業務【中央学院大学紹介状発行】49件【中央学院大学への貸出】17冊【川村学園女子大学からの借入】2冊 ○国会図書館・大学図書館・県外公共図書館との図書相互貸借業務【国会図書館からの借入】13冊・遠隔複写2件【県外図書館への貸出】3冊【県外図書館からの借入】5冊 ○千葉県立図書館・国会図書館レファレンスサービス利用【県立図書館協カレファレンス】1件【国会図書館レファレンス】2件 ○千葉県公共図書館理事、千葉県公共図書館研修会<事業> ○国立国会図書館デジタル化資料閲覧・複写【閲覧】7件【複写】3件14枚 ◇◆指標と実績◆◇ 【年間相互貸借冊数】7,895冊(前年度 8,257冊) 	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市民の本のリクエストやレファレンスに対し、広くその要望に応えることができた。また、他市町村等の図書館に対しても資料提供ができた。</p> <p>全国と同規模の図書館の中でも図書館間借受冊数が上位に位置しているように、相互協力による借受は活発であることから、必要な資料は揃えることができるよう資料費の確保に努める必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>市民のリクエストやレファレンスに対応するため、市外図書館、大学図書館、関係機関との連携・協力を今後も継続し、迅速なサービスを行っていく。</p>	なし	図書館	
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり			基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり					
①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充			①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充					
	127	(No.91再掲) 生涯学習出前講座の運営		<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市民講師講座数も増え、出前講座メニューの充実が図られた。講師の方には積極的に市民の学習活動の支援に取り組んでもらうことができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>今後も、社会や地域で活躍できる人材を発掘するとともに、出前講座を通して、市民の自主的・主体的な学習を支援します。</p>	なし	生涯学習課	
	128	生涯学習出前講座市民講師メニューへの登録 自ら培った経験や技術、知識を地域に活かし、市民の生涯学習活動を積極的に応援していただける方を「市民講師」として登録し、まちの生涯学習のリーダーとして、市民の生涯学習のきっかけづくりを行ってもらうとともに、学びの輪を地域に広げてもらう。	<p>生涯学習出前講座、市民講師メニューの講師として登録し、講座を提供する。</p> <p>【講座登録数】(令和5年6月現在) 市民講師メニュー 133 講座 【講師登録数】(令和5年6月現在) 講師: 44 人 団体: 6 団体</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【新規登録数】人材情報: 2人 団体情報: 5団体</p>				生涯学習課	
	129	(No.23再掲) 生涯学習人材バンクの整備		<p>A. 成果・効果があった</p> <p>アビスタで行う市主催事業の参加者の子どもの保育及び図書館・公民館利用者の利便性の向上が図られた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>今後も利用者保育スタッフ事業を通して、利用者の利便性の向上や学習機会の保障に努めます。</p>	なし	生涯学習課	
	130	アビスタ利用者保育スタッフ事業 生涯学習施設を利用する子育て中の利用者のために、保育スタッフを活用して一時保育の環境を充実させ、学びたい時に学べる学習機会の提供を図る。	<p>【日程】4月～3月の水曜日、公民館主催事業日 全64回 【場所】生涯学習センターアビスタ 託児室 【内容】子ども連れの公民館・図書館利用者の子どもの託児 【対象】子育て中の生涯学習施設利用者 <託児対象児>2歳から就学前までの幼児</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【保育利用者】 28 人 【利用者内訳】 ≪毎週水曜日≫ 【利用回数】 49回 【利用者】 24人 ≪公民館事業(家庭教育学級)≫ 【利用回数】 2回 【利用者】 4人</p>				生涯学習課	

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
つくり	131	(No.24再掲) 生涯学習ボランティア						生涯学習
	132	文化事業市民スタッフの活用 教育委員会が主催・共催する文化事業の実施にあたって市民スタッフを活用し、受付、設営、会場整理等の業務を行う。	市民の自主的な参加協力により、地域の文化活動を支援する事業を教育委員会の主催で実施する。 【委嘱期間】4月1日～3月31日 【委嘱人数】 27人 【派遣件数】 7件 【派遣人数】 55人 【派遣件名】 寄贈作品展アピコレ、みんなの文化体験会、文化祭、郷土芸能祭、めるへん文庫表彰式、 杉村楚人冠記念館清接庵茶会、井上住宅春のお茶会 【業務内容】 受付、ドアマン、影アナ、誘導 他 ◇◆指標と実績◆◇ 【登録人数】 27人	A. 成果・効果があった 市民スタッフを派遣することで、舞台運営及びイベント運営を円滑に行うことができた。 特になし	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課	
基本目標 4 学んだ成果を活かすこと	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充					②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充		
	133	防災士及び災害救援ボランティア育成事業 防災士と災害救援ボランティアの認証資格の取得を支援し防災リーダーを育成することで、共助による「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域の原点を自然発生的に芽生えさせ、自主防災組織の組織化と活性化により、我孫子市における防災力や減災力の質的向上に努める。	●災害救援ボランティア補助金交付 防災士及び災害救援ボランティア認証資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 【日程】随時 【補助額】受講料の3分の2以内、一般：9,200円・学生：6,700円を上限とする。 【対象者】市民、市内の大学在学者、市内の事業所在勤者 ●防災士補助金交付 防災士の資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 【日程】随時 【補助額】受講料、試験料及び登録料の3分の2以内、4万円を上限とする。 【対象者】市民(自治会、自主防災組織の推薦を受けた者) ◇◆指標と実績◆◇ 【災害救援ボランティア講座 助成者数】 一般 7人 学生 0人 【防災士 助成者数】 2人	A. 成果・効果があった 5年度も多くの方の災害救援ボランティアの資格取得者があり、地域での防災力、減災力の向上につながっている。	A. 現状どおり推進	なし	市民安全課	
	135	介護予防サポーター養成講座 高齢者が住み慣れた地域の通いの場において介護予防の取り組みが行えるよう、各団体に体操の指導を実施します。また、サロン参加者が、日頃の活動において介護予防の普及・啓発が行えるよう支援します。	開催場所：各サロン開催場所 時期：令和5年4月28日(金)～令和5年9月6日(水) 人数：319名 対象者：強化型きらめきデイサービスのサロン15団体 内容：「あびこ元気アップ体操」の体操指導 講師：我孫子市リハビリテーション協会所属の理学療法士 ◇◆指標と実績◆◇ 強化型きらめきデイサービス サロン参加者延 319名	A. 成果・効果があった 令和5年度より体操の統一化を図り、各団体に応じた体操が継続できるような体制づくりを行った。DVD視聴や理学療法士の訪問指導により、サロンの代表者だけでなく、サロン参加者全員に指導を実施したため、体操の周知や理解ができたと思われる。 今後も体操が定着し、日頃の活動のなかで継続して実施してもらうためにも、定期的な体操の指導や効果を確認する機会が必要である。	A. 現状どおり推進	体操の指導だけでなく、体操の効果について、体力測定やアンケートを実施し、評価していく。	高齢者支援課	

	NO	事業名 趣旨・目的	令和6年度実施内容			令和6年度実施内容	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
の で き る ま ち じ ゅ り キ ル ア ッ プ の 拡 充	136	子育てサポーター養成講座 核家族化により子育てに不安を持つ世帯の増加や、地域・家庭における子育て力の低下が認められる中、地域における子育て力を強化するため、子育てを支援する人材を育成する。	●子育てサポーター養成講座（12期生） 【日程】9月4日（月）～6日（水） ≪講座≫ 2日間 ≪救命救急講習≫ 1日間 ≪子育て支援センター体験実習≫ 2日間各90分 【内容】子どもの発達と遊び、乳幼児の健康と安全、食生活と栄養、子育て支援の現状など 【対象】市内在住の20歳以上の方、または市内小規模保育事業所に従事している方で、市内で子育てサポーターとして活動する意欲のある方や、子育て支援活動を行う予定のある方 【定員】15人 ◇◆指標と実績◆◇ 【子育てサポーター人数】43人 ※内、子育てサポーター12期生6名認定証発行 【子育て応援隊訪問数】5件	A. 成果・効果があった 新規登録者が子育て支援センターでの活動と併せ、公立保育園の園庭開放サポーターとしても活動し、地域の子育家庭をサポートしている。	A. 現状どおり推進 地域の方を生かせる子育てサポーターの育成を行っている。	子育て応援隊の活動を廃止とした。	保 育 課	
	137	環境レンジャー活動への支援 環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成し、市内の行事に参加してもらうことで市民の環境保全活動への関心を高める。	●ネイチャー・イン企画の開催 4月23日（土）春の谷津の自然観察 22人 7月29日（土）ホテル観覧会 47人 11月11日（土）秋の谷津の自然散策 7人 1月28日（日）手賀沼冬鳥観察会 18人 ●Enjoy手賀沼！2023での出展 【日程】5月14日（日）生き物めり絵を楽しみ、野鳥カードをゲットしよう！ 参加者292人 ●市民のチカラまつり2023での出展 【日程】9月23日（土）缶バッジを作ってみよう 参加者100名以上 ●環境レンジャー通信「たまつけ」の発行 【発行日】4/15（86号）12/15（87号）3/15（88号） ●第15回エコ・こども教室の開催 【日程】10月15日（日）発表者5人、参加者40人、クイズ参加者335人 ●次世代の環境レンジャーを育成するため、環境レンジャーサポーターを募集し、環境レンジャーに必要なスキルを習得する。 ◇◆指標と実績◆◇ ・環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成 【環境レンジャー人数】 10人（途中退会者・サポーター含まず）	A. 成果・効果があった ・環境ボランティアリーダーとして環境イベントを開催 環境レンジャー人数の減少	B. 改善・見直しを行う 環境レンジャー人数の減少により、単独でのイベントの開催が難しくなっている。	実施内容は前年度に準じるが、令和7年度以降の活動について検討を行っていく。		手 賀 沼 課
	138	緑のボランティアの森づくり 森づくり作業を通じて、自然に対する理解と愛着を深めてもらうとともに、市内に残る貴重な緑地を保全する。	●市民の森&古利根みどりのボランティア定例活動日 ≪古利根自然観察の森活動≫【日程】偶数月第2土曜日、第4水曜日・奇数月第2日曜日第4水曜日 ≪古利根沼水辺の活動≫【日程】毎月第3水曜日 ≪中里市民の森活動≫【日程】奇数月第4日曜日 ≪岡発戸市民の森活動≫【日程】偶数月第4日曜日 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加延べ人数】300人	A. 成果・効果があった みどりのボランティアの協力により、古利根沼や斜面林、岡発戸・中里市民の森の維持管理が適切に行われ、市民が自然を享受する場を提供することができた。	A. 現状どおり推進	なし		

基本目標 ②地域で活動する人材の発掘・育成と
4 学んだ成果を活かすこ

No	事業名 趣旨・目的	令和6年度実施内容			令和6年度実施内容 前年度からの変更点	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
146	めるへん文庫 子どもたちが創作活動に親しみ、また、豊かな感性を育むことができるよう、めるへん文庫の作品募集や入賞作品集の刊行、めるへん文庫の表紙絵・挿絵の原画展示を行う。	<p>●めるへん文庫 【対象】全国の小・中・高校生 【内容】童話作品を募集し、優秀作品を表彰。教育委員会の主催で実施。 【募集期間】6月1日(木)～9月7日(木) ＜表彰式＞ 【日程】令和6年2月25日(日) 【開催場所】アビスタ 【受賞】小学生の部 1席0名、2席1名、3席2名 中学生の部 1席1名、2席1名、3席6名 高校生の部 1席1名、2席1名、3席5名 古登正子賞 1名</p> <p>※1席及び古登正子賞受賞作品を朗読し、YouTube配信を行った。 動画撮影・編集等は業者に委託し、朗読と朗読の挿入曲を白樺文学館の市民スタッフに依頼した。 ＜受賞作品展＞ 【日程】令和6年2月16日(金)～令和6年2月25日(日) 【開催場所】アビスタ 【内容】表紙絵、挿絵と共に受賞作品の紹介パネルを展示。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【作品応募数】99編</p>	A. 成果・効果があった 朗読動画のYouTube配信や受賞作品展を行ったことで、より、子ども達の創作意欲の向上につながった。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
147	(No.50再掲) 郷土芸能への支援					ポータル課
148	(No.125再掲) 手賀沼エコマラソン支援事業					ポータル課
基本目標 5 学びにつながるまちづくり					基本目標 5 学びにつながるまちづくり	
①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実					①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実	
149	市民のチカラまつりの実施 市民活動を活発にするため、市民と市民団体等とが交流できるマッチングイベントや講演会を実施する。	<p>●市民のチカラまつり 【日程】 ＜企画部門＞6月17日 【場所】我孫子南近隣センター【内容】地域づくり体験ワークショップ大会、講演会、市民活動団体交流会 【参加者】115人</p> <p>＜まつり部門＞9月23日 【場所】けやきプラザ(ふれあいホール、我孫子南近隣センター、10階市民活動ステーション)、けやき広場、アビシルベ、アビイクオーレ、アビスタ・ストリート 【内容】参加型企画、ステージ、販売、展示 【参加者】来場者915人、参加団体41団体、協力2団体、協賛4社</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【市民活動をはじめた人数】127人</p>	A. 成果・効果があった コロナ禍前の盛況さに戻り、家族連れが多く参加した。市内で活動する市民団体による催しを通して周知・体験してもらう機会となった。	B. 改善・見直しを行う シニア向けの催しが少なく、シニアの来場者が少ないことや、参加団体及び参加内容が固定化しているなどの課題があるため、企画委員会にて来場者のターゲットやイベントコンセプト等見直し実施する。	なし	市民協働推進課
150	(No.61再掲) あびこ子どもまつり		※担当課の進行管理による			子ども支援課
151	(No.62再掲) げんきフェスタ		※担当課の進行管理による			子ども支援課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
目標5 学びでつながるまちづくり 間づくりや交流等のコーディネート機能の充実	152	学校支援事業の充実 学校教育活動のさらなる充実を目指し、その教育力の向上と子ども達の豊かな学びや体験活動を実現するため、市内全小中学校で組織されている地域学校協働本部の活動を充実させ、地域住民・保護者・高大生などによる学校支援ボランティアの拡充や子ども達による地域貢献活動の実践を図る。	・各校地域学校協働本部(推進員)が中心となり、学校運営協議会の要請や学校のニーズに応じて各関係機関・団体とのネットワークを構築したり、高校・大学と連携して学校の教育活動支援を行った。 ・学校の教育活動支援のニーズとその内容を把握するとともに、ボランティア活動等の年間計画を作成した。 ・地域学校協働活動推進事業について、学校・地域にその目的と内容を周知し、学校を核としながら地域全体で取り組めるようにした。 ・中学校区でのコーディネーター活動が充実するようコーディネーター会議を定例化し、ボランティアの共有等を図った。 ・高校・大学とも連携し、学生によるボランティア活動をさらに進めるようにした。 【場所】 市内小中学校 19校 【実働人数】 ≪小学校≫ 延べ 33,596人 ≪中学校≫ 延べ 4,334人 ◇◆指標と実績◆◆ 【ボランティア活動実働人数】 37,930(小中学校延べ)	A. 成果・効果があった コロナ禍によって減少していた学校支援ボランティアが増加に転じている。また、以前の一方的な学校支援、個々のボランティアによる支援から地域と学校の協働、そして地域資源のネットワーク構築が進み、子ども達の豊かな学びと体験活動が実現しつつある。今後も地域学校協働活動により地域総ぐるみで子どもを育ていく態勢を推進したい。 市全体としては着実に一歩ずつ前に進んでいる本事業だが、学校間による進捗状況の差が見られている。状況の厳しい学校には、その原因に応じた行政の支援が必要である。	A. 現状どおり推進	事業の実施変更はないが、学校運営協議会との一体的推進、我孫子市の教育施策の柱である小中一貫教育との一体的推進を図っていく。	指導課	
	153	(No.22再掲) 生涯学習学習相談体制の整備					生涯学習課	
	154	(No.66再掲) 長寿大学					生涯学習課	
	155	(No.69再掲) 家庭教育学級					生涯学習課	
	156	(No.70再掲) のびのび親子学級					生涯学習課	

NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
158	<p>②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成</p> <p>在住外国人支援事業</p> <p>在住外国人が安心して快適に日常生活を送れるよう、我孫子市国際交流協会(AIRA)に日本語教室や相談窓口等、外国人の支援に必要な業務を委託する。</p>	<p>●外国人のための日本語教室 【日程】火曜日35回、土曜日35回 【所要時間】1回あたり約1時間30分 【受講生】76人【ボランティア講師】23人</p> <p>●外国人相談窓口業務 ・我孫子市国際交流協会内で市内に在住・在勤、在学の外国人からの相談を受けた。 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【相談件数】25件【登録相談員】14人</p> <p>●外国語通訳派遣業務 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【通訳件数】27件</p> <p>●簡易な文書の翻訳業務 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【翻訳実績】「広報あびこ」主要記事の英訳(年12回、A4記事4ページ)、公園利用の案内板の表記修正 英・中・韓訳 1枚 ◇◆指標と実績◆◇ 【外国人のための日本語教室開催数】70回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>●外国人のための日本語教室 在住外国人の日本語学習の機会を確保した。</p> <p>●外国人相談窓口事業 日常生活や教育、病院、市からのお知らせ等に関する質問や問い合わせに第一次相談窓口としてAIRA事務局が対応した。専門的な内容については専門機関へつなぐことで、相談者の抱える問題解決に努めた。</p> <p>●外国人通訳派遣事業 保育園、中学校の保護者面談において日本語が話せない親のいる家庭について通訳を実施した。</p> <p>●簡易な文書の翻訳業務 市が発信する情報の英訳により、幅広い層へ情報発信することができた。</p> <p>外国人市民だけでなく、日本人を含めたすべての市民が安心して日常生活を送れるようにするため、必要な情報の多言語による発信や、生活に必要な日本語を習得するための支援が引き続き必要である。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>引き続き、在住外国人の生活支援に必要な業務をAIRAに委託する。</p>	なし	企画政策課	
	<p>159</p> <p>公募補助金制度の運用</p> <p>市民生活向上など、市民の利益につながる公益的で営利を目的としない活動を行う団体へ、補助金の交付による活動支援を行う。</p>	<p>●公募補助金の運用 公募補助金は、地域のまちづくりを推進し、市民が行う自由な市民公益活動や生涯学習活動を支援するための補助金。交付期間は最長3年間。補助金の範囲は、補助対象経費の100分の10から100分の50まで。</p> <p>【応募資格】 営利を目的とせず、公益の増進に寄与する任意団体または特定非営利活動法人で、次の要件のいずれにも該当するものが対象。 ①5人以上で構成されていること。 ②活動拠点が市内にあり、かつ、市内で活動していること。 ③政治や宗教を主たる目的としないこと。 ④同一の事業・目的で市からほかの補助金を受けていないこと。また、市や市教育委員会と共催する事業・活動でないこと。 ⑤特定非営利活動法人は税金を滞納していないこと。 ⑥前年度(令和4年度)に活動実績があり、収支決算を提出できること。 ◇◆指標と実績◆◇ 【公募補助金交付件数】7件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市民が行う公益活動や生涯学習活動への活動支援を行った。</p> <p>【次年度申請分審査状況】 審査申請:5件 審査結果:採択 5件、不採択 0件</p> <p>最終的に団体が自立運営をすることを目的としているが、自立できている団体は少ない。一方で、新規の団体が減少している。引き続き制度の枠組みの見直しを進める必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>現在の既存団体を支援するためには、現状のとおり推進をしていく方向ではあるが、制度開始後15年以上が経過していることもあり、制度内容の再検討は必要と考える。</p>	なし		市民協働推進課

②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成
基本目標 5 学びでつながるまちづくり

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
160	市民公益活動補償制度の運用 市民活動に参加した者が活動中に障害等を負った場合や、市民団体が損害賠償責任を負った場合の補償を行い市民の活動を支援する。	市民活動に参加した者が活動中に傷害等を負った場合の補償を行い市民の活動支援を行った。 【対象者】 主たる活動拠点が市内にあり、かつ、構成員が5名以上の団体(構成員の70%以上が市内に居住していることが必要)による「公益的な活動」が対象。ただし、日本国外の活動、営利・政治・宗教に係る活動を除く。 【補償の種類】 傷害、損害賠償 【件数】 《傷害》 ・支払件数: 3件、未払い1件 支払金額: 182,000円 《損害賠償》 ・支払件数: 1件 支払い金額: 46,200円 ◇◆指標と実績◆◇ 市民公益活動中の補償すべき傷害、賠償責任について補償する。 指標: 補償率 実績: 100%	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	市民協働推進課		
161	資源循環型社会に関する市民講座への派遣 資源循環型社会の構築に向けて、ごみ資源排出抑制等の情報提供や、環境教育を行う。	≪出前講座・講師派遣≫ 【日程】 令和5年8月8日(日)13:30~15:00 【場所】 湖北台近隣センター 【内容】 「我孫子市におけるごみと資源の現状について」 【参加者】 我孫子交友会 26名 ◇◆指標と実績◆◇ 【最終処分量】 実績 2357.52t	A. 成果・効果があった	C. 廃止・休止	なし	手室賀(クォーター)資源循環センター推進		

NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
162	<p>我孫子市創業支援等事業</p> <p>市内の起業・創業件数の増加を図るため、平成26年6月に国から認定を受けた「我孫子市創業支援等事業計画」に基づき、市内関連機関と連携しながら、起業・創業に関する相談業務や、ビジネス交流会、創業塾の開催等により、起業・創業者を総合的に支援する。</p>	<p>●『実践創業塾』 【日時】令和5年9月10日(日)・9月24日(日)・10月8日(日)・10月22日(日) 9:00～17:00 【場所】我孫子市役所庁舎分館 大・中会議室 【対象者・定員・参加者】起業を目指す方と創業して5年以内の方。定員25名 参加者28名 【費用】8,000円</p> <p>●『我孫子市ビジネス交流会』 【日時】令和6年1月27日(土) 13:30～16:00 【場所】我孫子南近隣センター 【対象者・定員・参加者】起業予定者、事業経営者、ビジネスの人脉を広げたい方。定員50名 参加者18名</p> <p>●『起業個別相談会』 【日時】令和5年11月11日(土) 9:00～15:00 【場所】我孫子市商工会 【対象者・定員・参加者】市内で起業予定の方、起業して5年以内の市内事業者 定員15名 参加者8名 【費用】無料</p> <p>●『女性起業支援フォーラム』 【日時】令和6年2月17日(土) 14:00～16:00 【場所】我孫子南近隣センター 【対象者・参加者】市内で起業予定の女性・市内の女性事業者 参加者13名 【費用】無料</p> <p>●『創業スクール』 <上期>【日時】令和5年7月15日(土)、7月22日(土)、7月29日(土)、8月5日(土) 10:00～16:00 【場所】習志野市役所内会議室 【対象者・定員・参加者】県内で創業を予定している方、創業して間もない方。定員30名 参加者初日34名 2日目33名 3日目32名 4日目32名(我孫子市民2名) 【費用】無料 <下期>【日時】令和6年1月13日(土)、1月20日(土)、1月27日(土)、2月3日(土) 10:00～16:30 【場所】幕張テクノガーデン 【対象者・定員・参加者】県内で創業を予定している方、創業して間もない方。定員30名 参加者初日32名 2日目33名 3日目32名 4日目30名(我孫子市民3名) 【費用】無料</p> <p>●『女性起業ラボ』 【日時】令和6年1月19日(金)1月26日(金)2月2日(金)2月9日(金)2月22日(木) 9:30～12:30※初日は9:00～12:30 【場所】我孫子市商工会 【対象者・定員・参加者】起業に興味がある方、創業して間もない方。定員20名 参加者23名 【費用】2,000円</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【起業者数】 令和5年度の起業者数は3名(法人1名・個人2名)※このうち、実践創業塾からの起業者は2名(個人2名)、女性起業ラボからの起業者は1名(法人1名)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>国の認定を受けた我孫子市創業支援等事業計画に定めた創業者目標数(令和5年度目標値:累計87名、実績値:累計75名)の86%を達成していることから、各施策共に効果があったと考える。 なお、事業の開催に当たっては利用者の利便性を考慮して、一部動画配信等を取り入れて実施した。</p> <p>一つの支援事業を受けただけで起業できる方は少ないので、複合的な支援が必要と考える。今後も起業者数を継続的に増やしていくため、これまでも実施してきたアンケート調査等を継続し、より起業予定者のニーズに合った支援を行っていく必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	企業立地推進課	
163	<p>市民の学習活動への支援</p> <p>広報あびこ、ホームページ、生涯学習情報紙を通して、各課が実施している生涯学習関連事業や生涯学習に携わる人材や団体の情報、生涯学習イベント等の情報提供するとともに、市民からの学習に関する問い合わせに対応する。また、市民の技術・経験・知識が活用できるよう生涯学習団体グループの団体の活動内容等の情報を市のホームページ登録・提供し活用を図る。</p>	<p>生涯学習情報の発行とホームページを主とした情報の発信を行った。生涯学習団体グループについては、随時ホームページの掲載内容の更新を行った。</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【生涯学習トップページのアクセス数】4,104件 【生涯学習情報発行部数】1,500部 【学習相談件数】209件 【新規登録数】人材情報: 2人 団体情報: 5団体</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>広報、ホームページ、情報誌、SNS等により情報発信し、学習情報を提供した。公民館で実施する講座や生涯学習推進事業、出前講座にも多くの申込があった。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>今後も効率的に情報を発信するため、広報、ホームページ、情報誌に加えSNS等を積極的に活用し、市民が情報を取得しやすいよう情報発信の充実を図ります。また、専門的な技術・経験・知識を持つ市民を講師として登録し、学習活動に生かしていきます。</p>	なし	生涯学習課	

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
5 学び び で つ な が る ま ち づ く り	164	(No.25再掲) 視聴覚教材・機材の管理及び貸出						生涯学習課
	165	社会教育団体活動支援 市民と協働でまちづくりを進める中で、市民団体が行っている事業の共催及び後援等を行い、社会教育活動の活性化を図る。	●後援 市民団体の後援申請に基づき、20団体、20事業の後援を行った。 ◆◆指標と実績◆◆ 【後援事業数】20事業	A. 成果・効果があった 後援20事業を行い、市民の社会教育活動の一助となった。	A. 現状どおり推進 今後も市民団体が行っている事業の共催及び後援等を行い、社会教育活動の活性化を図ります。	なし		生涯学習課
	166	文化芸術団体活動支援 文化芸術団体の活動を支援し、我孫子市の文化芸術活動の活性化を図る。	文化団体が主催する活動について、後援、協力等の支援を行う。 ◆◆指標と実績◆◆ 【協力事業数】 15件 【後援事業数】 72件	A. 成果・効果があった 文化芸術団体等が実施している事業の支援を行うことにより、活動の活性化が図れた。	A. 現状どおり推進	なし		文化・課スポーツ
	167	(No.95再掲) スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～						ポ ー ツ ・ ス ポ ー ツ 課
168	施設・団体への図書等の貸出サービス 市内団体の自主活動や文庫活動を支援して、子どもたちの読書活動と市全体の読書環境の向上を図る。	○各学校への調べ学習用図書の貸出…市内小・中・高校へ、調べ学習のテーマ・学年に沿った本を選び、数十冊ずつ、2か月以内で、依頼のあった場合に随時貸出をした。 ○各種団体への貸出…家庭文庫・読書会をはじめ、保育園、幼稚園、学童保育室、ボランティア団体、福祉施設などの各種団体に対し、200冊まで2か月の期間で、依頼のあった場合に随時貸出をした。 ○読書会への十冊文庫の貸出…読書会に県立図書館の十冊文庫を提供した。10冊、約4週間。 ○庁内支援サービス…市役所各課の政策立案・企画等に必要図書資料の貸出や情報提供を行った。(図書・雑誌40冊まで、期間1ヵ月。CD・カセットテープは10点まで、期間2週間) 【団体の年間利用数】 710回 ◆◆指標と実績◆◆ 【年間団体貸出冊数】 6,892冊 (前年度 8,257冊)	A. 成果・効果があった 団体貸出サービスは、団体数・団体貸出冊数とも一定のレベルを維持している。市内団体の自主活動や子どもの読書環境を支援するためにも必要な事業であった。 市民の学習機会を充実させるために、重要な事業であるため、今後も引き続き推進していく。	A. 現状どおり推進 今後も引き続き、団体貸出サービスの利用の促進を図っていく。	なし		図 書 館	

NO	事業名 趣旨・目的	令和6年度実施内容			令和6年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
169	鳥に関する学習への支援	<p>夏休みの自由研究に関して、今年度も学芸員による相談受け付けを行った。また、博物館資料の活用では、他施設(博物館)への貸出、および調査研究への協力も行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●鳥の科学作品展 我孫子市小・中学校科学作品展において出展された科学作品の中から、鳥をテーマとした作品を借用し、翌年度の夏休み期間に鳥の博物館内に展示し、小・中学生の夏休みの自由研究の参考資料に供している。 ●市民スタッフによる展示交流 市民スタッフが展示交流スタッフとして展示の解説や館内の案内を実施。 ●鳥に関する質問対応 鳥に関する質問を電話、手紙、館内などで随時受け付けた(通年)。 【問合せ件数】年間239件(夏休みの自由研究に関する質問対応も含む) ●調査研究への協力 博物館資料(剥製)の貸出・閲覧を行った(通年)。 【館内】20件(324点) 【館外】3件(7点) <p>◇◆指標と実績◆◇ 【団体来館者の解説件数(ガイドツアー含む)】25件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市民スタッフが展示交流スタッフとして展示の解説や館内の案内を実施。鳥に関する質問については電話・手紙・館内で随時受付を行った。</p>	A. 現状どおり推進	なし	鳥の博物館
	鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援	<ul style="list-style-type: none"> ●市民スタッフ(21名) 環境学習リーダーや来館者へのガイド役として必要な体験や学習を習得するための支援を行う。 【活動内容】 ・展示交流スタッフとして展示の解説や館内の案内を実施した。(通年) ・夏の遊びと研究大集合(7月22日から8月27日までの土日・全12回実施) ・てがたん ・あびこ自然観察隊 ●友の会(215名) サークル活動への場の提供や情報提供による支援を行う。 <p>◇◆指標と実績◆◇ 【友の会・市民スタッフ登録者数】 実績:236人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>来館者へのガイド役として必要な体験や学習を習得するための支援を行うことができた。</p>	A. 現状どおり推進	なし	
③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築					③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築	
171	<p>我孫子市国際交流協会(AIRA)との連携</p> <p>国際交流の場を提供し地域の国際化を推進するため、我孫子市国際交流協会(AIRA)と共催であびこ国際交流まつりと国際交流スピーチ大会を開催する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●国際交流スピーチ大会 【日程】10月8日(日) 【場所】市民プラザ多目的ホール 【内容】 英語の部97名、日本語の部4名、レシテーション1名が発表。更に昨年度「政界の人形館賞」を受賞した方による海外研修報告を実施した。 ●第31回あびこ国際交流まつり 【日程】11月26日(日) 【場所】市民プラザ 【内容】 子どもたちのキッズダンス、ゴスペルの歌声、ラグビー選手との触れ合い、キプロス、ウズベキスタンの国に加え、外国語講座生・中央学院大学留学生・日本語教室生徒による各国の紹介や物産の展示販売、およびお茶席体験、着物着付け体験など。 <p>◇◆指標と実績◆◇ 【国際交流イベントの共催】 1件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>多文化共生の必要が高まる中、日本人と外国人市民の相互理解が深まる機会の創出、それらの活動を行う団体への支援ができた。</p> <p>外国人も暮らしやすいまちを実現するために、異文化への理解を深めることや、コミュニケーション能力、国際感覚を身につける活動に対し更なる支援を行って行く必要がある。</p>	A. 現状どおり推進	なし	企画政策課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容		令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
本 目 標 5 学 び で つ な が る ま ち づ く り	172	消費生活展の実施 消費者自らがトラブルを未然に防ぎ知識を身につけられるよう、関係する団体や機関と連携して消費生活展を開催し、消費者への啓発を図る。	●第48回我孫子市消費生活展 【日程】令和6年2月3日、4日 【場所】あびこ市民プラザ 【テーマ】持続可能な社会を目指して～みんなで進めよう！SDGs 【参加団体】我孫子市消費者の会、あびこ型「地産地消」推進協議会、エコピュアあびこ、NPOせっけんの街、我孫子市石けん利用推進協議会、エコライフあびこ、あびこ女性会議、自然エネルギーをすすめる我孫子の会 【来場者数】516名 【対象者】市内外の消費者 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加団体】我孫子市消費者の会、あびこ型「地産地消」推進協議会、エコピュアあびこ、NPOせっけんの街、我孫子市石けん利用推進協議会、エコライフあびこ、あびこ女性会議、自然エネルギーをすすめる我孫子の会 【来場者数】516名	A. 成果・効果があった SDGsの取り組みとして有効であると考えている。	A. 現状どおり推進 事業としては、現状どおり推進すべきと考えている。	なし	商業観光課
			●Enjoy 手賀沼！2023 遊びつくせ沼が主役の新時代 【日時】令和5年5月14日（日） 【場所】手賀沼親水広場、水の館、鳥の博物館 ◇◆指標と実績◆◇ 【エンjoy手賀沼実行委員会実施回数】6回 【エンjoy手賀沼来場者数】10,000人	A. 成果・効果があった 多くの方にご来場いただき、1日を通して手賀沼とのふれあいを楽しんでいただくことができた。	A. 現状どおり推進 現状どおり推進	なし	
	174	(No.30再掲) 健康フェア					健康支援課
	175	(No.45再掲) ジャパンバードフェスティバルの開催					

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
基本目標 5 学びでつながるまち	176	青少年相談員連絡協議会への支援 青少年相談員連絡協議会が実施する子どもの自主性、協調性を育む事業や会議運営について支援していく。	(1)Enjoy手賀沼！2023 期日 5月14日(日) 場所 手賀沼親水広場・水の館 主催 「Enjoy手賀沼！」実行委員会 内容 じゃぶじゃぶ池、フテゲーセン (2)げんきフェスタ2023 期日 6月25日(日) 場所 湖北地区公民館、湖北小学校体育館 主催 げんきフェスタ2023実行委員会、我孫子市 内容 ポッチャ体験 (3)東葛飾地区少年の日・地域のつどい大会 期日 11月12日(日) 場所 我孫子中学校体育館 主催 東葛飾地区青少年相談員連絡協議会(開催担当:我孫子市青少年相談員連絡協議会) 内容 ポッチャ大会 ◇◆指標と実績◆◇ 指標:我孫子市青少年相談員連絡協議会が主催する事業数 目標値:4 実績値:3 ※我孫子市青少年相談員連絡協議会が「具体的な内容」の(1)~(3)の各イベント実行委員として参加。	A. 成果・効果があった 青少年相談員としての活動を予定通り実施することができた。 青少年相談員の担い手が減少傾向にあること等、我孫子市青少年相談員連絡協議会の運営や事業実施を円滑に行うため、所管課としての支援の在り方を検討する必要がある。	A. 現状どおり推進 我孫子市青少年相談員連絡協議会の運営や事業実施を円滑に行うため、所管課としての支援の在り方を検討する。新規事業の実施に向けた検討を行い、協議会との役割分担を協議しながら推進する。	なし	子ども支援課	
	177	(No.41再掲) 子どもの居場所づくり事業 (あびっ子クラブ)	※担当課の進行管理による					子ども支援課
	178	子育てフェスタ 我孫子で子育てを楽しめる場所や子育て支援活動を紹介するなど、「子育て」をキーワードに家族で子どもの成長を感じられるとともに、多世代をつなげるイベントを開催する。	●あびこで子育て応援フェスタ(旧名:ママへのごほうびフェスタ) 【場所】アビクオーレ全館(イトーヨーカドー我孫子南口店) 【日程】9月30日(土) 【内容】 ・「子育て」をキーワードにした企業の体験ブースやステージ ・市内の子育て団体やサークルの体験ブース ・にこにこ広場での記念製作 ・子育てに関する講演や講習会 ・公立保育園の地域子育て支援の紹介 など。	A. 成果・効果があった 子育て支援活動の紹介や市内の子育て関連施設を紹介することで、子育てに関する情報提供の場となった。また、ホールでのイベントはバランスボールや東京大学「CAST」による科学ショーを開催し、保護者のリフレッシュと親子で一緒に楽しめる時間となった。	A. 現状どおり推進 子育てを楽しめる場や、子育て支援活動等についての情報提供を行っていく。	なし	保育課	

	NO	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
つくり	クの構築	179	学校評議員設置事業 小中学校に学校評議員を置き、保護者や地域住民等と連携しながら、地域に開かれた学校づくりを推進する。	学校が、保護者や地域住民等の信頼に答え、家庭や地域と連携して一体となって子供たちの健やかな成長を図っていく観点から、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していくため会議を開催した。 【開催場所】 市内全小中学校 19校 【日程】 第1学期(4～7月)に1回、第2学期(9～12月)に2回、第3学期(1～3月)に1回、年間4回実施 【対象】 評議員は、保護者、地域住民、有識者、公募の市民、校長が必要と認める者 市教育委員会委嘱の各小中学校評議員数による(5～8人) 他に校長・教頭・教務主任等が参加 ◇◆指標と実績◆◇ 市内各小中学校19校で、年4回実施。 評議員数 小学校 71人 中学校 35人	A. 成果・効果があった 各学校において、保護者や地域住民、有識者、公募の市民等それぞれの立場から、社会情勢と学校教育を結び付け考えた意見を出してもらい、学校経営に生かすことができた。	C. 廃止・休止 コミュニティスクール(学校運営協議会の設置)の導入による学校と地域との連携・協働体制の構築へ移行。(令和4年度より指導課管轄)	なし	学校教育課
		180	大学との協定による学校支援学生ボランティア事業 高等学校への協力要請や大学との協定締結によって、学生ボランティアを小中学校における学習補助や行事等の支援者として派遣依頼し、子ども達の豊かな学びを実現するとともに、教員を目指す人材の育成を図る。	【日程】 通年 【場所】 市内各小中学校 【内容】 学習支援、行事支援、部活動指導補助など 【対象】 小中学校の児童生徒 【派遣状況】 【大学別実働人数】 <<川村学園女子大学>> 43人 <<中央学院大学>> 95人 <<その他の大学・高校>> 258人 ◇◆指標と実績◆◇ 【実働人数】 396人 その他、教育委員会主催行事へのボランティア <<川村学園女子大学>> 33人 <<中央学院大学>> 5人 <<その他の大学・高校>> 13人	A. 成果・効果があった 連携協定を結んでいる市内の2大学や我孫子高校では、教員養成課程(コース)のボランティアに関する担当者を通し、それ以外でもボランティア論という授業単元が設定されていたり、部活・サークル活動によって学生の派遣に取り組んだりして成果をあげ、子ども達の豊かな学びや教職員の負担軽減に貢献している。 近年、学生数の減少、特に教職員を志す学生が減少傾向にあり、今後の派遣可能な学生数が憂慮される。	A. 現状どおり推進	特にないが、引き続き連携協定を結んでいる大学以外のボランティア希望者と学校のコーディネートを進めていきたい。	指導課
基本目標	③多様な学	181	キャリア教育の推進(小中学生の職場体験学習事業) 子ども達が地元の協力事業所において、大人達と共に働く経験をすることによって、働くことの大切さや意義を感じとり、希望を持って将来を考えたり、我孫子の良さを感じたりできるよう、地域社会・家庭・学校が連携し合って職場体験学習を実施する。	●職場体験学習 コロナウイルス感染症が5類扱いとなり、中学校4校で実施した。職場での体験は2日程度。 ●特別活動を要としたキャリア教育 「我孫子市キャリア・パスポート」を全小中学校にて完全実施し、教育活動の全てをとおしてキャリア教育を実施。 ●キャリア教育担当者会議 各小中学校のキャリア教育担当教諭と指導課担当による担当者会議を年1回5月に実施する。 ◇◆指標と実績◆◇ 【小中一貫教育におけるキャリア教育のカリキュラムに即して、自校のキャリア教育全体計画の中に職場体験学習等の体験学習を位置づけた学校数】 19校 【協力職場数】 256箇所(令和5年) 0箇所(令和2・3・4年) 480箇所(令和元年)	A. 成果・効果があった 小中一貫教育及び新たに作成した「我孫子市キャリア・パスポート」の完全実施により、教育活動の全てを通してキャリア教育を推進しており、発達段階に応じたキャリア教育が展開されつつある。	A. 現状どおり推進 小中一貫教育と合わせて「我孫子市キャリア・パスポート」を活用し、小学校から高等学校までの期間を通してキャリア教育を推進する。	なし	指導課
		182	キャリア教育の推進(小中学生の職場体験学習事業) 子ども達が地元の協力事業所において、大人達と共に働く経験をすることによって、働くことの大切さや意義を感じとり、希望を持って将来を考えたり、我孫子の良さを感じたりできるよう、地域社会・家庭・学校が連携し合って職場体験学習を実施する。	●職場体験学習 コロナウイルス感染症が5類扱いとなり、中学校4校で実施した。職場での体験は2日程度。 ●特別活動を要としたキャリア教育 「我孫子市キャリア・パスポート」を全小中学校にて完全実施し、教育活動の全てをとおしてキャリア教育を実施。 ●キャリア教育担当者会議 各小中学校のキャリア教育担当教諭と指導課担当による担当者会議を年1回5月に実施する。 ◇◆指標と実績◆◇ 【小中一貫教育におけるキャリア教育のカリキュラムに即して、自校のキャリア教育全体計画の中に職場体験学習等の体験学習を位置づけた学校数】 19校 【協力職場数】 256箇所(令和5年) 0箇所(令和2・3・4年) 480箇所(令和元年)	A. 成果・効果があった 小中一貫教育及び新たに作成した「我孫子市キャリア・パスポート」の完全実施により、教育活動の全てを通してキャリア教育を推進しており、発達段階に応じたキャリア教育が展開されつつある。	A. 現状どおり推進 小中一貫教育と合わせて「我孫子市キャリア・パスポート」を活用し、小学校から高等学校までの期間を通してキャリア教育を推進する。	なし	指導課

No	事業名 趣旨・目的	令和5年度実施内容			令和6年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
5 学びでつながるまちづくり	182 生涯学習審議会の運営 生涯学習を総合的に推進するための組織として審議会を運営し、生涯学習に関する計画や施策、事業などについて意見を聴いていく。	<p>●生涯学習審議会会議 ≪第1回 生涯学習審議会≫ ※書面開催 【日時】 8月24日(木)午前10時～12時 【議事】 1 生涯学習推進計画 実施計画 事業調査について 2 その他 ※委員の出席が過半数に達しないため、「我孫子市生涯学習審議会条例」第6条第2項の規定により、 当日の会議は中止となり、書面開催とした。 ≪生涯学習審議会 図書館部会≫ 【日時】 11月30日(木)午前9時00分～11時30分 【場所】 アビスタ第3学習室 【議事】 1 子どもの読書活動推進計画(第二次)の策定について ≪第2回 生涯学習審議会≫ 【日時】 2月2日(金)午前10時～12時 【場所】 教育委員会大会議室 【議事】 1 子どもの読書活動推進計画(第二次)について</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【審議会開催数】 2回 【審議会図書館部会数】 1回</p>	<p>A. 成果・効果があった 生涯学習審議会を開催し、生涯学習に関する事業について審議しました。また令和5年度は、図書館部会を開催し、「子どもの読書活動推進計画(第二次)」の策定について報告することができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進 今後も本市の生涯学習を推進するため、生涯学習に資するための施策の総合的な推進に関する重要事項並びに生涯学習に関する施策及び事業について調査・審議します。</p>	なし	生涯学習課
	183 (No.126再掲) 市外図書館・大学・関係機関との連携協力					図書館
184	図書館実習生受入・施設見学 中学生のキャリア教育を受け入れることにより、今後の進路や職業選択の際の目安や目標になるように支援する。図書館現場で実務の研修を行うことにより、司書課程受講者を支援する。施設見学を受け入れ、生涯学習施設である図書館をPRする。	<p>○≪職場体験学習≫≪インターンシップ≫≪施設見学・町探検≫等を受け入れた。 <事業> ○アビスタ探検隊(市内小学校3年生対象) 7校 484人 ○町たんけん・町はっけん(市内小学校2年生) 1回 13人 ○施設見学(市内小・中学校) 3校 152人 ○インターンシップ(大学生) 6人 ○実習生(大学生) 2人 ○職場体験(市内中学校) 2校 7人</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【アビスタ探検隊参加者・図書館見学参加者・実習生受入人数の合計】 484人(前年度 703人)</p>	<p>A. 成果・効果があった 将来の進路や社会活動の参考となるように、小中学生のキャリア教育、高校生や大学生のインターンシップ、施設見学等を受け入れ、若い市民が貴重な経験を得られる機会を創出できた。</p> <p>図書館業務には専門的なものもあり、年齢等に応じてより興味がわくように、実務的な体験プログラムを組む必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進 キャリア教育の一環として実施されている体験学習の重要性はますます高まっている。将来の進路や職業選択の参考となるよう、これからは市民を支援していくことは必要不可欠であり、今後も現状どおり推進していく。</p>	なし	図書館

	NO	事業名 趣旨・目的	令和6年度実施内容			令和6年度実施内容 前年度からの変更点	担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方		
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 5 学びでつながるまちづくり	185	山階鳥類研究所との連携・交流 サイエンストークという形式で、山階鳥類研究所研究員による最新の研究成果や知られざる鳥の生態などについて、研究者の視点でやさしく紹介する。また、ジャパンバードフェスティバル期間中に「鳥学講座」を山階鳥類研究所と共同で開催し、最前線で活動する研究者に研究内容を一般向けにわかりやすく紹介してもらおう。	<p>●サイエンストーク(9月と11月を除いた毎月第2土曜日13時30分から14時15分まで)オンラインセミナー形式で実施 《第1回》4月15日「白い羽色異常はどういう仕組みで起きる?」【最大同時視聴者数】63人 《第2回》5月20日「ガン類はどんな環境を使っているか～発信器でわかること～」【最大同時視聴者数】48人 《第3回》6月17日「宮内庁埼玉鴨場での50年間のカモ類捕獲数の推移」【最大同時視聴者数】46人 《第4回》7月15日「ゴジュウカラってどんな鳥?」【最大同時視聴者数】71人 《第5回》8月19日「実は2種いたアホウドリ、名前はどなる?」【最大同時視聴者数】87人 《第6回》10月21日「ジシギの尾羽を調べてみたら」【最大同時視聴者数】133人 《第7回》12月16日「アマミヤマシギはどれくらい生きるか、どれくらい移動するか」【最大同時視聴者数】133人 《第8回》1月20日「北西太平洋の美しい海鳥アホウドリの歴史と未来」【最大同時視聴者数】62人 《第9回》2月17日「鳥の学術標本作り・中級編2」【最大同時視聴者数】122人 《第10回》3月16日「独立種となったオオムシクイは北海道のどこで繁殖するのか?」【最大同時視聴者数】72人</p> <p>●鳥学講座 【日程】11月4日(土曜日) 【場所】我孫子市生涯学習センター「アビスタ」1Fホール 【内容】「小笠原諸島の海鳥は、増えたり、減ったり、海を越えたり、越えなかつたり」 【講師】川上和人さん(森林総合研究所鳥獣生態研究室長) 【参加者】198人</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【共催した講座等の数】 実績:11回</p>	A. 成果・効果があった 協力関係にある山階鳥類研究所の研究成果と研究の面白さを、分かりやすく市民に紹介することができた	A. 現状どおり推進	なし	鳥の博物館
	187	学校運営協議会制度の推進 学校経営方針やビジョン、小中一貫教育での育てたい子ども像を保護者・地域住民等と共有し、学校の応援団を増やしつつ、地域総ぐるみで子ども達を育み、「地域とともに歩む学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を推進する。	<p>市内全小中学校(小13校・中6校)で学校運営協議会を設置(2年目)、コミュニティ・スクールとして学校運営を行った。</p> <p>【会議の開催数】 年4回程度(うち、中学校区で合同開催 1～2回) 【場 所】 それぞれの小中学校 【内 容】 ・各学校運営の基本方針の承認 ・中学校区小中一貫教育の基本方針(グランドデザイン)の見直し ・各学校及び中学校区における課題等の共有・協議 ・地域学校協働活動を取り入れた子ども達の学びや学校支援に関すること ・各学校における学校評価 ・次年度中学校区小中一貫教育の基本方針(グランドデザイン)の承認 等</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 学校運営協議会の開催状況 ・上記内容について熟議され、その役割を果たしている ・学校運営協議会の要請による地域学校協働活動が実施されている ・地域資源とのネットワーク構築が進んでいる</p>	A. 成果・効果があった 学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進によって、学校の教育活動支援が拡充されたり、地域の諸団体との連携・協働がスムーズに行われたりし、子ども達による地域への貢献活動に繋がった事例もあった。	A. 現状どおり推進 令和3年11月30日公示の我孫子市学校運営協議会規則に基づき、市内19小中学校に学校運営協議会を設置した。学校運営協議会委員(2期目)については、各学校長の推薦をもとに、我孫子市教育委員会が令和6年4月1日付で任命した。	今年度、コミュニティ・スクール3年目となり学校運営協議会委員も2期目となって委員が新しくなった学校が多い。昨年度までの課題を踏まえ、地域との連携・協働を進めることに重点を置いた委員選定を行った学校には、今後のさらなる推進が期待される。	指導課